2. 底生動物調査の概要

2.1 調査結果の概要

(1) 確認種数

令和 5 年度に底生動物調査が実施された 44 ダム（美和ダムと小渋ダムは令和 4 年度に実施されたが、ここでは令和 5 年度と共にとりまとめる）において、ダム湖周辺では、49 目 244 科 1143 種の底生動物が確認されました。各ダムの確認種数は 91～323 種の範囲であり、確認種数の多いダムは、宮ヶ瀬ダムの 323 種、嘉瀬川ダム及び漢那ダムの 302 種等でした。

調査区域別[注)] の確認種数をみると、全流入河川においては 701 種の底生動物が確認されました。各ダムの流入河川の確認種数は 66～228 種の範囲であり、確認種数の多いダムは、滝里ダムの 228 種や嘉瀬川ダム及び竜門ダムの 212 種等でした。全ダム湖においては 659 種が確認されました。各ダムのダム湖の確認種数は 14～162 種の範囲であり、確認種数の多いダムは、白川ダムの 162 種や竜門ダムの 161 種等でした。全下流河川においては 867 種が確認されました。各ダムの下流河川の確認種数は 65～214 種の範囲であり、確認種数の多いダムは、金武ダムの 214 種や寒河江ダムの 192 種等でした。

各ダムにおける調査区域別の確認種数を比較すると、流入河川での確認種数の多いダムが最も多く、次いで下流河川、ダム湖内で最も少なくなる傾向がみられました。流入河川と下流河川の両方で調査を行っていた 40 ダムのうち、下流河川より流入河川の確認種数が多かったダムは 29 ダムでした。

注）調査区域の区分は、流水域として「流入河川」及び「下流河川」、止水域として「ダム湖内」、環境創出箇所等の「その他」の 4 区分で整理しました。

とりまとめ対象ダム一覧

地方	ダム名	流入河川	ダム湖	下流河川	その他
北海道	大雪ダム	○	○	○	
	忠別ダム	○	○	○	○
	金山ダム	○	○	○	
	滝里ダム	○	○	○	
	桂沢ダム	○	○	○	
	漁川ダム	○	○	○	○
	豊平峡ダム	○	○	○	
	定山渓ダム	○	○	○	
	夕張シューパロダム	○	○	○	
東北	白川ダム	○	○	○	
	長井ダム	○	○	○	
	寒河江ダム	○	○	○	
	月山ダム	○	○	○	
関東	宮ヶ瀬ダム	○	○	○	○
北陸	宇奈月ダム	○	○		
中部	美和ダム※	○	○	○	
	小渋ダム※	○	○	○	
近畿	天ヶ瀬ダム	○	○	○	
	日吉ダム	○	○	○	
	比奈知ダム	○	○	○	
	高山ダム	○	○	○	
	青蓮寺ダム	○	○	○	
	室生ダム	○	○	○	○
	布目ダム	○	○	○	○
	一庫ダム	○	○	○	
中国	殿ダム	○	○	○	
	島地川ダム	○	○	○	
四国	石手川ダム	○	○	○	
	鹿野川ダム	○	○	○	
	野村ダム	○	○	○	
九州	下筌ダム	○	○		
	松原ダム	○	○	○	
	大山ダム	○	○	○	
	寺内ダム	○	○	○	
	巨勢川調整池		○		○
	嘉瀬川ダム	○	○	○	○
	竜門ダム	○	○	○	
沖縄	辺野喜ダム	○	○	○	
	普久川ダム	○	○	○	
	安波ダム	○	○	○	
	新川ダム	○	○	○	
	福地ダム	○	○	○	
	漢那ダム	○	○	○	○
	金武ダム		○	○	

(2) 重要種

今回とりまとめを行った 44 ダムにおいて、58 科 142 種の重要種[注)]が確認されました。

流入河川では、ホラアナミジンニナやアカツヤドロムシ等の 27 科 41 種、ダム湖内（湖岸を含む）では、ヒラマキミズマイマイやコオイムシ、オキナワマツモムシ等の 24 科 45 種、下流河川ではモノアラガイやガムシ等の 47 科 108 種、環境創出箇所等では、ミズコハクガイやミ

ユキシジミガムシ等の 11 科 27 種が確認されました。

調査全体では、文化財保護法で天然記念物種に指定されているオカヤドカリ、ムラサキオカヤドカリ、コムラサキオカヤドカリの 3 種及び、種の保存法で特定第二種国内野生動植物種に指定されているニホンザリガニ、ヒメフチトリゲンゴロウの 2 種が確認されました。この他、レッドリスト（環境省，2020）において絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）に選定されているアマミカワニナ、ナカセコカワニナ、ヒメシイノミミミガイ、ヘゴノメミミガイ、コハクオカミミガイ、絶滅危惧ⅠB 類（EN）に選定されているヒメヒラマキミズマイマイ、アカツヤドロムシ、絶滅危惧Ⅱ類（VU）に選定されているマルタニシ、ササノハガイ、オオサカサナエ等 31 種、準絶滅危惧（NT）に選定されているタベサナエ、クロゲンゴロウ等 84 種、情報不足（DD）に選定されているイボビル、ミズバチ等 18 種の合計 140 種が確認されました。

なお、沖縄県の 7 ダムにおいては、今回のとりまとめで確認された重要種 142 種の約 68%にあたる 97 種が確認されました。本地域は亜熱帯の離島で固有の生物が多いことなどから重要種として選定されている種が多いことに加えて、ダム下流の調査地点に汽水域が設定されている場合が多く、多様な生物種が採集されやすいこと等が要因として考えられました。重要種 97 種の内訳としても、腹足綱が 43 種、二枚貝綱が 8 種、軟甲綱エビ目が 31 種で、その多くが汽水域に生息する種類でした。

最も多くのダムで確認された重要種は、環境省レッドリストにおいて情報不足（DD）に選定されているヒラマキミズマイマイで、42 ダム中 22 ダムで確認されました。

注）重要種について

本資料においては、次の文献のいずれかに該当する種や亜種を重要種としました。

・「文化財保護法」の特別天然記念物及び天然記念物

・「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物及び緊急指定種

・「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト 2020：令和 2 年 3 月 27 日報道発表資料）及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成 29 年 3 月 21 日報道発表資料）

絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）：絶滅の危機に瀕している種

絶滅危惧ⅠA 類（CR）：ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い種

絶滅危惧ⅠB 類（EN）：ⅠA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い種

絶滅危惧Ⅱ類（VU）：絶滅の危険が増大している種

準絶滅危惧（NT）：現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

情報不足（DD）：評価するだけの情報が不足している種

絶滅のおそれのある地域個体群（LP）：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

(3) 国外外来種

1) 国外外来種の確認状況

今回とりまとめを行った 42 ダムにおいて、コモチカワツボやシナヌマエビ、トガリアメンボ、オオマリコケムシ等、19 科 22 種の国外外来種[注)] が確認されました。

このうち流入河川ではアメリカツノウズムシ等の 10 科 11 種、ダム湖内（河岸を含む）では、オオマリコケムシ等の 10 科 12 種、下流河川ではヒロマキミズマイマイ等の 16 科 18 種、環境創出箇所等では、ハブタエモノアラガイ等の 6 科 7 種が確認されました。

最も多くのダムで確認された国外外来種はサカマキガイで、42 ダム中 30 ダムで確認されました。

2) 特定外来生物等の確認状況

上記の国外外来種のうち、外来生物法が定める特定外来生物[注]に指定されているカワヒバリガイが近畿地方の天ケ瀬ダムで、条件付特定外来生物に指定されているアメリカザリガニが、東北地方の白川ダム、関東地方の宮ヶ瀬ダム、近畿地方の天ケ瀬ダム、日吉ダム、高山ダム、布目ダム、九州地方の寺内ダム、巨勢川調整池、沖縄地方の安波ダム、福地ダムの 10 ダムで確認されました。

このほか、生態系被害防止外来種リストにおいて、総合対策外来種[注 3)] の重点対策外来種に選定されているスクミリンゴガイの 1 種、その他の総合対策外来種[注 3)] に選定されているコモチカワツボ、ハブタエモノアラガイ、タイワンシジミ、フロリダマミズヨコエビの 4 種が確認されました。

注）国外外来種の選定基準について

1）外来種とは、本来その生物が生息していない地域に貿易や人の移動等を介して意図的・非意図的に導入された種をいいます。外来種のうち、日本国外から持ち込まれた種を「国外外来種」といい、日本国内の種であっても本来その生物が生息していない地域に、他の場所から持ち込まれた種は「国内外来種」といいます。本資料における国外外来種とは、おおむね明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物すべてを指し、侵入以後に国内に定着した種であるか否かの判断は、選定の際に考慮していません。

2）特定外来生物とは、『特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（平成16年法律第78号）』により、輸入や飼養等が規制される生物（生きているものに限られ、個体だけではなく、卵、種子、器官なども含まれる）です。おおむね明治以降に国外から導入された国外外来種のうち、生態系、人の生命・身体及び農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがある生物が指定されています。なお、特定外来生物のうちアメリカザリガニとアカミミガメの2種については、通常の特定外来生物の規制の一部を適用除外とする「条件付特定外来生物（通称）」に指定されています。

3）総合対策外来種は、『我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）』（環境省・農林水産省、平成27年3月）において、「国内に定着が確認されているもの。生態系等への被害のおそれがあるため、国、地方公共団体、国民など各主体がそれぞれの役割において、防除（野外での取り除き、分布拡大の防止等）、遺棄・導入・逸出防止等のための普及啓発など総合的に対策が必要な外来種」として選定されています。以下の3つに細分化されています。

(i)緊急対策外来種

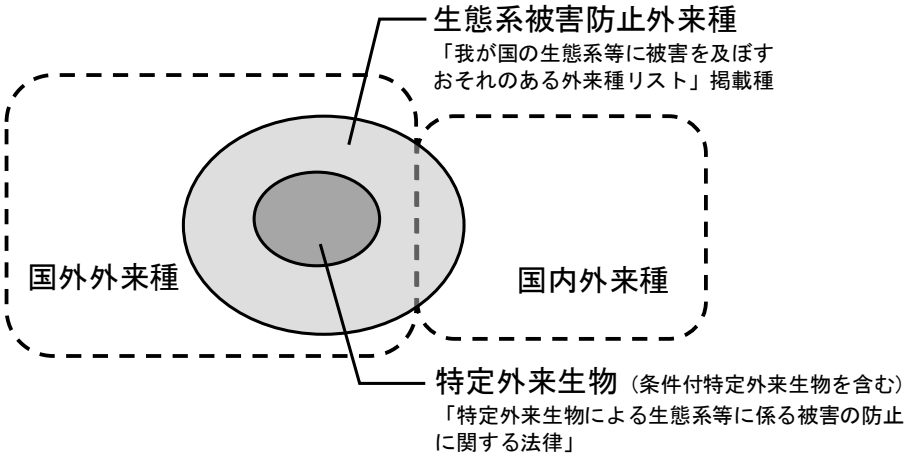
「外来種被害防止行動計画」における対策の優先度の考え方に基づき、被害の深刻度に関する基準*1として①～④のいずれかに該当することに加え、対策の実効性、実行可能性として⑤に該当する種。特に緊急性が高く、特に、各主体がそれぞれの役割において、積極的に防除を行う必要がある。

(ii)重点対策外来種

「外来種被害防止行動計画」における対策の優先度の考え方に基づき、被害の深刻度に関する基準*1として①～④のいずれかに該当する種。甚大な被害が予想されるため、特に、各主体のそれぞれの役割における対策の必要性が高い。

(iii)その他の総合対策外来種

*1 緊急対策外来種、重点対策外来種における対策の優先度の考え方
（被害の深刻度に関する基準）
①生態系に係る潜在的な影響・被害が特に甚大
②生物多様性保全上重要な地域に侵入・定着し被害をもたらす可能性が高い
③絶滅危惧種等の生息・生育に甚大な被害を及ぼす可能性が高い
④人の生命・身体や農林水産業等社会経済に対して甚大な被害を及ぼす（対策の実効性、実行可能性）
⑤防除手法が開発されている、又は開発される見込みがある等、一定程度の知見があり、対策の目標を立て得る



（参考）国外外来種、生態系被害防止外来種、特定外来生物の関係

底生動物確認種数一覧（令和５年度）＜1＞

門和名	目・綱		北海道																																					
			大雪ダム				忠別ダム					金山ダム				滝里ダム				桂沢ダム				漁川ダム					豊平峡ダム				定山渓ダム				シューパロダム夕張			
			流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	その他	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	その他	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計
海綿動物門	普通海綿綱																	2	2																					
扁形動物門	有棒状体綱		1		1	1	1	2	1	1	2	1		1	1	1		1	1			1	1		1	1		1	1		1	2	2	1	3	3			1	1
紐形動物門	針紐虫綱				1	1		1	1		1	1	1	1	1	1		1	1							1	1	1											1	1
	–																																							
軟体動物門	腹足綱				1	1	2	2	3	2	3	2	2	2	2	4	3	3	5	2	1	2	2	1	2	3	2	4			4	4		1	2	2	1	1	3	4
	二枚貝綱		1		2	2	2	2	2	1	2	1	2	2	2	2	1	3	3			1	1	1	1	2	1	2	1		1	1	1		1	1			1	1
環形動物門	ゴカイ綱																																							
	ミミズ綱		3	3	5	5	5	6	5	6	7	5	6	5	8	11	8	18	23	5	2	7	9	9	10	8	7	13	2	2	3	3	2	1	3	3	3	1	7	8
	ヒル綱							1			1	1	1	2	3	4	3	3	5			2	2	1	1	2	1	2			1	1								
星口動物門	–																																							
節足動物門	カイアシ綱																																							
	軟甲綱		1		1	1	2	2	3	2	4	1	2	2	2	5	2	2	5		1	4	5	3	4	3	3	6		1	2	3	2	2	3	4	2	2	1	4
	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	17	3	19	23	29	23	27	5	35	28	4	20	32	33	14	21	37	24	1	23	27	30	7	15	2	33	25	3	26	27	24	1	20	27	25	2	21	27
		トンボ目（蜻蛉目）					3	3		8	10	1	9	7	12	10	8	10	16	8		3	8	1	3	4	3	6	3		3	5	3	1		4	3			3
		ゴキブリ目（網翅目）																																						
		カワゲラ目（セキ翅目）	12	2	10	12	14	10	7	3	14	11	1	3	11	17	2	3	17	15	1	10	15	14	1	3		14	14	1	7	14	12		8	12	12		3	12
		カメムシ目（半翅目）			1	1	1	2	2	3	4	1	7	2	8	7	9	4	11	1			1	6	1	2	1	6						1		1				
		ヘビトンボ目			1	1	3	1	2	1	3			2	2	3		1	3	2		2	2	2	1	2	1	2	2		2	2	1		1	2	1		1	2
		アミメカゲロウ目（脈翅目）			1	1	2		1		2					2	1		2	1		1	1	2				2		1		1	1			1	1			1
		トビケラ目（毛翅目）	13	1	23	28	36	22	32	8	47	27	7	25	40	41	10	25	47	27	1	27	32	40	13	22	8	45	33	4	27	40	32	3	19	38	25	1	16	27
		チョウ目（鱗翅目）																				1	1																	
		ハエ目（双翅目）	29	13	37	48	44	40	37	29	59	44	31	28	60	69	23	43	85	37	5	32	41	65	31	37	22	71	30	12	23	34	27	8	20	35	24	8	26	31
		コウチュウ目（鞘翅目）			2	2	7	8	6	6	13	4	1	7	10	18	7	6	24	4	2	5	8	11	6	5	1	15	3	2	2	4	2		1	2	6		2	7
		ハチ目（膜翅目）					1				1													1				1												
苔虫動物門	被喉綱																					1	1			1		1												
	裸喉綱																																							
棘皮動物門	ナマコ綱																																							
確認種数			77	22	105	127	152	125	129	75	208	128	74	109	194	228	91	146	287	126	14	122	157	187	82	111	53	225	114	26	102	141	109	19	81	135	103	15	83	129

注1）　スクリーニング委員会による指摘により「底生動物」に該当しない分類群については、計数していない。
注2）　種数の合計に関しては、Ⅰ-5 頁種数の計数方法参照。

底生動物確認種数一覧（令和５年度）＜2＞

門和名	目・綱		東北																関東					北陸			中部								近畿			
			白川ダム				長井ダム				寒河江ダム				月山ダム				宮ヶ瀬ダム					宇奈月ダム			美和ダム※				小渋ダム※				天ヶ瀬ダム			
			流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	その他	合計	流入河川	ダム湖	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計
海綿動物門	普通海綿綱																1	1																				
扁形動物門	有棒状体綱		1	1	2	2	2		1	2	2		1	2	1	2	1	2	1	1	2	1	2		1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1
紐形動物門	針紐虫綱		1			1	1		1	1	1		1	1	1		1	1	1	1	1	1	1															
	–																																					
軟体動物門	腹足綱		1	2	6	6	1		6	6	1		5	5	1	1	5	5			8	6	9		1	1	5	5	3	6			2	2	5	6		8
	二枚貝綱		1		2	2	1		1	1							1	1		1	2		2					1		1			1	1	1	6	2	6
環形動物門	ゴカイ綱																																					
	ミミズ綱		7	12	11	15	7	7	11	12	6	3	5	9	5	8	9	10	7	9	15	12	18	2	6	6	7	7	5	9	4	3	7	7	11	10	4	17
	ヒル綱				2	2	1		1	1			2	2							2	1	2				1	4	1	4			1	1	2	3	3	5
星口動物門	–																																					
節足動物門	カイアシ綱												1	1																								
	軟甲綱		1	5	6	8	2	3	4	5	2	5	4	6	1	5	4	5	1	2	7	4	10		1	1	3	2	2	3	2	1	1	3	4	6	4	7
	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	40	34	31	48	24	5	30	39	35	7	39	44	27	13	36	43	37	24	35	45	52	16	19	22	28	16	26	34	31	23	28	36	36	14	16	38
		トンボ目（蜻蛉目）	12	9	17	22	7	1	9	13	10		16	18	4	1	9	9	4	2	14	16	22		1	1	5	4	1	6	5	2	4	7	11	10		15
		ゴキブリ目（網翅目）																																				
		カワゲラ目（セキ翅目）	20	12	6	21	20	6	14	22	25	3	11	26	12	10	11	14	23	13	7	14	26	10	9	11	27	10	9	27	29	15	16	29	14	2	4	14
		カメムシ目（半翅目）	4	7	8	11	4		4	6	1	1	7	8	1	4	4	7	3	2	4	7	10				2	2	1	3	1		2	2	3	3	3	5
		ヘビトンボ目	3	2	3	3	2		3	3	1		3	3	1	2	2	3	3	1	3	1	4	1	1	1	2		1	2	2		1	2	1		1	1
		アミメカゲロウ目（脈翅目）	1			1	1			1										1			1				1		1	1								
		トビケラ目（毛翅目）	40	21	25	50	26	7	34	47	47	5	32	52	20	20	26	40	42	19	31	32	59	13	14	17	36	12	14	41	40	18	34	48	32	9	9	33
		チョウ目（鱗翅目）					1			1																												
		ハエ目（双翅目）	50	46	49	75	47	22	50	67	49	11	44	63	44	35	47	58	53	33	50	62	81	22	23	31	53	39	27	59	47	41	32	56	42	21	20	48
		コウチュウ目（鞘翅目）	12	10	11	22	8	1	19	25	17	2	21	29	10	4	9	18	12	6	8	16	21	2	5	5	10	5	7	15	11	5	13	19	8	4	3	11
		ハチ目（膜翅目）																				1	1															
苔虫動物門	被喉綱			1		1						1		1						2			2													1		1
	裸喉綱																																					
棘皮動物門	ナマコ綱																																					
確認種数			194	162	179	290	155	52	188	252	197	38	192	270	128	105	166	217	187	117	189	219	323	66	81	97	181	108	98	212	173	109	143	214	171	96	70	210

注 1)　スクリーニング委員会による指摘により「底生動物」に該当しない分類群については、計数していない。
注 2)　種数の合計に関しては、Ⅰ-5 頁種数の計数方法参照。
注 3)　美和ダムと小渋ダムは令和４年度の調査実施ダム。

底生動物確認種数一覧（令和５年度）＜3＞

門和名	目・綱		近畿																														中国							
			日吉ダム				比奈知ダム				高山ダム				青蓮寺ダム				室生ダム					布目ダム					一庫ダム				殿ダム				島地川ダム			
			流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	その他	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	その他	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計
海綿動物門	普通海綿綱				2	2											1	1			1		1		1			1												
扁形動物門	有棒状体綱		1		2	2	1	1	2	2	3	1	2	3	1		2	2	3	1	2		3	1	1	2	2	2	2		3	3	1	1	1	1	1	1	1	1
紐形動物門	針紐虫綱				1	1																									1	1	1		1	1	1		1	1
	–																																							
軟体動物門	腹足綱		2	1		3	1	4	4	6	6	4	2	7	2	1	4	5	4	1	3		5	1		2	5	5	4	1	7	7	3	6	5	8	2	2	3	4
	二枚貝綱		1	1	1	2	1	2	3	3	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1	1		1	1		1	1	2	2	1	1	2	1		1	2			2	2
環形動物門	ゴカイ綱																																							
	ミミズ綱		2	3	2	4	6	6	10	12	7	8	7	12	6	6	8	12	8	5	2	2	11	5	5	7	8	12	13	9	7	16	5	7	9	13	3	8	5	10
	ヒル綱			1		1	1		3	3	2	2	1	2	1		1	2	2				2			1	2	2	5		3	5	2	2	2	2	1		1	1
星口動物門	–																																							
節足動物門	カイアシ綱																																							
	軟甲綱		3	4	5	7	5	3	4	5	6	4	5	8	4	4	5	6	5	4	6	3	7	3	4	7	6	8	6	5	7	8	2	3	3	6	3	5	4	5
	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	28	11	33	40	35	11	26	39	32	17	8	32	44	8	24	46	35	20	31	2	41	28	4	24	9	33	34	8	13	35	26	13	19	31	33	24	20	36
		トンボ目（蜻蛉目）	6	8	7	11	9	9	10	17	9	3	2	10	8	6	5	13	16	11	4	5	19	2	4		6	10	12	2	7	13	10	10	7	18	11	11	5	14
		ゴキブリ目（網翅目）																																						
		カワゲラ目（セキ翅目）	4	2	7	7	4	1	2	5	4	1	1	4	10	4	5	10	10	7	5		12	1	1	3	1	3	5	3	2	5	12	3	5	12	16	7	5	19
		カメムシ目（半翅目）	1	4	3	5	2	4	4	6	2	4	1	5	2	3	1	5	4	3	5	1	8		3	2	4	7	8	3	5	12	7	4	5	10	2	4	1	5
		ヘビトンボ目	1		1	1	2		1	2					2		1	2	2	1	1		2						1			1	2			2	2	2	2	2
		アミメカゲロウ目（脈翅目）											1	1																										
		トビケラ目（毛翅目）	24	7	29	32	24	10	31	37	27	6	8	28	25	4	24	33	39	19	30	1	44	17	5	23	8	25	29	3	18	31	25	10	17	34	35	20	15	38
		チョウ目（鱗翅目）							1	1			1	1	1		1	1			1		1	1		1	1	1	1			1			1	1	1	1	1	2
		ハエ目（双翅目）	20	18	25	36	31	23	28	39	32	30	23	49	40	22	36	55	62	40	29	16	77	26	23	30	25	49	50	29	38	65	33	29	33	50	36	39	36	55
		コウチュウ目（鞘翅目）	13	6	9	16	9	8	11	19	14	4	2	14	15	3	9	18	16	3	8	1	20	7	1	7	5	14	17	5	11	18	13	3	7	18	13	6	9	17
		ハチ目（膜翅目）																																						
苔虫動物門	被喉綱							1	2	2							1	1	1				1		1	1	1	2		1		1						1	2	2
	裸喉綱																																							
棘皮動物門	ナマコ綱																																							
確認種数			106	66	127	170	131	83	142	198	145	85	65	177	162	63	130	214	208	116	129	31	255	93	53	111	84	176	189	70	123	224	143	91	116	209	160	131	113	214

注１）　スクリーニング委員会による指摘により「底生動物」に該当しない分類群については、計数していない。
注２）　種数の合計に関しては、Ｉ-5 頁種数の計数方法参照。

底生動物確認種数一覧（令和５年度）＜4＞

門和名	目・綱		四国												九州																															
			石手川ダム				鹿野川ダム				野村ダム				下筌ダム			松原ダム				大山ダム				寺内ダム				巨勢川調整池			嘉瀬川ダム					竜門ダム			
			流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計	ダム湖	その他	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	その他	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計
海綿動物門	普通海綿綱							4	3	6	1	2	1	2																2		2							1	3	3
扁形動物門	有棒状体綱		1		1	1	1		2	2	1	1	2	2	1		1	1		1	1	1		2	2	1		3	3				1	1	1	1	1	1	1	1	1
紐形動物門	針紐虫綱								1	1	1			1		1	1		1		1	1		1	1			1	1					1	1		1	1		1	1
	–																																											
軟体動物門	腹足綱		1	5	4	6	3		1	4	1	2	1	3	2	1	2	2	3	4	6	2	2	7	7	3	1	13	13	8	5	9	7	9	8	12	16	2	4	1	5
	二枚貝綱				2	2	1	2	1	2	1	1	1	2	1		1	1	1	1	1	1		2	2			1	1	1		1	2		1	2	3		1	1	1
環形動物門	ゴカイ綱																																											
	ミミズ綱		4	8	3	11	7	4	5	10	6	2	4	7	7	8	10	9	8	9	14	9	5	10	14	4	7	14	16	16	5	17	11	7	8	5	15	9	8	7	14
	ヒル綱			1	1	2	1	2		2	2			2	1		1	1			1		2		2			6	6	1		1	2	5	3	4	7	1	3		3
星口動物門	–																																											
節足動物門	カイアシ綱																																											
	軟甲綱		5	5	4	6	5	5	5	6	6	4	6	7	2	3	4	3	3	5	5	3	3	3	3	4	1	8	8	8	1	8	5	5	4	3	5	2	5	4	5
	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	25	4	24	31	41	23	26	43	38	22	26	38	48	11	49	38	17	32	39	41	9	34	47	35	8	22	41	3		3	35	15	33	9	41	38	30	33	46
		トンボ目（蜻蛉目）	11	15	3	19	14	9	6	18	10	8	8	14	12	4	13	9	3	12	15	8	5	8	13	4	2	12	14	10	3	10	16	12	13	15	29	11	9	13	15
		ゴキブリ目（網翅目）																																										
		カワゲラ目（セキ翅目）	12		3	12	14	3	4	14	7	3	3	7	15	3	15	7	1	5	7	12	2	9	13	14	3	2	14				13	3	5	1	13	17	10	12	18
		カメムシ目（半翅目）	3	3	2	6	7	4	5	8	7	3	3	8	5	1	6	6	6	8	13	3	2	1	3	1	1	2	2	8	1	8	10	11	5	14	18	5	6	3	8
		ヘビトンボ目	1		2	2	2	1	1	3	1	2	2	3	1	1	1	1	1	2	2	1		2	2	1		1	1									1	1	1	1
		アミメカゲロウ目（脈翅目）																																				2			2
		トビケラ目（毛翅目）	21	6	19	30	36	20	19	38	31	16	17	36	37	5	39	33	11	24	37	36	5	27	44	25	6	26	31	1		1	31	10	28	8	41	42	25	29	54
		チョウ目（鱗翅目）	1		1	1					1			1														1	1				1				1			1	1
		ハエ目（双翅目）	41	15	35	53	45	23	28	54	35	24	21	44	62	28	67	45	26	37	58	53	26	48	74	38	27	59	74	18	2	18	55	31	44	33	74	56	48	39	73
		コウチュウ目（鞘翅目）	12	5	5	19	22	7	11	25	16	6	11	23	16	2	17	12	9	14	25	12	1	12	18	8		17	21	11	5	12	23	11	4	21	35	24	7	12	29
		ハチ目（膜翅目）													1		1																								
苔虫動物門	被喉綱			1		1		1	1	1		1	1	1		1	1		1		1							2	2	1		1		1			1		2	2	2
	裸喉綱						1		1	1			1	1																					1		1				
棘皮動物門	ナマコ綱																																											
確認種数			138	68	109	202	200	108	120	238	165	97	108	202	211	69	229	168	91	154	226	183	62	166	245	138	56	190	249	88	22	91	212	122	159	128	302	212	161	163	282

注 1)　スクリーニング委員会による指摘により「底生動物」に該当しない分類群については、計数していない。
注 2)　種数の合計に関しては、Ⅰ-5 頁種数の計数方法参照。

底生動物確認種数一覧（令和５年度）＜5＞

門和名	目・綱		沖縄																												全体				
			辺野喜ダム				普久川ダム				安波ダム				新川ダム				福地ダム				漢那ダム					金武ダム							
			流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	その他	合計	ダム湖	下流河川	合計	流入河川	ダム湖	下流河川	その他	合計
海綿動物門	普通海綿綱			1	4	5		1	1	2		6	3	8		4	1	4		4		4	1	4			4	2		2	1	11	10		11
扁形動物門	有棒状体綱		1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	5	4	6	2	6
紐形動物門	針紐虫綱				1	1		1	1	1			1	1			1	1		1		1				1	1	1		1	1	1	1	1	1
	–																											–	1	–		–	–		–
軟体動物門	腹足綱		1	2	6	6	2	4	6	7	1	5	16	17	1	2	8	8	3	7	16	18	6	10	36	8	48	11	54	63	17	26	85	18	91
	二枚貝綱				2	2	2	1	2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1	2	2	3	1	8	2	11	1	14	15	6	10	20	3	25
環形動物門	ゴカイ綱												1	1											8		8	1	22	22		1	24		24
	ミミズ綱		3	3	3	5	1	5	4	6	2	4	2	5	4	4	1	4	4	5	2	7	5	3	2	3	7	4	2	5	26	36	31	20	42
	ヒル綱			2		2	1	2	1	2		2	2	2	1	1		1		2	1	2		2	1		2		1	1	7	8	8	5	14
星口動物門	–																												1	1			1		1
節足動物門	カイアシ綱																									1	1		1	1			2	1	2
	軟甲綱		1	2	7	7	1	2	7	7	3	3	10	12	1	2	6	6	6	9	16	23	7	8	84	2	87	8	102	108	27	30	144	9	151
	昆虫綱	カゲロウ目（蜉蝣目）	11	4	8	11	11	8	8	12	9	4	9	12	6	4	6	9	13	6	9	15	9	3	1	3	9	3		3	79	67	74	51	86
		トンボ目（蜻蛉目）	6	15	7	16	7	17	6	18	6	9	7	12	11	14	7	18	9	14	8	21	8	14	2	13	24	12		12	46	69	60	49	85
		ゴキブリ目（網翅目）							1	1					1			1	1	1		1									1	1	1		1
		カワゲラ目（セキ翅目）	6	1	2	6	4	2	2	4	4	2	2	4	3	1	2	3	6	2	1	6	3			2	3	1		1	45	30	32	14	45
		カメムシ目（半翅目）	3	9	4	9	4	7	5	8	5	6	5	7	7	9	7	13	6	9	7	12	7	9	4	8	15	8	4	10	32	43	27	27	53
		ヘビトンボ目	1	1	2	2		1	2	2	1	1	1	1	2	1		2	2	1		2	2	1	1	1	2				7	7	7	2	8
		アミメカゲロウ目（脈翅目）		1	1	1		1		1		1	1	1		1	1	1													3	2	2		4
		トビケラ目（毛翅目）	17	7	10	18	15	5	12	16	17	3	12	19	13	2	7	15	26	7	10	27	16	1		6	18	1		1	133	90	96	43	144
		チョウ目（鱗翅目）			1	1	1		1	1			1	1	1			1	1		1	1		1			1				2	2	3	1	4
		ハエ目（双翅目）	27	11	26	38	24	11	19	35	24	10	21	36	28	10	22	38	37	14	23	48	17	7	2	13	27	12	7	14	158	131	134	87	186
		コウチュウ目（鞘翅目）	16	9	11	24	14	11	5	19	12	6	10	15	16	8	11	21	20	8	10	28	13	11	1	22	32	14	3	16	100	87	92	60	150
		ハチ目（膜翅目）																													2			1	2
苔虫動物門	被喉綱			1	1	1	1	2		2		1		1		2	1	2		1		1		1			1	1		1	2	3	4	1	4
	裸喉綱								1	1																					1		2		2
棘皮動物門	ナマコ綱																												1	1			1		1
確認種数			93	70	97	156	89	82	85	148	86	64	107	158	97	67	84	151	136	93	107	220	98	77	151	86	302	81	214	279	701	659	867	395	1143

注 1)　スクリーニング委員会による指摘により「底生動物」に該当しない分類群については、計数していない。
注 2)　種数の合計に関しては、Ⅰ-5 頁種数の計数方法参照。
注 3)　紐型動物門に掲載した"-"は、同じ種の可能性があるため計数しない。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜1＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			北海道																						
						①	②	③	大雪ダム			忠別ダム				金山ダム			滝里ダム			桂沢ダム			漁川ダム				豊平峡ダム		
									流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川
1	腹足綱	アマオブネガイ目	アマオブネガイ科	ヒメカノコガイ	*Clithon oualaniense*			NT																							
2				ツバサカノコガイ	*Neripteron auriculatum*			NT																							
3				ニセヒロクチカノコガイ	*Neripteron siquijorense*			NT																							
4				キジビキカノコガイ	*Neripteron spirale*			NT																							
5				コウモリカノコガイ	*Neripteron subauriculatum*			NT																							
6				フリソデカノコガイ	*Neripteron* sp.			NT																							
7				ヒラマキアマオブネガイ	*Nerita planospira*			NT																							
8				アカグチカノコガイ	*Neritina petiti*			NT																							
9				シマカノコガイ	*Neritina turrita*			NT																							
10				クロズミアカグチカノコガイ	*Neritina* sp. A			NT																							
11				ウスベニツバサカノコガイ	*Neritina* sp. B			NT																							
12				カミングフネアマガイ	*Septaria cumingiana*			VU																							
13			ユキスズメガイ科	ミヤコドリガイ	*Phenacolepas pulchella*			NT																							
14			コハクカノコ科	ツブコハクカノコ	*Neritilia vulgaris*			NT																							
15		新生腹足目	タニシ科	マルタニシ	*Cipangopaludina chinensis laeta*			VU												●											
16				オオタニシ	*Heterogen japonica*			NT																							
17			オニノツノガイ科	コゲツノブエガイ	*Cerithium coralium*			VU																							
18				カヤノミカニモリガイ	*Clypeomorus bifasciata*			NT																							
19			トゲカワニナ科	ヌノメカワニナ	*Melanoides tuberculatus*			NT																							
20				ネジヒダカワニナ	*Sermyla riqueti*			NT																							
21				アマミカワニナ	*Stenomelania costellaris*			CR+EN																							
22				イボアヤカワニナ	*Tarebia granifera*			NT																							
23			カワニナ科	ナカセコカワニナ	*Semisulcospira nakasekoae*			CR+EN																							
24			キバウミニナ科	フトヘナタリガイ	*Cerithidea moerchii*			NT																							
25				マドモチウミニナ	*Terebralia sulcata*			VU																							
26			タマキビ科	イロタマキビガイ	*Littoraria pallescens*			NT																							
27			ミズツボ科	ホラアナミジンニナ	*Bythinella nipponica*			VU																							
28			カワザンショウガイ科	オイランカワザンショウガイ	*Assiminea* aff. *yoshidayukioi*			NT																							
29			ミズゴマツボ科	オキナワミズゴマツボ	*Stenothyra basiangulata*			NT																							
30			ムシロガイ科	カニノテムシロガイ	*Nassarius bellalus*			NT																							

凡 例）

①文化財保護法
　国指定特別天然記念物、天然記念物

②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
　国内：国内希少野生動植物種
　第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
　第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
　緊急：緊急指定種

③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
　及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
　CR:絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
　EN:絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
　CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
　VU:絶滅危惧II類－絶滅の危険が増大している種
　NT:準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
　DD:情報不足－評価するだけの情報が不足している種
　LP:絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜2＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			北海道																					
						①	②	③	大雪ダム			忠別ダム				金山ダム			滝里ダム			桂沢ダム			漁川ダム				豊平峡ダム		
									流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川
31	腹足綱	汎有肺目	トウガタガイ科	シゲヤスイトカケギリガイ	*Pyrgulina shigeyasui*			NT																							
32				アンパルクチキレガイ	*Syrnola hanzawai*			NT																							
33			イソアワモチ科	ドロアワモチ	*Onchidium* sp.			VU																							
34				ゴマセンベイアワモチ	*Platevindex* cf. *mortoni*			NT																							
35			オカミミガイ科	カタシイノミミガイ	*Cassidula crassiuscula*			NT																							
36				ウラシマミミガイ	*Cassidula mustelina*			NT																							
37				ヒメシイノミミガイ	*Cassidula paludosa nigrobrunnea*			CR+EN																							
38				ヘゴノメミミガイ	*Cassidula schmackeriana*			CR+EN																							
39				コハクオカミミガイ	*Ellobium pallidum*			CR+EN																							
40				ウルシヌリハマシイノミガイ	*Melampus nucleolus*			VU																							
41				キヌメハマシイノミガイ	*Melampus sulculosus*			NT																							
42				クロヒラシイノミガイ	*Pythia pachyodon*			NT																							
43			モノアラガイ科	コシダカヒメモノアラガイ	*Galba* cf. *truncatula*			DD																							
44				モノアラガイ	*Radix auricularia japonica*			NT				▲	●	▼	■	▲	●	▼	▲	●	▼					●	▼	■			▼
45				タイワンモノアラガイ	*Radix auricularia swinhoei*			DD																							
46			ヒラマキガイ科	ヒメヒラマキミズマイマイ	*Gyraulus pulcher*			EN																							
47				ミズコハクガイ	*Gyraulus soritai*			VU																							
48				ヒラマキミズマイマイ	*Gyraulus spirillus*			DD											▲		▼										
49				トウキョウヒラマキガイ	*Gyraulus tokyoensis*			DD																							
50				クルマヒラマキガイ	*Helicorbis cantori*			VU																							
51				ヒラマキガイモドキ	*Polypylis hemisphaerula*			NT																							
52				リュウキュウヒラマキガイモドキ	*Polypylis usta*			NT																							
53	二枚貝綱	イシガイ目	イシガイ科	ササノハガイ	*Lanceolaria oxyrhyncha*			VU																							
54				マツカサガイ広域分布種	*Pronodularia* cf. *japanensis 1*			NT																							
55		マルスダレガイ目	シジミ科	セタシジミ	*Corbicula sandai*			VU																							
56				ヤエヤマヒルギシジミ	*Geloina erosa*			VU																							
57				タイワンヒルギシジミ	*Geloina fissidens*			VU																							
58				リュウキュウヒルギシジミ	*Geloina expansa*			VU																							
59			ニッコウガイ科	トガリユウシオガイ	*Jitlada juvenilis*			NT																							
60				ヌノメイチョウシラトリ	*Serratina capsoides*			NT																							

凡 例)

①文化財保護法
　国指定特別天然記念物、天然記念物

②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
　国内：国内希少野生動植物種
　第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
　第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
　緊急：緊急指定種

③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
　及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
　CR:絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
　EN:絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
　CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
　VU:絶滅危惧II類－絶滅の危険が増大している種
　NT:準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
　DD:情報不足－評価するだけの情報が不足している種
　LP:絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜3＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			北海道																					
						①	②	③	大雪ダム			忠別ダム				金山ダム			滝里ダム			桂沢ダム			漁川ダム				豊平峡ダム		
									流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川
61	二枚貝綱	マルスダレガイ目	シオサザナミ科	マスオガイ	*Gari elongata*			NT																							
62				ハザクラガイ	*Gari minor*			NT																							
63				ミナトマスオガイ	*Psammotaena inflata*			VU																							
64	ヒル綱	吻蛭目	ヒラタビル科	ミドリビル	*Ancyrobdella smaragdina*			DD																							
65				イボビル	*Hemiclepsis japonica*			DD									●														
66	軟甲綱	ヨコエビ目	キタヨコエビ科	ナリタヨコエビ	*Jesogammarus naritai*			NT																							
67			ゲンコツヨコエビ科	シオカワヨコエビ	*Paracalliope dichotomus*			NT																							
68		エビ目	ヌマエビ科	ミナミオニヌマエビ	*Atyoida pilipes*			NT																							
69			テナガエビ科	ネッタイテナガエビ	*Macrobrachium placidulum*			VU																							
70			テッポウエビ科	ハシボソテッポウエビ	*Alpheus dolichodactylus*			NT																							
71				マングローブテッポウエビ	*Alpheus nomurai*			NT																							
72			アジアザリガニ科	ニホンザリガニ	*Cambaroides japonicus*		第二	VU				▲												▼	▲						
73			オカヤドカリ科	オカヤドカリ	*Coenobita cavipes*	国天																									
74				ムラサキオカヤドカリ	*Coenobita purpureus*	国天																									
75				コムラサキオカヤドカリ	*Coenobita violascens*	国天		NT																							
76			アナジャコ科	コブシアナジャコ	*Upogebia sakaii*			VU																							
77			コブシガニ科	イリオモテマメコブシガニ	*Philyra iriomotensis*			DD																							
78				マンガルマメコブシガニ	*Philyra nishihirai*			DD																							
79				アマミマメコブシ	*Philyra taekoae*			DD																							
80			ワタリガニ科	ツノナシイボガザミ	*Portunus brockii*			DD																							
81				アカテノコギリガザミ	*Scylla olivacea*			DD																							
82			サワガニ科	オキナワミナミサワガニ	*Candidiopotamon okinawense*			NT																							
83				アラモトサワガニ	*Geothelphusa aramotoi*			VU																							
84				サカモトサワガニ	*Geothelphusa sakamotoanus*			NT																							
85			ベンケイガニ科	リュウキュウアカテガニ	*Chiromantes ryukyuanum*			VU																							
86				フジテガニ	*Clistocoeloma nobile*			NT																							
87				ヒナアシハラモドキ	*Neosarmatium laeve*			DD																							
88				ユビアカベンケイガニ	*Parasesarma tripectinis*			NT																							
89				ベンケイガニ	*Orisarma intermedium*			NT																							
90			モクズガニ科	オキナワヒライソガニ	*Gaetice ungulatus*			NT																							

凡 例）

①文化財保護法
　国指定特別天然記念物、天然記念物

②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
　国内：国内希少野生動植物種
　第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
　第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
　緊急：緊急指定種

③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
　及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
　CR：絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
　EN：絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
　CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
　VU：絶滅危惧Ⅱ類－絶滅の危険が増大している種
　NT：準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
　DD：情報不足－評価するだけの情報が不足している種
　LP：絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜4＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			北海道																						
						①	②	③	大雪ダム			忠別ダム				金山ダム			滝里ダム			桂沢ダム			漁川ダム				豊平峡ダム		
									流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川
91	軟甲綱	エビ目	モクズガニ科	ミナミアシハラガニ	*Pseudohelice subquadrata*			NT																							
92				アゴヒロカワガニ	*Ptychognathus altimanus*			NT																							
93				ヒメヒライソモドキ	*Ptychognathus capillidigitatus*			NT																							
94				タイワンヒライソモドキ	*Ptychognathus ishii*			NT																							
95				タイワンオオヒライソガニ	*Varuna yui*			DD																							
96			ムツハアリアケガニ科	ミナミムツハアリアケガニ	*Takedellus ambonensis*			DD																							
97			オサガニ科	ヒメヤマトオサガニ	*Macrophthalmus banzai*			NT																							
98				ホルトハウスオサガニ	*Macrophthalmus holthuisi*			NT																							
99			スナガニ科	リュウキュウシオマネキ	*Tubuca coarctata*			NT																							
100	昆虫綱	トンボ目（蜻蛉目）	モノサシトンボ科	グンバイトンボ	*Platycnemis foliacea sasakii*			NT																							
101			サナエトンボ科	オキナワサナエ	*Asiagomphus amamiensis okinawanus*			NT																							
102				キイロサナエ	*Asiagomphus pryeri*			NT																							
103				オオサカサナエ	*Stylurus annulatus*			VU																							
104				タベサナエ	*Trigomphus citimus tabei*			NT																							
105			オニヤンマ科	オキナワミナミヤンマ	*Chlorogomphus okinawensis*			VU																							
106			エゾトンボ科	キイロヤマトンボ	*Macromia daimoji*			NT																							
107				オキナワコヤマトンボ	*Macromia kubokaiya*			NT																							
108		カメムシ目（半翅目）	カタビロアメンボ科	オヨギカタビロアメンボ	*Xiphovelia japonica*			NT																							
109			コオイムシ科	コオイムシ	*Appasus japonicus*			NT																							
110			マツモムシ科	オキナワマツモムシ	*Notonecta montandoni*			NT																							
111		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	オキナワホシシマトビケラ	*Macrostemum okinawanum*			NT																							
112			ナガレトビケラ科	オオナガレトビケラ	*Himalopsyche japonica*			NT																							
113			アシエダトビケラ科	クチキトビケラ	*Ganonema uchidai*			NT																							
114				ビワアシエダトビケラ	*Georgium japonicum*			NT																							
115		ハエ目（双翅目）	アミカ科	カニギンモンアミカ	*Neohapalothrix kanii*			VU																							
116			アミカモドキ科	ニホンアミカモドキ	*Deuterophlebia nipponica*			VU																							
117			カ科	オオハマハマダラカ	*Anopheles saperoi*			NT																							
118		コウチュウ目（鞘翅目）	ゲンゴロウ科	フタキボシケシゲンゴロウ	*Allopachria bimaculata*			NT																							
119				クロゲンゴロウ	*Cybister brevis*			NT																							
120				ヒメフチトリゲンゴロウ	*Cybister rugosus*		第二	VU																							

凡 例）

①文化財保護法
　国指定特別天然記念物、天然記念物

②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
　国内：国内希少野生動植物種
　第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
　第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
　緊急：緊急指定種

③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
　及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
　CR：絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
　EN：絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
　CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
　VU：絶滅危惧Ⅱ類－絶滅の危険が増大している種
　NT：準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
　DD：情報不足－評価するだけの情報が不足している種
　LP：絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜5＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			北海道																					
						①	②	③	大雪ダム			忠別ダム				金山ダム			滝里ダム			桂沢ダム			漁川ダム				豊平峡ダム		
									流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川
121	昆虫綱	コウチュウ目（鞘翅目）	ゲンゴロウ科	コガタノゲンゴロウ	*Cybister tripunctatus lateralis*			VU																						
122				シマゲンゴロウ	*Hydaticus bowringii*			NT																						
123				コマルケシゲンゴロウ	*Hydrovatus acuminatus*			NT																						
124				オオマルケシゲンゴロウ	*Hydrovatus bonvouloiri*			NT																						
125				ヤギマルケシゲンゴロウ	*Hydrovatus yagii*			NT																						
126				キベリマメゲンゴロウ	*Platambus fimbriatus*			NT						▼												▼				
127			ミズスマシ科	オオミズスマシ	*Dineutus orientalis*			NT																						
128				ミズスマシ	*Gyrinus japonicus*			VU																						
129				コオナガミズスマシ	*Orectochilus punctipennis*			VU																						
130				エゾコオナガミズスマシ	*Orectochilus villosus*			NT													▼			▼							
131			コガシラミズムシ科	クビボソコガシラミズムシ	*Haliplus japonicus*			DD					●	▼	■										▲		▼	■			
132				コウトウコガシラミズムシ	*Haliplus kotoshonis*			NT																						
133				マダラコガシラミズムシ	*Haliplus sharpi*			VU																						
134			ガムシ科	スジヒラタガムシ	*Helochares nipponicus*			NT																						
135				コガムシ	*Hydrochara affinis*			DD																						
136				ガムシ	*Hydrophilus acuminatus*			NT																						
137				ミユキシジミガムシ	*Laccobius inopinus*			NT																						
138				オキナワマルチビガムシ	*Pelthydrus okinawanus*			DD																						
139			ヒメドロムシ科	ヨコミゾドロムシ	*Leptelmis gracilis*			VU																						
140				ケスジドロムシ	*Pseudamophilus japonicus*			VU																						
141				アカツヤドロムシ	*Zaitzevia rufa*			EN																						
142		ハチ目（膜翅目）	ヒメバチ科	ミズバチ	*Agriotypus gracilis*			DD				▲																		
確認種類数									0	0	0	3	2	3	2	1	2	1	2	2	3	0	0	2	2	1	3	2	0	0	1

凡 例）

①文化財保護法
　国指定特別天然記念物、天然記念物

②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
　国内：国内希少野生動植物種
　第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
　第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
　緊急：緊急指定種

③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
　及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
　CR:絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
　EN:絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
　CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
　VU:絶滅危惧II類－絶滅の危険が増大している種
　NT:準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
　DD:情報不足－評価するだけの情報が不足している種
　LP:絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜6＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			北海道						東北												関東				北陸	
						①	②	③	定山渓ダム			シューパロダム			白川ダム			長井ダム			寒河江ダム			月山ダム			宮ヶ瀬ダム				宇奈月ダム	
									流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖
1	腹足綱	アマオブネガイ目	アマオブネガイ科	ヒメカノコガイ	*Clithon oualaniense*			NT																								
2				ツバサカノコガイ	*Neripteron auriculatum*			NT																								
3				ニセヒロクチカノコガイ	*Neripteron siquijorense*			NT																								
4				キジビキカノコガイ	*Neripteron spirale*			NT																								
5				コウモリカノコガイ	*Neripteron subauriculatum*			NT																								
6				フリソデカノコガイ	*Neripteron* sp.			NT																								
7				ヒラマキアマオブネガイ	*Nerita planospira*			NT																								
8				アカグチカノコガイ	*Neritina petiti*			NT																								
9				シマカノコガイ	*Neritina turrita*			NT																								
10				クロズミアカグチカノコガイ	*Neritina* sp. A			NT																								
11				ウスベニツバサカノコガイ	*Neritina* sp. B			NT																								
12				カミングフネアマガイ	*Septaria cumingiana*			VU																								
13			ユキスズメガイ科	ミヤコドリガイ	*Phenacolepas pulchella*			NT																								
14			コハクカノコ科	ツブコハクカノコ	*Neritilia vulgaris*			NT																								
15		新生腹足目	タニシ科	マルタニシ	*Cipangopaludina chinensis laeta*			VU																								
16				オオタニシ	*Heterogen japonica*			NT									▼															
17			オニノツノガイ科	コゲツノブエガイ	*Cerithium coralium*			VU																								
18				カヤノミカニモリガイ	*Clypeomorus bifasciata*			NT																								
19			トゲカワニナ科	ヌノメカワニナ	*Melanoides tuberculatus*			NT																								
20				ネジヒダカワニナ	*Sermyla riqueti*			NT																								
21				アマミカワニナ	*Stenomelania costellaris*			CR+EN																								
22				イボアヤカワニナ	*Tarebia granifera*			NT																								
23			カワニナ科	ナカセコカワニナ	*Semisulcospira nakasekoae*			CR+EN																								
24			キバウミニナ科	フトヘナタリガイ	*Cerithidea moerchii*			NT																								
25				マドモチウミニナ	*Terebralia sulcata*			VU																								
26			タマキビ科	イロタマキビガイ	*Littoraria pallescens*			NT																								
27			ミズツボ科	ホラアナミジンニナ	*Bythinella nipponica*			VU																								
28			カワザンショウガイ科	オイランカワザンショウガイ	*Assiminea* aff. *yoshidayukioi*			NT																								
29			ミズゴマツボ科	オキナワミズゴマツボ	*Stenothyra basiangulata*			NT																								
30			ムシロガイ科	カニノテムシロガイ	*Nassarius bellalus*			NT																								

凡 例）
①文化財保護法
国指定特別天然記念物、天然記念物
②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
国内：国内希少野生動植物種
第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
緊急：緊急指定種

③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
CR:絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
EN:絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
VU:絶滅危惧II類－絶滅の危険が増大している種
NT:準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
DD:情報不足－評価するだけの情報が不足している種
LP:絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜7＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			北海道						東北												関東				北陸	
						①	②	③	定山渓ダム			シューパロダム			白川ダム			長井ダム			寒河江ダム			月山ダム			宮ヶ瀬ダム				宇奈月ダム	
									流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖
31	腹足綱	汎有肺目	トウガタガイ科	シゲヤスイトカケギリガイ	*Pyrgulina shigeyasui*			NT																								
32				アンパルクチキレガイ	*Syrnola hanzawai*			NT																								
33			イソアワモチ科	ドロアワモチ	*Onchidium* sp.			VU																								
34				ゴマセンベイアワモチ	*Platevindex* cf. *mortoni*			NT																								
35			オカミミガイ科	カタシイノミミガイ	*Cassidula crassiuscula*			NT																								
36				ウラシマミミガイ	*Cassidula mustelina*			NT																								
37				ヒメシイノミミガイ	*Cassidula paludosa nigrobrunnea*			CR+EN																								
38				ヘゴノメミミガイ	*Cassidula schmackeriana*			CR+EN																								
39				コハクオカミミガイ	*Ellobium pallidum*			CR+EN																								
40				ウルシヌリハマシイノミガイ	*Melampus nucleolus*			VU																								
41				キヌメハマシイノミガイ	*Melampus sulculosus*			NT																								
42				クロヒラシイノミガイ	*Pythia pachyodon*			NT																								
43			モノアラガイ科	コシダカヒメモノアラガイ	*Galba* cf. *truncatula*			DD															▼						▼	■		
44				モノアラガイ	*Radix auricularia japonica*			NT						▼	▲	●	▼			▼			▼			▼			▼	■		
45				タイワンモノアラガイ	*Radix auricularia swinhoei*			DD																								
46			ヒラマキガイ科	ヒメヒラマキミズマイマイ	*Gyraulus pulcher*			EN																		▼						
47				ミズコハクガイ	*Gyraulus soritai*			VU																								
48				ヒラマキミズマイマイ	*Gyraulus spirillus*			DD												▼			▼							■		
49				トウキョウヒラマキガイ	*Gyraulus tokyoensis*			DD																								
50				クルマヒラマキガイ	*Helicorbis cantori*			VU																								
51				ヒラマキガイモドキ	*Polypylis hemisphaerula*			NT																								
52				リュウキュウヒラマキガイモドキ	*Polypylis usta*			NT																								
53	二枚貝綱	イシガイ目	イシガイ科	ササノハガイ	*Lanceolaria oxyrhyncha*			VU																								
54				マツカサガイ広域分布種	*Pronodularia* cf. *japanensis 1*			NT																								
55		マルスダレガイ目	シジミ科	セタシジミ	*Corbicula sandai*			VU																								
56				ヤエヤマヒルギシジミ	*Geloina erosa*			VU																								
57				タイワンヒルギシジミ	*Geloina fissidens*			VU																								
58				リュウキュウヒルギシジミ	*Geloina expansa*			VU																								
59			ニッコウガイ科	トガリユウシオガイ	*Jitlada juvenilis*			NT																								
60				ヌノメイチョウシラトリ	*Serratina capsoides*			NT																								

凡 例）

①文化財保護法
　国指定特別天然記念物、天然記念物

②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
　国内：国内希少野生動植物種
　第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
　第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
　緊急：緊急指定種

③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
　及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
　CR：絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
　EN：絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
　CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
　VU：絶滅危惧II類－絶滅の危険が増大している種
　NT：準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
　DD：情報不足－評価するだけの情報が不足している種
　LP：絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜8＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			北海道						東北												関東				北陸	
						①	②	③	定山渓ダム			シューパロダム			白川ダム			長井ダム			寒河江ダム			月山ダム			宮ヶ瀬ダム				宇奈月ダム	
									流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖
61	二枚貝綱	マルスダレガイ目	シオサザナミ科	マスオガイ	*Gari elongata*			NT																								
62				ハザクラガイ	*Gari minor*			NT																								
63				ミナトマスオガイ	*Psammotaena inflata*			VU																								
64	ヒル綱	吻蛭目	ヒラタビル科	ミドリビル	*Ancyrobdella smaragdina*			DD																								
65				イボビル	*Hemiclepsis japonica*			DD																								
66	軟甲綱	ヨコエビ目	キタヨコエビ科	ナリタヨコエビ	*Jesogammarus naritai*			NT																								
67			ゲンコツヨコエビ科	シオカワヨコエビ	*Paracalliope dichotomus*			NT																								
68		エビ目	ヌマエビ科	ミナミオニヌマエビ	*Atyoida pilipes*			NT																								
69			テナガエビ科	ネッタイテナガエビ	*Macrobrachium placidulum*			VU																								
70			テッポウエビ科	ハシボソテッポウエビ	*Alpheus dolichodactylus*			NT																								
71				マングローブテッポウエビ	*Alpheus nomurai*			NT																								
72			アジアザリガニ科	ニホンザリガニ	*Cambaroides japonicus*		第二	VU	▲			▲																				
73			オカヤドカリ科	オカヤドカリ	*Coenobita cavipes*	国天																										
74				ムラサキオカヤドカリ	*Coenobita purpureus*	国天																										
75				コムラサキオカヤドカリ	*Coenobita violascens*	国天		NT																								
76			アナジャコ科	コブシアナジャコ	*Upogebia sakaii*			VU																								
77			コブシガニ科	イリオモテマメコブシガニ	*Philyra iriomotensis*			DD																								
78				マンガルマメコブシガニ	*Philyra nishihirai*			DD																								
79				アマミマメコブシ	*Philyra taekoae*			DD																								
80			ワタリガニ科	ツノナシイボガザミ	*Portunus brockii*			DD																								
81				アカテノコギリガザミ	*Scylla olivacea*			DD																								
82			サワガニ科	オキナワミナミサワガニ	*Candidiopotamon okinawense*			NT																								
83				アラモトサワガニ	*Geothelphusa aramotoi*			VU																								
84				サカモトサワガニ	*Geothelphusa sakamotoanus*			NT																								
85			ベンケイガニ科	リュウキュウアカテガニ	*Chiromantes ryukyuanum*			VU																								
86				フジテガニ	*Clistocoeloma nobile*			NT																								
87				ヒナアシハラモドキ	*Neosarmatium laeve*			DD																								
88				ユビアカベンケイガニ	*Parasesarma tripectinis*			NT																								
89				ベンケイガニ	*Orisarma intermedium*			NT																								
90			モクズガニ科	オキナワヒライソガニ	*Gaetice ungulatus*			NT																								

凡 例）

①文化財保護法
　国指定特別天然記念物、天然記念物

②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
　国内：国内希少野生動植物種
　第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
　第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
　緊急：緊急指定種

③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
　及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
　CR:絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
　EN:絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
　CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
　VU:絶滅危惧II類－絶滅の危険が増大している種
　NT:準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
　DD:情報不足－評価するだけの情報が不足している種
　LP:絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜9＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			北海道						東北												関東				北陸	
						①	②	③	定山渓ダム			シューパロダム夕張			白川ダム			長井ダム			寒河江ダム			月山ダム			宮ヶ瀬ダム				宇奈月ダム	
									流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖
91	軟甲綱	エビ目	モクズガニ科	ミナミアシハラガニ	*Pseudohelice subquadrata*			NT																								
92				アゴヒロカワガニ	*Ptychognathus altimanus*			NT																								
93				ヒメヒライソモドキ	*Ptychognathus capillidigitatus*			NT																								
94				タイワンヒライソモドキ	*Ptychognathus ishii*			NT																								
95				タイワンオオヒライソガニ	*Varuna yui*			DD																								
96			ムツハアリアケガニ科	ミナミムツハアリアケガニ	*Takedellus ambonensis*			DD																								
97			オサガニ科	ヒメヤマトオサガニ	*Macrophthalmus banzai*			NT																								
98				ホルトハウスオサガニ	*Macrophthalmus holthuisi*			NT																								
99			スナガニ科	リュウキュウシオマネキ	*Tubuca coarctata*			NT																								
100	昆虫綱	トンボ目（蜻蛉目）	モノサシトンボ科	グンバイトンボ	*Platycnemis foliacea sasakii*			NT																								
101			サナエトンボ科	オキナワサナエ	*Asiagomphus amamiensis okinawanus*			NT																								
102				キイロサナエ	*Asiagomphus pryeri*			NT																								
103				オオサカサナエ	*Stylurus annulatus*			VU																								
104				タベサナエ	*Trigomphus citimus tabei*			NT																								
105			オニヤンマ科	オキナワミナミヤンマ	*Chlorogomphus okinawensis*			VU																								
106			エゾトンボ科	キイロヤマトンボ	*Macromia daimoji*			NT																								
107				オキナワコヤマトンボ	*Macromia kubokaiya*			NT																								
108		カメムシ目（半翅目）	カタビロアメンボ科	オヨギカタビロアメンボ	*Xiphovelia japonica*			NT																								
109			コオイムシ科	コオイムシ	*Appasus japonicus*			NT																						■		
110			マツモムシ科	オキナワマツモムシ	*Notonecta montandoni*			NT																								
111		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	オキナワホシシマトビケラ	*Macrostemum okinawanum*			NT																								
112			ナガレトビケラ科	オオナガレトビケラ	*Himalopsyche japonica*			NT																			▲					
113			アシエダトビケラ科	クチキトビケラ	*Ganonema uchidai*			NT																								
114				ビワアシエダトビケラ	*Georgium japonicum*			NT																								
115		ハエ目（双翅目）	アミカ科	カニギンモンアミカ	*Neohapalothrix kanii*			VU							▲																	
116			アミカモドキ科	ニホンアミカモドキ	*Deuterophlebia nipponica*			VU													▲											
117			カ科	オオハマハマダラカ	*Anopheles saperoi*			NT																								
118		コウチュウ目（鞘翅目）	ゲンゴロウ科	フタキボシケシゲンゴロウ	*Allopachria bimaculata*			NT																								
119				クロゲンゴロウ	*Cybister brevis*			NT															▼									
120				ヒメフチトリゲンゴロウ	*Cybister rugosus*		第二	VU																								

凡 例）

①文化財保護法
　国指定特別天然記念物、天然記念物

②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
　国内：国内希少野生動植物種
　第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
　第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
　緊急：緊急指定種

③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
　及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
　CR:絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
　EN:絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
　CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
　VU:絶滅危惧II類－絶滅の危険が増大している種
　NT:準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
　DD:情報不足－評価するだけの情報が不足している種
　LP:絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜10＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			北海道						東北												関東				北陸	
						①	②	③	定山渓ダム			シューパロダム（夕張）			白川ダム			長井ダム			寒河江ダム			月山ダム			宮ヶ瀬ダム				宇奈月ダム	
									流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖
121	昆虫綱	ゲンゴロウ目（鞘翅目）	ゲンゴロウ科	コガタノゲンゴロウ	*Cybister tripunctatus lateralis*			VU																								
122				シマゲンゴロウ	*Hydaticus bowringii*			NT																								
123				コマルケシゲンゴロウ	*Hydrovatus acuminatus*			NT																								
124				オオマルケシゲンゴロウ	*Hydrovatus bonvouloiri*			NT																								
125				ヤギマルケシゲンゴロウ	*Hydrovatus yagii*			NT																								
126				キベリマメゲンゴロウ	*Platambus fimbriatus*			NT									▼														▲	●
127			ミズスマシ科	オオミズスマシ	*Dineutus orientalis*			NT													▲											
128				ミズスマシ	*Gyrinus japonicus*			VU																			▲					
129				コオナガミズスマシ	*Orectochilus punctipennis*			VU							▲	●	▼			▼	▲		▼		●	▼						
130				エゾコオナガミズスマシ	*Orectochilus villosus*			NT																								
131			コガシラミズムシ科	クビボソコガシラミズムシ	*Haliplus japonicus*			DD																								
132				コウトウコガシラミズムシ	*Haliplus kotoshonis*			NT																								
133				マダラコガシラミズムシ	*Haliplus sharpi*			VU																								
134			ガムシ科	スジヒラタガムシ	*Helochares nipponicus*			NT																								
135				コガムシ	*Hydrochara affinis*			DD															▼									
136				ガムシ	*Hydrophilus acuminatus*			NT									▼						▼									
137				ミユキシジミガムシ	*Laccobius inopinus*			NT																								
138				オキナワマルチビガムシ	*Pelthydrus okinawanus*			DD																								
139			ヒメドロムシ科	ヨコミゾドロムシ	*Leptelmis gracilis*			VU																								
140				ケスジドロムシ	*Pseudamophilus japonicus*			VU							▲					▼			▼									
141				アカツヤドロムシ	*Zaitzevia rufa*			EN													▲											
142		ハチ目（膜翅目）	ヒメバチ科	ミズバチ	*Agriotypus gracilis*			DD																						■		
確認種類数									1	0	0	1	0	1	4	2	5	0	0	4	4	0	8	0	1	3	2	0	2	5	1	1

凡 例）

①文化財保護法
　国指定特別天然記念物、天然記念物

②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
　国内：国内希少野生動植物種
　第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
　第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
　緊急：緊急指定種

③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
　及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
　CR:絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
　EN:絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
　CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
　VU:絶滅危惧II類－絶滅の危険が増大している種
　NT:準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
　DD:情報不足－評価するだけの情報が不足している種
　LP:絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜11＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			中部						近畿													
						①	②	③	美和ダム※			小渋ダム※			天ヶ瀬ダム			日吉ダム			比奈知ダム			高山ダム			青蓮寺ダム		
									流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川
1	腹足綱	アマオブネガイ目	アマオブネガイ科	ヒメカノコガイ	*Clithon oualaniense*			NT																					
2				ツバサカノコガイ	*Neripteron auriculatum*			NT																					
3				ニセヒロクチカノコガイ	*Neripteron siquijorense*			NT																					
4				キジビキカノコガイ	*Neripteron spirale*			NT																					
5				コウモリカノコガイ	*Neripteron subauriculatum*			NT																					
6				フリソデカノコガイ	*Neripteron* sp.			NT																					
7				ヒラマキアマオブネガイ	*Nerita planospira*			NT																					
8				アカグチカノコガイ	*Neritina petiti*			NT																					
9				シマカノコガイ	*Neritina turrita*			NT																					
10				クロズミアカグチカノコガイ	*Neritina* sp. A			NT																					
11				ウスベニツバサカノコガイ	*Neritina* sp. B			NT																					
12				カミングフネアマガイ	*Septaria cumingiana*			VU																					
13			ユキスズメガイ科	ミヤコドリガイ	*Phenacolepas pulchella*			NT																					
14			コハクカノコ科	ツブコハクカノコ	*Neritilia vulgaris*			NT																					
15		新生腹足目	タニシ科	マルタニシ	*Cipangopaludina chinensis laeta*			VU																					
16				オオタニシ	*Heterogen japonica*			NT																					
17			オニノツノガイ科	コゲツノブエガイ	*Cerithium coralium*			VU																					
18				カヤノミカニモリガイ	*Clypeomorus bifasciata*			NT																					
19			トゲカワニナ科	ヌノメカワニナ	*Melanoides tuberculatus*			NT																					
20				ネジヒダカワニナ	*Sermyla riqueti*			NT																					
21				アマミカワニナ	*Stenomelania costellaris*			CR+EN																					
22				イボアヤカワニナ	*Tarebia granifera*			NT																					
23			カワニナ科	ナカセコカワニナ	*Semisulcospira nakasekoae*			CR+EN							▲	●													
24			キバウミニナ科	フトヘナタリガイ	*Cerithidea moerchii*			NT																					
25				マドモチウミニナ	*Terebralia sulcata*			VU																					
26			タマキビ科	イロタマキビガイ	*Littoraria pallescens*			NT																					
27			ミズツボ科	ホラアナミジンニナ	*Bythinella nipponica*			VU																					
28			カワザンショウガイ科	オイランカワザンショウガイ	*Assiminea* aff. *yoshidayukioi*			NT																					
29			ミズゴマツボ科	オキナワミズゴマツボ	*Stenothyra basiangulata*			NT																					
30			ムシロガイ科	カニノテムシロガイ	*Nassarius bellalus*			NT																					

凡 例）

①文化財保護法
　国指定特別天然記念物、天然記念物

②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
　国内：国内希少野生動植物種
　第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
　第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
　緊急：緊急指定種

③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
　及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
　CR:絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
　EN:絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
　CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
　VU:絶滅危惧II類－絶滅の危険が増大している種
　NT:準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
　DD:情報不足－評価するだけの情報が不足している種
　LP:絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

※美和ダムと小渋ダムは令和4年度の調査実施ダム。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜12＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			中部						近畿													
						①	②	③	美和ダム※			小渋ダム※			天ヶ瀬ダム			日吉ダム			比奈知ダム			高山ダム			青蓮寺ダム		
									流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川
31	腹足綱	汎有肺目	トウガタガイ科	シゲヤスイトカケギリガイ	*Pyrgulina shigeyasui*			NT																				
32				アンパルクチキレガイ	*Syrnola hanzawai*			NT																				
33			イソアワモチ科	ドロアワモチ	*Onchidium* sp.			VU																				
34				ゴマセン.ベイアワモチ	*Platevindex* cf. *mortoni*			NT																				
35			オカミミガイ科	カタシイノミミミガイ	*Cassidula crassiuscula*			NT																				
36				ウラシマミミガイ	*Cassidula mustelina*			NT																				
37				ヒメシイノミミミガイ	*Cassidula paludosa nigrobrunnea*			CR+EN																				
38				ヘゴノメミミガイ	*Cassidula schmackeriana*			CR+EN																				
39				コハクオカミミガイ	*Ellobium pallidum*			CR+EN																				
40				ウルシヌリハマシイノミガイ	*Melampus nucleolus*			VU																				
41				キヌメハマシイノミガイ	*Melampus sulculosus*			NT																				
42				クロヒラシイノミガイ	*Pythia pachyodon*			NT																				
43			モノアラガイ科	コシダカヒメモノアラガイ	*Galba* cf. *truncatula*			DD	▲																			
44				モノアラガイ	*Radix auricularia japonica*			NT		●																		
45				タイワンモノアラガイ	*Radix auricularia swinhoei*			DD																				
46			ヒラマキガイ科	ヒメヒラマキミズマイマイ	*Gyraulus pulcher*			EN																				
47				ミズコハクガイ	*Gyraulus soritai*			VU																				
48				ヒラマキミズマイマイ	*Gyraulus spirillus*			DD	▲		▼				▲													
49				トウキョウヒラマキガイ	*Gyraulus tokyoensis*			DD																				
50				クルマヒラマキガイ	*Helicorbis cantori*			VU																				
51				ヒラマキガイモドキ	*Polypylis hemisphaerula*			NT															▼					
52				リュウキュウヒラマキガイモドキ	*Polypylis usta*			NT																				
53	二枚貝綱	イシガイ目	イシガイ科	ササノハガイ	*Lanceolaria oxyrhyncha*			VU								●												
54				マツカサガイ広域分布種	*Pronodularia* cf. *japanensis 1*			NT								●												
55		マルスダレガイ目	シジミ科	セタシジミ	*Corbicula sandai*			VU								●												
56				ヤエヤマヒルギシジミ	*Geloina erosa*			VU																				
57				タイワンヒルギシジミ	*Geloina fissidens*			VU																				
58				リュウキュウヒルギシジミ	*Geloina expansa*			VU																				
59			ニッコウガイ科	トガリユウシオガイ	*Jitlada juvenilis*			NT																				
60				ヌノメイチョウシラトリ	*Serratina capsoides*			NT																				

凡 例）

①文化財保護法
　国指定特別天然記念物、天然記念物

②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
　国内：国内希少野生動植物種
　第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
　第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
　緊急：緊急指定種

③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
　及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
　CR:絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
　EN:絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
　CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
　VU:絶滅危惧II類－絶滅の危険が増大している種
　NT:準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
　DD:情報不足－評価するだけの情報が不足している種
　LP:絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

※美和ダムと小渋ダムは令和4年度調査実施ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜13＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			中部						近畿													
						①	②	③	美和ダム※			小渋ダム※			天ヶ瀬ダム			日吉ダム			比奈知ダム			高山ダム			青蓮寺ダム		
									流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川
61	二枚貝綱	マルスダレガイ目	シオサザナミ科	マスオガイ	*Gari elongata*			NT																					
62				ハザクラガイ	*Gari minor*			NT																					
63				ミナトマスオガイ	*Psammotaena inflata*			VU																					
64	ヒル綱	吻蛭目	ヒラタビル科	ミドリビル	*Ancyrobdella smaragdina*			DD								●													
65				イボビル	*Hemiclepsis japonica*			DD																					
66	軟甲綱	ヨコエビ目	キタヨコエビ科	ナリタヨコエビ	*Jesogammarus naritai*			NT							▲	●	▼												
67			ゲンコツヨコエビ科	シオカワヨコエビ	*Paracalliope dichotomus*			NT																					
68		エビ目	ヌマエビ科	ミナミオニヌマエビ	*Atyoida pilipes*			NT																					
69			テナガエビ科	ネッタイテナガエビ	*Macrobrachium placidulum*			VU																					
70			テッポウエビ科	ハシボソテッポウエビ	*Alpheus dolichodactylus*			NT																					
71				マングローブテッポウエビ	*Alpheus nomurai*			NT																					
72			アジアザリガニ科	ニホンザリガニ	*Cambaroides japonicus*		第二	VU																					
73			オカヤドカリ科	オカヤドカリ	*Coenobita cavipes*	国天																							
74				ムラサキオカヤドカリ	*Coenobita purpureus*	国天																							
75				コムラサキオカヤドカリ	*Coenobita violascens*	国天		NT																					
76			アナジャコ科	コブシアナジャコ	*Upogebia sakaii*			VU																					
77			コブシガニ科	イリオモテマメコブシガニ	*Philyra iriomotensis*			DD																					
78				マンガルマメコブシガニ	*Philyra nishihirai*			DD																					
79				アマミマメコブシ	*Philyra taekoae*			DD																					
80			ワタリガニ科	ツノナシイボガザミ	*Portunus brockii*			DD																					
81				アカテノコギリガザミ	*Scylla olivacea*			DD																					
82			サワガニ科	オキナワミナミサワガニ	*Candidiopotamon okinawense*			NT																					
83				アラモトサワガニ	*Geothelphusa aramotoi*			VU																					
84				サカモトサワガニ	*Geothelphusa sakamotoanus*			NT																					
85			ベンケイガニ科	リュウキュウアカテガニ	*Chiromantes ryukyuanum*			VU																					
86				フジテガニ	*Clistocoeloma nobile*			NT																					
87				ヒナアシハラモドキ	*Neosarmatium laeve*			DD																					
88				ユビアカベンケイガニ	*Parasesarma tripectinis*			NT																					
89				ベンケイガニ	*Orisarma intermedium*			NT																					
90			モクズガニ科	オキナワヒライソガニ	*Gaetice ungulatus*			NT																					

凡 例）

①文化財保護法
　国指定特別天然記念物、天然記念物

②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
　国内：国内希少野生動植物種
　第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
　第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
　緊急：緊急指定種

③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
　及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
　CR:絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
　EN:絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
　CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
　VU:絶滅危惧II類－絶滅の危険が増大している種
　NT:準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
　DD:情報不足－評価するだけの情報が不足している種
　LP:絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

※美和ダムと小渋ダムは令和4年度調査実施ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜14＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			中部						近畿														
						①	②	③	美和ダム※			小渋ダム※			天ヶ瀬ダム			日吉ダム			比奈知ダム			高山ダム			青蓮寺ダム		
									流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川
91	軟甲綱	エビ目	モクズガニ科	ミナミアシハラガニ	*Pseudohelice subquadrata*			NT																					
92				アゴヒロカワガニ	*Ptychognathus altimanus*			NT																					
93				ヒメヒライソモドキ	*Ptychognathus capillidigitatus*			NT																					
94				タイワンヒライソモドキ	*Ptychognathus ishii*			NT																					
95				タイワンオオヒライソガニ	*Varuna yui*			DD																					
96			ムツハアリアケガニ科	ミナミムツハアリアケガニ	*Takedellus ambonensis*			DD																					
97			オサガニ科	ヒメヤマトオサガニ	*Macrophthalmus banzai*			NT																					
98				ホルトハウスオサガニ	*Macrophthalmus holthuisi*			NT																					
99			スナガニ科	リュウキュウシオマネキ	*Tubuca coarctata*			NT																					
100	昆虫綱	トンボ目（蜻蛉目）	モノサシトンボ科	グンバイトンボ	*Platycnemis foliacea sasakii*			NT																					
101			サナエトンボ科	オキナワサナエ	*Asiagomphus amamiensis okinawanus*			NT																					
102				キイロサナエ	*Asiagomphus pryeri*			NT															▲						
103				オオサカサナエ	*Stylurus annulatus*			VU								●													
104				タベサナエ	*Trigomphus citimus tabei*			NT																					
105			オニヤンマ科	オキナワミナミヤンマ	*Chlorogomphus okinawensis*			VU																					
106			エゾトンボ科	キイロヤマトンボ	*Macromia daimoji*			NT															▲						
107				オキナワコヤマトンボ	*Macromia kubokaiya*			NT																					
108		カメムシ目（半翅目）	カタビロアメンボ科	オヨギカタビロアメンボ	*Xiphovelia japonica*			NT																					
109			コオイムシ科	コオイムシ	*Appasus japonicus*			NT	▲	●									●										
110			マツモムシ科	オキナワマツモムシ	*Notonecta montandoni*			NT																					
111		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	オキナワホシシマトビケラ	*Macrostemum okinawanum*			NT																					
112			ナガレトビケラ科	オオナガレトビケラ	*Himalopsyche japonica*			NT	▲																				
113			アシエダトビケラ科	クチキトビケラ	*Ganonema uchidai*			NT													▲								
114				ビワアシエダトビケラ	*Georgium japonicum*			NT																					
115		ハエ目（双翅目）	アミカ科	カニギンモンアミカ	*Neohapalothrix kanii*			VU																					
116			アミカモドキ科	ニホンアミカモドキ	*Deuterophlebia nipponica*			VU																					
117			カ科	オオハマハマダラカ	*Anopheles saperoi*			NT																					
118		ニウチュウ目（鞘翅目）	ゲンゴロウ科	フタキボシケシゲンゴロウ	*Allopachria bimaculata*			NT																					
119				クロゲンゴロウ	*Cybister brevis*			NT																					
120				ヒメフチトリゲンゴロウ	*Cybister rugosus*		第二	VU																					

凡 例）

①文化財保護法
　国指定特別天然記念物、天然記念物

②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
　国内：国内希少野生動植物種
　第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
　第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
　緊急：緊急指定種

③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
　及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
　CR：絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
　EN：絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
　CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
　VU：絶滅危惧II類－絶滅の危険が増大している種
　NT：準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
　DD：情報不足－評価するだけの情報が不足している種
　LP：絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。
※美和ダムと小渋ダムは令和4年度調査実施ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜15＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			中部						近畿														
						①	②	③	美和ダム※			小渋ダム※			天ヶ瀬ダム			日吉ダム			比奈知ダム			高山ダム			青蓮寺ダム		
									流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川
121	昆虫綱	コウチュウ目（鞘翅目）	ゲンゴロウ科	コガタノゲンゴロウ	*Cybister tripunctatus lateralis*			VU																					
122				シマゲンゴロウ	*Hydaticus bowringii*			NT														●							
123				コマルケシゲンゴロウ	*Hydrovatus acuminatus*			NT																					
124				オオマルケシゲンゴロウ	*Hydrovatus bonvouloiri*			NT																					
125				ヤギマルケシゲンゴロウ	*Hydrovatus yagii*			NT																					
126				キベリマメゲンゴロウ	*Platambus fimbriatus*			NT																					
127			ミズスマシ科	オオミズスマシ	*Dineutus orientalis*			NT																					
128				ミズスマシ	*Gyrinus japonicus*			VU																					
129				コオナガミズスマシ	*Orectochilus punctipennis*			VU					●				▼					●							
130				エゾコオナガミズスマシ	*Orectochilus villosus*			NT																					
131			コガシラミズムシ科	クビボソコガシラミズムシ	*Haliplus japonicus*			DD																					
132				コウトウコガシラミズムシ	*Haliplus kotoshonis*			NT																					
133				マダラコガシラミズムシ	*Haliplus sharpi*			VU																					
134			ガムシ科	スジヒラタガムシ	*Helochares nipponicus*			NT																					
135				コガムシ	*Hydrochara affinis*			DD																					
136				ガムシ	*Hydrophilus acuminatus*			NT																					
137				ミユキシジミガムシ	*Laccobius inopinus*			NT																					
138				オキナワマルチビガムシ	*Pelthydrus okinawanus*			DD																					
139			ヒメドロムシ科	ヨコミゾドロムシ	*Leptelmis gracilis*			VU															▲						
140				ケスジドロムシ	*Pseudamophilus japonicus*			VU																					
141				アカツヤドロムシ	*Zaitzevia rufa*			EN																					
142		ハチ目（膜翅目）	ヒメバチ科	ミズバチ	*Agriotypus gracilis*			DD																					
確認種類数									4	2	1	0	1	0	3	7	2	0	1	0	1	2	1	3	0	0	0	0	0

凡 例）

①文化財保護法
国指定特別天然記念物、天然記念物

②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
国内：国内希少野生動植物種
第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
緊急：緊急指定種

③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
CR：絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
EN：絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
VU：絶滅危惧II類－絶滅の危険が増大している種
NT：準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
DD：情報不足－評価するだけの情報が不足している種
LP：絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

※美和ダムと小渋ダムは令和4年度調査実施ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜16＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			近畿											中国						四国								
						①	②	③	室生ダム				布目ダム				一庫ダム			殿ダム			島地川ダム			石手川ダム			鹿野川ダム			野村ダム		
									流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川
1	腹足綱	アマオブネガイ目	アマオブネガイ科	ヒメカノコガイ	*Clithon oualaniense*			NT																										
2				ツバサカノコガイ	*Neripteron auriculatum*			NT																										
3				ニセヒロクチカノコガイ	*Neripteron siquijorense*			NT																										
4				キジビキカノコガイ	*Neripteron spirale*			NT																										
5				コウモリカノコガイ	*Neripteron subauriculatum*			NT																										
6				フリソデカノコガイ	*Neripteron* sp.			NT																										
7				ヒラマキアマオブネガイ	*Nerita planospira*			NT																										
8				アカグチカノコガイ	*Neritina petiti*			NT																										
9				シマカノコガイ	*Neritina turrita*			NT																										
10				クロズミアカグチカノコガイ	*Neritina* sp. A			NT																										
11				ウスベニツバサカノコガイ	*Neritina* sp. B			NT																										
12				カミングフネアマガイ	*Septaria cumingiana*			VU																										
13			ユキスズメガイ科	ミヤコドリガイ	*Phenacolepas pulchella*			NT																										
14			コハクカノコ科	ツブコハクカノコ	*Neritilia vulgaris*			NT																										
15		新生腹足目	タニシ科	マルタニシ	*Cipangopaludina chinensis laeta*			VU																										
16				オオタニシ	*Heterogen japonica*			NT																										
17			オニノツノガイ科	コゲツノブエガイ	*Cerithium coralium*			VU																										
18				カヤノミカニモリガイ	*Clypeomorus bifasciata*			NT																										
19			トゲカワニナ科	ヌノメカワニナ	*Melanoides tuberculatus*			NT																										
20				ネジヒダカワニナ	*Sermyla riqueti*			NT																										
21				アマミカワニナ	*Stenomelania costellaris*			CR+EN																										
22				イボアヤカワニナ	*Tarebia granifera*			NT																										
23			カワニナ科	ナカセコカワニナ	*Semisulcospira nakasekoae*			CR+EN																										
24			キバウミニナ科	フトヘナタリガイ	*Cerithidea moerchii*			NT																										
25				マドモチウミニナ	*Terebralia sulcata*			VU																										
26			タマキビ科	イロタマキビガイ	*Littoraria pallescens*			NT																										
27			ミズツボ科	ホラアナミジンニナ	*Bythinella nipponica*			VU																										
28			カワザンショウガイ科	オイランカワザンショウガイ	*Assiminea* aff. *yoshidayukioi*			NT																										
29			ミズゴマツボ科	オキナワミズゴマツボ	*Stenothyra basiangulata*			NT																										
30			ムシロガイ科	カニノテムシロガイ	*Nassarius bellalus*			NT																										

凡 例）

①文化財保護法
　国指定特別天然記念物、天然記念物

②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
　国内：国内希少野生動植物種
　第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
　第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
　緊急：緊急指定種

③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
　及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
　CR:絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
　EN:絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
　CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
　VU:絶滅危惧II類－絶滅の危険が増大している種
　NT:準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
　DD:情報不足－評価するだけの情報が不足している種
　LP:絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜17＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			近畿											中国						四国								
						①	②	③	室生ダム				布目ダム				一庫ダム			殿ダム			島地川ダム			石手川ダム			鹿野川ダム			野村ダム		
									流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川
31	腹足綱	汎有肺目	トウガタガイ科	シゲヤスイトカケギリガイ	*Pyrgulina shigeyasui*			NT																										
32				アンパルクチキレガイ	*Syrnola hanzawai*			NT																										
33			イソアワモチ科	ドロアワモチ	*Onchidium* sp.			VU																										
34				ゴマセンベイアワモチ	*Platevindex* cf. *mortoni*			NT																										
35			オカミミガイ科	カタシイノミミガイ	*Cassidula crassiuscula*			NT																										
36				ウラシマミミガイ	*Cassidula mustelina*			NT																										
37				ヒメシイノミミガイ	*Cassidula paludosa nigrobrunnea*			CR+EN																										
38				ヘゴノメミミガイ	*Cassidula schmackeriana*			CR+EN																										
39				コハクオカミミガイ	*Ellobium pallidum*			CR+EN																										
40				ウルシヌリハマシイノミガイ	*Melampus nucleolus*			VU																										
41				キヌメハマシイノミガイ	*Melampus sulculosus*			NT																										
42				クロヒラシイノミガイ	*Pythia pachyodon*			NT																										
43			モノアラガイ科	コシダカヒメモノアラガイ	*Galba* cf. *truncatula*			DD													●													
44				モノアラガイ	*Radix auricularia japonica*			NT											▼										▲					
45				タイワンモノアラガイ	*Radix auricularia swinhoei*			DD																										
46			ヒラマキガイ科	ヒメヒラマキミズマイマイ	*Gyraulus pulcher*			EN																										
47				ミズコハクガイ	*Gyraulus soritai*			VU																										
48				ヒラマキミズマイマイ	*Gyraulus spirillus*			DD											▼	▲	●	▼		●			●	▼	▲				●	
49				トウキョウヒラマキガイ	*Gyraulus tokyoensis*			DD																			●	▼						
50				クルマヒラマキガイ	*Helicorbis cantori*			VU																			●							
51				ヒラマキガイモドキ	*Polypylis hemisphaerula*			NT											▼															
52				リュウキュウヒラマキガイモドキ	*Polypylis usta*			NT																										
53	二枚貝綱	イシガイ目	イシガイ科	ササノハガイ	*Lanceolaria oxyrhyncha*			VU																										
54				マツカサガイ広域分布種	*Pronodularia* cf. *japanensis 1*			NT																										
55		マルスダレガイ目	シジミ科	セタシジミ	*Corbicula sandai*			VU																										
56				ヤエヤマヒルギシジミ	*Geloina erosa*			VU																										
57				タイワンヒルギシジミ	*Geloina fissidens*			VU																										
58				リュウキュウヒルギシジミ	*Geloina expansa*			VU																										
59			ニッコウガイ科	トガリユウシオガイ	*Jitlada juvenilis*			NT																										
60				ヌノメイチョウシラトリ	*Serratina capsoides*			NT																										

凡 例）

①文化財保護法
　国指定特別天然記念物、天然記念物

②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
　国内：国内希少野生動植物種
　第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
　第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
　緊急：緊急指定種

③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
　及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
　CR：絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
　EN：絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
　CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
　VU：絶滅危惧II類－絶滅の危険が増大している種
　NT：準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
　DD：情報不足－評価するだけの情報が不足している種
　LP：絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜18＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			近畿											中国						四国								
						①	②	③	室生ダム				布目ダム				一庫ダム			殿ダム			島地川ダム			石手川ダム			鹿野川ダム			野村ダム		
									流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川
61	二枚貝綱	マルスダレガイ目	シオサザナミ科	マスオガイ	*Gari elongata*			NT																										
62				ハザクラガイ	*Gari minor*			NT																										
63				ミナトマスオガイ	*Psammotaena inflata*			VU																										
64	ヒル綱	吻蛭目	ヒラタビル科	ミドリビル	*Ancyrobdella smaragdina*			DD																										
65				イボビル	*Hemiclepsis japonica*			DD																										
66	軟甲綱	ヨコエビ目	キタヨコエビ科	ナリタヨコエビ	*Jesogammarus naritai*			NT																										
67			ゲンコツヨコエビ科	シオカワヨコエビ	*Paracalliope dichotomus*			NT																										
68		エビ目	ヌマエビ科	ミナミオニヌマエビ	*Atyoida pilipes*			NT																										
69			テナガエビ科	ネッタイテナガエビ	*Macrobrachium placidulum*			VU																										
70			テッポウエビ科	ハシボソテッポウエビ	*Alpheus dolichodactylus*			NT																										
71				マングローブテッポウエビ	*Alpheus nomurai*			NT																										
72			アジアザリガニ科	ニホンザリガニ	*Cambaroides japonicus*		第二	VU																										
73			オカヤドカリ科	オカヤドカリ	*Coenobita cavipes*	国天																												
74				ムラサキオカヤドカリ	*Coenobita purpureus*	国天																												
75				コムラサキオカヤドカリ	*Coenobita violascens*	国天		NT																										
76			アナジャコ科	コブシアナジャコ	*Upogebia sakaii*			VU																										
77			コブシガニ科	イリオモテマメコブシガニ	*Philyra iriomotensis*			DD																										
78				マンガルマメコブシガニ	*Philyra nishihirai*			DD																										
79				アマミマメコブシ	*Philyra taekoae*			DD																										
80			ワタリガニ科	ツノナシイボガザミ	*Portunus brockii*			DD																										
81				アカテノコギリガザミ	*Scylla olivacea*			DD																										
82			サワガニ科	オキナワミナミサワガニ	*Candidiopotamon okinawense*			NT																										
83				アラモトサワガニ	*Geothelphusa aramotoi*			VU																										
84				サカモトサワガニ	*Geothelphusa sakamotoanus*			NT																										
85			ベンケイガニ科	リュウキュウアカテガニ	*Chiromantes ryukyuanum*			VU																										
86				フジテガニ	*Clistocoeloma nobile*			NT																										
87				ヒナアシハラモドキ	*Neosarmatium laeve*			DD																										
88				ユビアカベンケイガニ	*Parasesarma tripectinis*			NT																										
89				ベンケイガニ	*Orisarma intermedium*			NT																										
90			モクズガニ科	オキナワヒライソガニ	*Gaetice ungulatus*			NT																										

凡 例）

①文化財保護法
　国指定特別天然記念物、天然記念物

②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
　国内：国内希少野生動植物種
　第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
　第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
　緊急：緊急指定種

③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
　及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
　CR:絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
　EN:絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
　CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
　VU:絶滅危惧II類－絶滅の危険が増大している種
　NT:準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
　DD:情報不足－評価するだけの情報が不足している種
　LP:絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜19＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			近畿											中国						四国								
						①	②	③	室生ダム				布目ダム				一庫ダム			殿ダム			島地川ダム			石手川ダム			鹿野川ダム			野村ダム		
									流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川
91	軟甲綱	エビ目	モクズガニ科	ミナミアシハラガニ	*Pseudohelice subquadrata*			NT																										
92				アゴヒロカワガニ	*Ptychognathus altimanus*			NT																										
93				ヒメヒライソモドキ	*Ptychognathus capillidigitatus*			NT																										
94				タイワンヒライソモドキ	*Ptychognathus ishii*			NT																										
95				タイワンオオヒライソガニ	*Varuna yui*			DD																										
96			ムツハアリアケガニ科	ミナミムツハアリアケガニ	*Takedellus ambonensis*			DD																										
97			オサガニ科	ヒメヤマトオサガニ	*Macrophthalmus banzai*			NT																										
98				ホルトハウスオサガニ	*Macrophthalmus holthuisi*			NT																										
99			スナガニ科	リュウキュウシオマネキ	*Tubuca coarctata*			NT																										
100	昆虫綱	トンボ目（蜻蛉目）	モノサシトンボ科	グンバイトンボ	*Platycnemis foliacea sasakii*			NT																										
101			サナエトンボ科	オキナワサナエ	*Asiagomphus amamiensis okinawanus*			NT																										
102				キイロサナエ	*Asiagomphus pryeri*			NT																										
103				オオサカサナエ	*Stylurus annulatus*			VU																										
104				タベサナエ	*Trigomphus citimus tabei*			NT																			●							
105			オニヤンマ科	オキナワミナミヤンマ	*Chlorogomphus okinawensis*			VU																										
106			エゾトンボ科	キイロヤマトンボ	*Macromia daimoji*			NT		●		■																						
107				オキナワコヤマトンボ	*Macromia kubokaiya*			NT																										
108		カメムシ目（半翅目）	カタビロアメンボ科	オヨギカタビロアメンボ	*Xiphovelia japonica*			NT																						●				
109			コオイムシ科	コオイムシ	*Appasus japonicus*			NT								■	▲	●		▲	●	▼												
110			マツモムシ科	オキナワマツモムシ	*Notonecta montandoni*			NT																										
111		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	オキナワホシシマトビケラ	*Macrostemum okinawanum*			NT																										
112			ナガレトビケラ科	オオナガレトビケラ	*Himalopsyche japonica*			NT																					▲					
113			アシエダトビケラ科	クチキトビケラ	*Ganonema uchidai*			NT															▲	●										
114				ビワアシエダトビケラ	*Georgium japonicum*			NT									▲																	
115		ハエ目（双翅目）	アミカ科	カニギンモンアミカ	*Neohapalothrix kanii*			VU																										
116			アミカモドキ科	ニホンアミカモドキ	*Deuterophlebia nipponica*			VU																										
117			カ科	オオハマハマダラカ	*Anopheles saperoi*			NT																										
118		コウチュウ目（鞘翅目）	ゲンゴロウ科	フタキボシケシゲンゴロウ	*Allopachria bimaculata*			NT																										
119				クロゲンゴロウ	*Cybister brevis*			NT																										
120				ヒメフチトリゲンゴロウ	*Cybister rugosus*		第二	VU																										

凡 例）

①文化財保護法
　国指定特別天然記念物、天然記念物
②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
　国内：国内希少野生動植物種
　第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
　第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
　緊急：緊急指定種

③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
　及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
　CR:絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
　EN:絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
　CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
　VU:絶滅危惧II類－絶滅の危険が増大している種
　NT:準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
　DD:情報不足－評価するだけの情報が不足している種
　LP:絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜20＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			近畿											中国						四国								
						①	②	③	室生ダム				布目ダム				一庫ダム			殿ダム			島地川ダム			石手川ダム			鹿野川ダム			野村ダム		
									流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川
121	昆虫綱	コウチュウ目（鞘翅目）	ゲンゴロウ科	コガタノゲンゴロウ	*Cybister tripunctatus lateralis*			VU																										
122				シマゲンゴロウ	*Hydaticus bowringii*			NT																										
123				コマルケシゲンゴロウ	*Hydrovatus acuminatus*			NT																										
124				オオマルケシゲンゴロウ	*Hydrovatus bonvouloiri*			NT																										
125				ヤギマルケシゲンゴロウ	*Hydrovatus yagii*			NT																										
126				キベリマメゲンゴロウ	*Platambus fimbriatus*			NT																										
127			ミズスマシ科	オオミズスマシ	*Dineutus orientalis*			NT																										
128				ミズスマシ	*Gyrinus japonicus*			VU																										
129				コオナガミズスマシ	*Orectochilus punctipennis*			VU																				▲		▼				
130				エゾコオナガミズスマシ	*Orectochilus villosus*			NT																										
131			コガシラミズムシ科	クビボソコガシラミズムシ	*Haliplus japonicus*			DD																										
132				コウトウコガシラミズムシ	*Haliplus kotoshonis*			NT																										
133				マダラコガシラミズムシ	*Haliplus sharpi*			VU																								▲		
134			ガムシ科	スジヒラタガムシ	*Helochares nipponicus*			NT													●													
135				コガムシ	*Hydrochara affinis*			DD																										
136				ガムシ	*Hydrophilus acuminatus*			NT																										▼
137				ミユキシジミガムシ	*Laccobius inopinus*			NT																										
138				オキナワマルチビガムシ	*Pelthydrus okinawanus*			DD																										
139			ヒメドロムシ科	ヨコミゾドロムシ	*Leptelmis gracilis*			VU									▲															▲		
140				ケスジドロムシ	*Pseudamophilus japonicus*			VU					▲	●																				
141				アカツヤドロムシ	*Zaitzevia rufa*			EN																										
142		ハチ目（膜翅目）	ヒメバチ科	ミズバチ	*Agriotypus gracilis*			DD																										
確認種類数									0	1	0	1	1	1	0	1	3	1	3	2	4	2	1	2	0	0	4	2	4	1	1	2	1	1

凡 例）
①文化財保護法
　国指定特別天然記念物、天然記念物
②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
　国内：国内希少野生動植物種
　第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
　第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
　緊急：緊急指定種
③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
　及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
　CR:絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
　EN:絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
　CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
　VU:絶滅危惧II類－絶滅の危険が増大している種
　NT:準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
　DD:情報不足－評価するだけの情報が不足している種
　LP:絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜21＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			九州																					沖縄		
						①	②	③	下筌ダム		松原ダム			大山ダム			寺内ダム			巨勢川調整池		嘉瀬川ダム				竜門ダム			辺野喜ダム		
									流入河川	ダム湖	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	ダム湖	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川
1	腹足綱	アマオブネガイ目	アマオブネガイ科	ヒメカノコガイ	*Clithon oualaniense*			NT																								
2				ツバサカノコガイ	*Neripteron auriculatum*			NT																								
3				ニセヒロクチカノコガイ	*Neripteron siquijorense*			NT																								
4				キジビキカノコガイ	*Neripteron spirale*			NT																								
5				コウモリカノコガイ	*Neripteron subauriculatum*			NT																								
6				フリソデカノコガイ	*Neripteron* sp.			NT																								
7				ヒラマキアマオブネガイ	*Nerita planospira*			NT																								
8				アカグチカノコガイ	*Neritina petiti*			NT																								
9				シマカノコガイ	*Neritina turrita*			NT																								
10				クロズミアカグチカノコガイ	*Neritina* sp. A			NT																								
11				ウスベニツバサカノコガイ	*Neritina* sp. B			NT																								
12				カミングフネアマガイ	*Septaria cumingiana*			VU																								
13			ユキスズメガイ科	ミヤコドリガイ	*Phenacolepas pulchella*			NT																								
14			コハクカノコ科	ツブコハクカノコ	*Neritilia vulgaris*			NT																								
15		新生腹足目	タニシ科	マルタニシ	*Cipangopaludina chinensis laeta*			VU																								
16				オオタニシ	*Heterogen japonica*			NT																	■							
17			オニノツノガイ科	コゲツノブエガイ	*Cerithium coralium*			VU																								
18				カヤノミカニモリガイ	*Clypeomorus bifasciata*			NT																								
19			トゲカワニナ科	ヌノメカワニナ	*Melanoides tuberculatus*			NT																								
20				ネジヒダカワニナ	*Sermyla riqueti*			NT																								
21				アマミカワニナ	*Stenomelania costellaris*			CR+EN																								
22				イボアヤカワニナ	*Tarebia granifera*			NT																								
23			カワニナ科	ナカセコカワニナ	*Semisulcospira nakasekoae*			CR+EN																								
24			キバウミニナ科	フトヘナタリガイ	*Cerithidea moerchii*			NT																								
25				マドモチウミニナ	*Terebralia sulcata*			VU																								
26			タマキビ科	イロタマキビガイ	*Littoraria pallescens*			NT																								
27			ミズツボ科	ホラアナミジンニナ	*Bythinella nipponica*			VU																		▲					
28			カワザンショウガイ科	オイランカワザンショウガイ	*Assiminea* aff. *yoshidayukioi*			NT																								
29			ミズゴマツボ科	オキナワミズゴマツボ	*Stenothyra basiangulata*			NT																								
30			ムシロガイ科	カニノテムシロガイ	*Nassarius bellalus*			NT																								

凡 例）
①文化財保護法
国指定特別天然記念物、天然記念物
②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
国内：国内希少野生動植物種
第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
緊急：緊急指定種
③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
CR:絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
EN:絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
VU:絶滅危惧II類－絶滅の危険が増大している種
NT:準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
DD:情報不足－評価するだけの情報が不足している種
LP:絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜22＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			九州																					沖縄		
						①	②	③	下筌ダム		松原ダム			大山ダム			寺内ダム			巨勢川調整池		嘉瀬川ダム				竜門ダム			辺野喜ダム		
									流入河川	ダム湖	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	ダム湖	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川
31	腹足綱	汎有肺目	トウガタガイ科	シゲヤスイトカケギリガイ	*Pyrgulina shigeyasui*			NT																								
32				アンパルクチキレガイ	*Syrnola hanzawai*			NT																								
33			イソアワモチ科	ドロアワモチ	*Onchidium* sp.			VU																								
34				ゴマセンベイアワモチ	*Platevindex* cf. *mortoni*			NT																								
35			オカミミガイ科	カタシイノミミガイ	*Cassidula crassiuscula*			NT																								
36				ウラシマミミガイ	*Cassidula mustelina*			NT																								
37				ヒメシイノミミガイ	*Cassidula paludosa nigrobrunnea*			CR+EN																								
38				ヘゴノメミミガイ	*Cassidula schmackeriana*			CR+EN																								
39				コハクオカミミガイ	*Ellobium pallidum*			CR+EN																								
40				ウルシヌリハマシイノミガイ	*Melampus nucleolus*			VU																								
41				キヌメハマシイノミガイ	*Melampus sulculosus*			NT																								
42				クロヒラシイノミガイ	*Pythia pachyodon*			NT																								
43			モノアラガイ科	コシダカヒメモノアラガイ	*Galba* cf. *truncatula*			DD								▼					■	▲	●		■							
44				モノアラガイ	*Radix auricularia japonica*			NT				●	▼						▼	●	■	▲	●	▼	■							
45				タイワンモノアラガイ	*Radix auricularia swinhoei*			DD																						●	▼
46			ヒラマキガイ科	ヒメヒラマキミズマイマイ	*Gyraulus pulcher*			EN																								
47				ミズコハクガイ	*Gyraulus soritai*			VU																	■							
48				ヒラマキミズマイマイ	*Gyraulus spirillus*			DD				●			●	▼			▼	●	■		●		■		●				▼
49				トウキョウヒラマキガイ	*Gyraulus tokyoensis*			DD														▲	●		■							
50				クルマヒラマキガイ	*Helicorbis cantori*			VU											▼						■		●					
51				ヒラマキガイモドキ	*Polypylis hemisphaerula*			NT														▲	●		■							
52				リュウキュウヒラマキガイモドキ	*Polypylis usta*			NT																								
53	二枚貝綱	イシガイ目	イシガイ科	ササノハガイ	*Lanceolaria oxyrhyncha*			VU																								
54				マツカサガイ広域分布種	*Pronodularia* cf. *japanensis 1*			NT																								
55		マルスダレガイ目	シジミ科	セタシジミ	*Corbicula sandai*			VU																								
56				ヤエヤマヒルギシジミ	*Geloina erosa*			VU																								
57				タイワンヒルギシジミ	*Geloina fissidens*			VU																								
58				リュウキュウヒルギシジミ	*Geloina expansa*			VU																								
59			ニッコウガイ科	トガリユウシオガイ	*Jitlada juvenilis*			NT																								
60				ヌノメイチョウシラトリ	*Serratina capsoides*			NT																								

凡 例）

①文化財保護法
　国指定特別天然記念物、天然記念物

②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
　国内：国内希少野生動植物種
　第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
　第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
　緊急：緊急指定種

③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
　及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
　CR:絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
　EN:絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
　CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
　VU:絶滅危惧II類－絶滅の危険が増大している種
　NT:準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
　DD:情報不足－評価するだけの情報が不足している種
　LP:絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜23＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			九州																					沖縄		
						①	②	③	下筌ダム		松原ダム			大山ダム			寺内ダム			巨勢川調整池		嘉瀬川ダム				竜門ダム			辺野喜ダム		
									流入河川	ダム湖	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	ダム湖	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川
61	二枚貝綱	マルスダレガイ目	シオサザナミ科	マスオガイ	*Gari elongata*			NT																								
62				ハザクラガイ	*Gari minor*			NT																								
63				ミナトマスオガイ	*Psammotaena inflata*			VU																								
64	ヒル綱	吻蛭目	ヒラタビル科	ミドリビル	*Ancyrobdella smaragdina*			DD											▼													
65				イボビル	*Hemiclepsis japonica*			DD																								
66	軟甲綱	ヨコエビ目	キタヨコエビ科	ナリタヨコエビ	*Jesogammarus naritai*			NT																								
67			ゲンコツヨコエビ科	シオカワヨコエビ	*Paracalliope dichotomus*			NT																								
68		エビ目	ヌマエビ科	ミナミオニヌマエビ	*Atyoida pilipes*			NT																								
69			テナガエビ科	ネッタイテナガエビ	*Macrobrachium placidulum*			VU																								
70			テッポウエビ科	ハシボソテッポウエビ	*Alpheus dolichodactylus*			NT																								
71				マングローブテッポウエビ	*Alpheus nomurai*			NT																								
72			アジアザリガニ科	ニホンザリガニ	*Cambaroides japonicus*		第二	VU																								
73			オカヤドカリ科	オカヤドカリ	*Coenobita cavipes*	国天																										
74				ムラサキオカヤドカリ	*Coenobita purpureus*	国天																										
75				コムラサキオカヤドカリ	*Coenobita violascens*	国天		NT																								
76			アナジャコ科	コブシアナジャコ	*Upogebia sakaii*			VU																								
77			コブシガニ科	イリオモテマメコブシガニ	*Philyra iriomotensis*			DD																								
78				マンガルマメコブシガニ	*Philyra nishihirai*			DD																								
79				アマミマメコブシ	*Philyra taekoae*			DD																								
80			ワタリガニ科	ツノナシイボガザミ	*Portunus brockii*			DD																								
81				アカテノコギリガザミ	*Scylla olivacea*			DD																								
82			サワガニ科	オキナワミナミサワガニ	*Candidiopotamon okinawense*			NT																								
83				アラモトサワガニ	*Geothelphusa aramotoi*			VU																								
84				サカモトサワガニ	*Geothelphusa sakamotoanus*			NT																					▲	●	▼
85			ベンケイガニ科	リュウキュウアカテガニ	*Chiromantes ryukyuanum*			VU																								
86				フジテガニ	*Clistocoeloma nobile*			NT																								
87				ヒナアシハラモドキ	*Neosarmatium laeve*			DD																								
88				ユビアカベンケイガニ	*Parasesarma tripectinis*			NT																								
89				ベンケイガニ	*Orisarma intermedium*			NT																								
90			モクズガニ科	オキナワヒライソガニ	*Gaetice ungulatus*			NT																								

凡 例)

①文化財保護法
　国指定特別天然記念物、天然記念物

②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
　国内：国内希少野生動植物種
　第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
　第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
　緊急：緊急指定種

③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
　及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
　CR:絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
　EN:絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
　CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
　VU:絶滅危惧II類－絶滅の危険が増大している種
　NT:準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
　DD:情報不足－評価するだけの情報が不足している種
　LP:絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜24＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			九州																					沖縄		
						①	②	③	下筌ダム		松原ダム			大山ダム			寺内ダム			巨勢川調整池		嘉瀬川ダム				竜門ダム			辺野喜ダム		
									流入河川	ダム湖	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	ダム湖	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川
91	軟甲綱	エビ目	モクズガニ科	ミナミアシハラガニ	*Pseudohelice subquadrata*			NT																								
92				アゴヒロカワガニ	*Ptychognathus altimanus*			NT																								
93				ヒメヒライソモドキ	*Ptychognathus capillidigitatus*			NT																								
94				タイワンヒライソモドキ	*Ptychognathus ishii*			NT																								
95				タイワンオオヒライソガニ	*Varuna yui*			DD																								
96			ムツハアリアケガニ科	ミナミムツハアリアケガニ	*Takedellus ambonensis*			DD																								
97			オサガニ科	ヒメヤマトオサガニ	*Macrophthalmus banzai*			NT																								
98				ホルトハウスオサガニ	*Macrophthalmus holthuisi*			NT																								
99			スナガニ科	リュウキュウシオマネキ	*Tubuca coarctata*			NT																								
100	昆虫綱	トンボ目（蜻蛉目）	モノサシトンボ科	グンバイトンボ	*Platycnemis foliacea sasakii*			NT					▼																			
101			サナエトンボ科	オキナワサナエ	*Asiagomphus amamiensis okinawanus*			NT																							●	▼
102				キイロサナエ	*Asiagomphus pryeri*			NT																								
103				オオサカサナエ	*Stylurus annulatus*			VU																								
104				タベサナエ	*Trigomphus citimus tabei*			NT											▼	●												
105			オニヤンマ科	オキナワミナミヤンマ	*Chlorogomphus okinawensis*			VU																								
106			エゾトンボ科	キイロヤマトンボ	*Macromia daimoji*			NT																								
107				オキナワコヤマトンボ	*Macromia kubokaiya*			NT																					▲	●	▼
108		カメムシ目（半翅目）	カタビロアメンボ科	オヨギカタビロアメンボ	*Xiphovelia japonica*			NT																			●				
109			コオイムシ科	コオイムシ	*Appasus japonicus*			NT	▲											●			●		■							
110			マツモムシ科	オキナワマツモムシ	*Notonecta montandoni*			NT																						●		
111		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	オキナワホシシマトビケラ	*Macrostemum okinawanum*			NT																					▲			
112			ナガレトビケラ科	オオナガレトビケラ	*Himalopsyche japonica*			NT																								
113			アシエダトビケラ科	クチキトビケラ	*Ganonema uchidai*			NT								▼										▲						
114				ビワアシエダトビケラ	*Georgium japonicum*			NT																								
115		ハエ目（双翅目）	アミカ科	カニギンモンアミカ	*Neohapalothrix kanii*			VU																								
116			アミカモドキ科	ニホンアミカモドキ	*Deuterophlebia nipponica*			VU																								
117			カ科	オオハマハマダラカ	*Anopheles saperoi*			NT																								▼
118		ヨウチュウ目（鞘翅目）	ゲンゴロウ科	フタキボシケシゲンゴロウ	*Allopachria bimaculata*			NT																					▲			
119				クロゲンゴロウ	*Cybister brevis*			NT																	■							
120				ヒメフチトリゲンゴロウ	*Cybister rugosus*		第二	VU																						●		

凡 例）

①文化財保護法
　国指定特別天然記念物、天然記念物

②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
　国内：国内希少野生動植物種
　第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
　第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
　緊急：緊急指定種

③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
　及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
　CR：絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
　EN：絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
　CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
　VU：絶滅危惧II類－絶滅の危険が増大している種
　NT：準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
　DD：情報不足－評価するだけの情報が不足している種
　LP：絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜25＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			九州																					沖縄		
						①	②	③	下筌ダム		松原ダム			大山ダム			寺内ダム			巨勢川調整池		嘉瀬川ダム				竜門ダム			辺野喜ダム		
									流入河川	ダム湖	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	ダム湖	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川
121	昆虫綱	コウチュウ目（鞘翅目）	ゲンゴロウ科	コガタノゲンゴロウ	*Cybister tripunctatus lateralis*			VU				●	▼						▼	●					■						
122				シマゲンゴロウ	*Hydaticus bowringii*			NT																							
123				コマルケシゲンゴロウ	*Hydrovatus acuminatus*			NT												●											
124				オオマルケシゲンゴロウ	*Hydrovatus bonvouloiri*			NT																							
125				ヤギマルケシゲンゴロウ	*Hydrovatus yagii*			NT																							
126				キベリマメゲンゴロウ	*Platambus fimbriatus*			NT																							
127			ミズスマシ科	オオミズスマシ	*Dineutus orientalis*			NT																						●	▼
128				ミズスマシ	*Gyrinus japonicus*			VU																							
129				コオナガミズスマシ	*Orectochilus punctipennis*			VU																							
130				エゾコオナガミズスマシ	*Orectochilus villosus*			NT																							
131			コガシラミズムシ科	クビボソコガシラミズムシ	*Haliplus japonicus*			DD														▲			■						
132				コウトウコガシラミズムシ	*Haliplus kotoshonis*			NT																							
133				マダラコガシラミズムシ	*Haliplus sharpi*			VU																	■						
134			ガムシ科	スジヒラタガムシ	*Helochares nipponicus*			NT																	■						
135				コガムシ	*Hydrochara affinis*			DD																							
136				ガムシ	*Hydrophilus acuminatus*			NT																	■						
137				ミユキシジミガムシ	*Laccobius inopinus*			NT																	■						
138				オキナワマルチビガムシ	*Pelthydrus okinawanus*			DD																							
139			ヒメドロムシ科	ヨコミゾドロムシ	*Leptelmis gracilis*			VU											▼				●				●				
140				ケスジドロムシ	*Pseudamophilus japonicus*			VU																							
141				アカツヤドロムシ	*Zaitzevia rufa*			EN																							
142		ハチ目（膜翅目）	ヒメバチ科	ミズバチ	*Agriotypus gracilis*			DD	▲																						
確認種類数									2	0	0	3	3	0	1	3	0	0	7	6	3	5	7	1	16	2	4	0	4	7	7

凡 例）
①文化財保護法
　国指定特別天然記念物、天然記念物
②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
　国内：国内希少野生動植物種
　第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
　第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
　緊急：緊急指定種
③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
　及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
　CR:絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
　EN:絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
　CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
　VU:絶滅危惧II類－絶滅の危険が増大している種
　NT:準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
　DD:情報不足－評価するだけの情報が不足している種
　LP:絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜26＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			沖縄																			全体				確認ダム数
						①	②	③	普久川ダム			安波ダム			新川ダム			福地ダム			漢那ダム				金武ダム							
									流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	
1	腹足綱	アマオブネガイ目	アマオブネガイ科	ヒメカノコガイ	*Clithon oualaniense*			NT																		▼	0	0	1	0	1
2				ツバサカノコガイ	*Neripteron auriculatum*			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
3				ニセヒロクチカノコガイ	*Neripteron siquijorense*			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
4				キジビキカノコガイ	*Neripteron spirale*			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
5				コウモリカノコガイ	*Neripteron subauriculatum*			NT																		▼	0	0	1	0	1
6				フリソデカノコガイ	*Neripteron* sp.			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
7				ヒラマキアマオブネガイ	*Nerita planospira*			NT																		▼	0	0	1	0	1
8				アカグチカノコガイ	*Neritina petiti*			NT						▼						▼							0	0	2	0	2
9				シマカノコガイ	*Neritina turrita*			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
10				クロズミアカグチカノコガイ	*Neritina* sp. A			NT						▼						▼							0	0	2	0	2
11				ウスベニツバサカノコガイ	*Neritina* sp. B			NT															▼				0	0	1	0	1
12				カミングフネアマガイ	*Septaria cumingiana*			VU						▼			▼			▼							0	0	3	0	3
13			ユキスズメガイ科	ミヤコドリガイ	*Phenacolepas pulchella*			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
14			コハクカノコ科	ツブコハクカノコ	*Neritilia vulgaris*			NT															▼				0	0	1	0	1
15		新生腹足目	タニシ科	マルタニシ	*Cipangopaludina chinensis laeta*			VU																			0	1	0	0	1
16				オオタニシ	*Heterogen japonica*			NT																			0	0	1	1	2
17			オニノツノガイ科	コゲツノブエガイ	*Cerithium coralium*			VU																		▼	0	0	1	0	1
18				カヤノミカニモリガイ	*Clypeomorus bifasciata*			NT																		▼	0	0	1	0	1
19			トゲカワニナ科	ヌノメカワニナ	*Melanoides tuberculatus*			NT											●	▼	▲	●		■		▼	1	2	2	1	3
20				ネジヒダカワニナ	*Sermyla riqueti*			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
21				アマミカワニナ	*Stenomelania costellaris*			CR+EN															▼				0	0	1	0	1
22				イボアヤカワニナ	*Tarebia granifera*			NT												▼		●				▼	0	1	2	0	3
23			カワニナ科	ナカセコカワニナ	*Semisulcospira nakasekoae*			CR+EN																			1	1	0	0	1
24			キバウミニナ科	フトヘナタリガイ	*Cerithidea moerchii*			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
25				マドモチウミニナ	*Terebralia sulcata*			VU																		▼	0	0	1	0	1
26			タマキビ科	イロタマキビガイ	*Littoraria pallescens*			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
27			ミズツボ科	ホラアナミジンニナ	*Bythinella nipponica*			VU																			1	0	0	0	1
28			カワザンショウガイ科	オイランカワザンショウガイ	*Assiminea* aff. *yoshidayukioi*			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
29			ミズゴマツボ科	オキナワミズゴマツボ	*Stenothyra basiangulata*			NT	▲	●	▼		●	▼					●	▼					●		1	4	3	0	4
30			ムシロガイ科	カニノテムシロガイ	*Nassarius bellalus*			NT																		▼	0	0	1	0	1

凡 例)

①文化財保護法
国指定特別天然記念物、天然記念物

②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
国内：国内希少野生動植物種
第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
緊急：緊急指定種

③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
CR:絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
EN:絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
VU:絶滅危惧Ⅱ類－絶滅の危険が増大している種
NT:準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
DD:情報不足－評価するだけの情報が不足している種
LP:絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜27＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			沖縄																		全体				確認ダム数
						①	②	③	普久川ダム			安波ダム			新川ダム			福地ダム			漢那ダム				金武ダム						
									流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	
31	腹足綱	汎有肺目	トウガタガイ科	シゲヤスイトカケギリガイ	*Pyrgulina shigeyasui*			NT																		▼	0	0	1	0	1
32				アンパルクチキレガイ	*Syrnola hanzawai*			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
33			イソアワモチ科	ドロアワモチ	*Onchidium* sp.			VU																		▼	0	0	1	0	1
34				ゴマセンベイアワモチ	*Platevindex* cf. *mortoni*			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
35			オカミミガイ科	カタシイノミミガイ	*Cassidula crassiuscula*			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
36				ウラシマミミガイ	*Cassidula mustelina*			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
37				ヒメシイノミミガイ	*Cassidula paludosa nigrobrunnea*			CR+EN															▼				0	0	1	0	1
38				ヘゴノメミミガイ	*Cassidula schmackeriana*			CR+EN																		▼	0	0	1	0	1
39				コハクオカミミガイ	*Ellobium pallidum*			CR+EN															▼				0	0	1	0	1
40				ウルシヌリハマシイノミガイ	*Melampus nucleolus*			VU															▼				0	0	1	0	1
41				キヌメハマシイノミガイ	*Melampus sulculosus*			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
42				クロヒラシイノミガイ	*Pythia pachyodon*			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
43			モノアラガイ科	コシダカヒメモノアラガイ	*Galba* cf. *truncatula*			DD																			1	2	3	3	7
44				モノアラガイ	*Radix auricularia japonica*			NT																			6	8	15	5	18
45				タイワンモノアラガイ	*Radix auricularia swinhoei*			DD		●	▼			▼						▼		●		■	●		0	4	4	1	6
46			ヒラマキガイ科	ヒメヒラマキミズマイマイ	*Gyraulus pulcher*			EN																			0	0	1	0	1
47				ミズコハクガイ	*Gyraulus soritai*			VU																			0	0	0	1	1
48				ヒラマキミズマイマイ	*Gyraulus spirillus*			DD						▼			▼				▲	●		■	●		5	11	11	4	23
49				トウキョウヒラマキガイ	*Gyraulus tokyoensis*			DD									▼				▲				●		2	3	2	1	5
50				クルマヒラマキガイ	*Helicorbis cantori*			VU																	●		0	3	1	1	5
51				ヒラマキガイモドキ	*Polypylis hemisphaerula*			NT																			1	1	2	1	3
52				リュウキュウヒラマキガイモドキ	*Polypylis usta*			NT						▼								●		■	●		0	2	1	1	3
53	二枚貝綱	イシガイ目	イシガイ科	ササノハガイ	*Lanceolaria oxyrhyncha*			VU																			0	1	0	0	1
54				マツカサガイ広域分布種	*Pronodularia* cf. *japanensis 1*			NT																			0	1	0	0	1
55		マルスダレガイ目	シジミ科	セタシジミ	*Corbicula sandai*			VU																			0	1	0	0	1
56				ヤエヤマヒルギシジミ	*Geloina erosa*			VU															▼			▼	0	0	2	0	2
57				タイワンヒルギシジミ	*Geloina fissidens*			VU															▼			▼	0	0	2	0	2
58				リュウキュウヒルギシジミ	*Geloina expansa*			VU															▼			▼	0	0	2	0	2
59			ニッコウガイ科	トガリユウシオガイ	*Jitlada juvenilis*			NT																		▼	0	0	1	0	1
60				ヌノメイチョウシラトリ	*Serratina capsoides*			NT																		▼	0	0	1	0	1

凡 例)

①文化財保護法
　国指定特別天然記念物、天然記念物

②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
　国内：国内希少野生動植物種
　第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
　第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
　緊急：緊急指定種

③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
　及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
　CR：絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
　EN：絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
　CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
　VU：絶滅危惧II類－絶滅の危険が増大している種
　NT：準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
　DD：情報不足－評価するだけの情報が不足している種
　LP：絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜28＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			沖縄																	全体				確認ダム数
						①	②	③	普久川ダム			安波ダム			新川ダム			福地ダム			漢那ダム				金武ダム						
									流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	
61	二枚貝綱	マルスダレガイ目	シオサザナミ科	マスオガイ	*Gari elongata*			NT																		▼	0	0	1	0	1
62				ハザクラガイ	*Gari minor*			NT													▲		▼			▼	1	0	2	0	2
63				ミナトマスオガイ	*Psammotaena inflata*			VU															▼			▼	0	0	2	0	2
64	ヒル綱	吻蛭目	ヒラタビル科	ミドリビル	*Ancyrobdella smaragdina*			DD																			0	1	1	0	2
65				イボビル	*Hemiclepsis japonica*			DD																			0	1	0	0	1
66	軟甲綱	ヨコエビ目	キタヨコエビ科	ナリタヨコエビ	*Jesogammarus naritai*			NT																			1	1	1	0	1
67			ゲンコツヨコエビ科	シオカワヨコエビ	*Paracalliope dichotomus*			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
68		エビ目	ヌマエビ科	ミナミオニヌマエビ	*Atyoida pilipes*			NT			▼									▼							0	0	2	0	2
69			テナガエビ科	ネッタイテナガエビ	*Macrobrachium placidulum*			VU												▼							0	0	1	0	1
70			テッポウエビ科	ハシボソテッポウエビ	*Alpheus dolichodactylus*			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
71				マングローブテッポウエビ	*Alpheus nomurai*			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
72			アジアザリガニ科	ニホンザリガニ	*Cambaroides japonicus*		第二	VU																			4	0	1	0	5
73			オカヤドカリ科	オカヤドカリ	*Coenobita cavipes*	国天																	▼			▼	0	0	2	0	2
74				ムラサキオカヤドカリ	*Coenobita purpureus*	国天																	▼			▼	0	0	2	0	2
75				コムラサキオカヤドカリ	*Coenobita violascens*	国天		NT																		▼	0	0	1	0	1
76			アナジャコ科	コブシアナジャコ	*Upogebia sakaii*			VU															▼			▼	0	0	2	0	2
77			コブシガニ科	イリオモテマメコブシガニ	*Philyra iriomotensis*			DD																		▼	0	0	1	0	1
78				マンガルマメコブシガニ	*Philyra nishihirai*			DD															▼				0	0	1	0	1
79				アマミマメコブシ	*Philyra taekoae*			DD																		▼	0	0	1	0	1
80			ワタリガニ科	ツノナシイボガザミ	*Portunus brockii*			DD																		▼	0	0	1	0	1
81				アカテノコギリガザミ	*Scylla olivacea*			DD															▼				0	0	1	0	1
82			サワガニ科	オキナワミナミサワガニ	*Candidiopotamon okinawense*			NT			▼							▲									1	0	1	0	2
83				アラモトサワガニ	*Geothelphusa aramotoi*			VU										▲	●								1	1	0	0	1
84				サカモトサワガニ	*Geothelphusa sakamotoanus*			NT	▲	●	▼	▲	●	▼	▲	●	▼	▲	●								5	5	4	0	5
85			ベンケイガニ科	リュウキュウアカテガニ	*Chiromantes ryukyuanum*			VU															▼			▼	0	0	2	0	2
86				フジテガニ	*Clistocoeloma nobile*			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
87				ヒナアシハラモドキ	*Neosarmatium laeve*			DD															▼				0	0	1	0	1
88				ユビアカベンケイガニ	*Parasesarma tripectinis*			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
89				ベンケイガニ	*Orisarma intermedium*			NT												▼		●	▼			▼	0	1	3	0	3
90			モクズガニ科	オキナワヒライソガニ	*Gaetice ungulatus*			NT																		▼	0	0	1	0	1

凡 例)

①文化財保護法
　国指定特別天然記念物、天然記念物

②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
　国内：国内希少野生動植物種
　第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
　第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
　緊急：緊急指定種

③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
　及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
　CR：絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
　EN：絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
　CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
　VU：絶滅危惧II類－絶滅の危険が増大している種
　NT：準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
　DD：情報不足－評価するだけの情報が不足している種
　LP：絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜29＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			沖縄																	全体				確認ダム数
						①	②	③	普久川ダム			安波ダム			新川ダム			福地ダム			漢那ダム				金武ダム						
									流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	
91	軟甲綱	エビ目	モクズガニ科	ミナミアシハラガニ	*Pseudohelice subquadrata*			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
92				アゴヒロカワガニ	*Ptychognathus altimanus*			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
93				ヒメヒライソモドキ	*Ptychognathus capillidigitatus*			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
94				タイワンヒライソモドキ	*Ptychognathus ishii*			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
95				タイワンオオヒライソガニ	*Varuna yui*			DD													▲		▼				1	0	1	0	1
96			ムツハアリアケガニ科	ミナミムツハアリアケガニ	*Takedellus ambonensis*			DD															▼			▼	0	0	2	0	2
97			オサガニ科	ヒメヤマトオサガニ	*Macrophthalmus banzai*			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
98				ホルトハウスオサガニ	*Macrophthalmus holthuisi*			NT															▼			▼	0	0	2	0	2
99			スナガニ科	リュウキュウシオマネキ	*Tubuca coarctata*			NT															▼				0	0	1	0	1
100	昆虫綱	トンボ目（蜻蛉目）	モノサシトンボ科	グンバイトンボ	*Platycnemis foliacea sasakii*			NT																			0	0	1	0	1
101			サナエトンボ科	オキナワサナエ	*Asiagomphus amamiensis okinawanus*			NT	▲	●		▲	●		▲			▲	●		▲						5	4	1	0	6
102				キイロサナエ	*Asiagomphus pryeri*			NT																			1	0	0	0	1
103				オオサカサナエ	*Stylurus annulatus*			VU																			0	1	0	0	1
104				タベサナエ	*Trigomphus citimus tabei*			NT																			0	2	1	0	3
105			オニヤンマ科	オキナワミナミヤンマ	*Chlorogomphus okinawensis*			VU										▲	●								1	1	0	0	1
106			エゾトンボ科	キイロヤマトンボ	*Macromia daimoji*			NT																			1	1	0	1	2
107				オキナワコヤマトンボ	*Macromia kubokaiya*			NT	▲	●		▲	●	▼	▲	●		▲	●		▲	●					6	6	2	0	6
108		カメムシ目（半翅目）	カタビロアメンボ科	オヨギカタビロアメンボ	*Xiphovelia japonica*			NT																			0	2	0	0	2
109			コオイムシ科	コオイムシ	*Appasus japonicus*			NT																			3	5	1	3	9
110			マツモムシ科	オキナワマツモムシ	*Notonecta montandoni*			NT								●			●					■			0	3	0	1	4
111		トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	オキナワホシシマトビケラ	*Macrostemum okinawanum*			NT										▲			▲						3	0	0	0	3
112			ナガレトビケラ科	オオナガレトビケラ	*Himalopsyche japonica*			NT																			2	0	0	0	3
113			アシエダトビケラ科	クチキトビケラ	*Ganonema uchidai*			NT																			3	1	1	0	4
114				ビワアシエダトビケラ	*Georgium japonicum*			NT																			1	0	0	0	1
115		ハエ目（双翅目）	アミカ科	カニギンモンアミカ	*Neohapalothrix kanii*			VU																			1	0	0	0	1
116			アミカモドキ科	ニホンアミカモドキ	*Deuterophlebia nipponica*			VU																			1	0	0	0	1
117			カ科	オオハマハマダラカ	*Anopheles saperoi*			NT										▲		▼	▲						2	0	2	0	3
118		コウチュウ目（鞘翅目）	ゲンゴロウ科	フタキボシケシゲンゴロウ	*Allopachria bimaculata*			NT	▲	●		▲			▲			▲	●		▲						6	2	0	0	6
119				クロゲンゴロウ	*Cybister brevis*			NT																			0	0	1	1	2
120				ヒメフチトリゲンゴロウ	*Cybister rugosus*		第二	VU								●						●		■			0	3	0	1	3

凡 例)
①文化財保護法
国指定特別天然記念物、天然記念物
②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
国内：国内希少野生動植物種
第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
緊急：緊急指定種
③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
CR:絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
EN:絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
VU:絶滅危惧Ⅱ類－絶滅の危険が増大している種
NT:準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
DD:情報不足－評価するだけの情報が不足している種
LP:絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの
※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物重要種一覧（令和５年度）＜30＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	選定基準			沖縄																		全体				確認ダム数
						①	②	③	普久川ダム			安波ダム			新川ダム			福地ダム			漢那ダム				金武ダム						
									流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他※	
121	昆虫綱	コウチュウ目（鞘翅目）	ゲンゴロウ科	コガタノゲンゴロウ	*Cybister tripunctatus lateralis*			VU																			0	2	2	1	4
122				シマゲンゴロウ	*Hydaticus bowringii*			NT																			0	1	0	0	1
123				コマルケシゲンゴロウ	*Hydrovatus acuminatus*			NT																■			0	1	0	1	2
124				オオマルケシゲンゴロウ	*Hydrovatus bonvouloiri*			NT																■			0	0	0	1	1
125				ヤギマルケシゲンゴロウ	*Hydrovatus yagii*			NT																■			0	0	0	1	1
126				キベリマメゲンゴロウ	*Platambus fimbriatus*			NT																			1	1	3	0	4
127			ミズスマシ科	オオミズスマシ	*Dineutus orientalis*			NT	▲	●			●		▲	●			●		▲	●					4	6	1	0	7
128				ミズスマシ	*Gyrinus japonicus*			VU																			1	0	0	0	1
129				コオナガミズスマシ	*Orectochilus punctipennis*			VU																			3	3	6	0	8
130				エゾコオナガミズスマシ	*Orectochilus villosus*			NT																			0	0	2	0	2
131			コガシラミズムシ科	クビボソコガシラミズムシ	*Haliplus japonicus*			DD																			2	1	2	3	3
132				コウトウコガシラミズムシ	*Haliplus kotoshonis*			NT																■			0	0	0	1	1
133				マダラコガシラミズムシ	*Haliplus sharpi*			VU																			1	0	0	1	2
134			ガムシ科	スジヒラタガムシ	*Helochares nipponicus*			NT																			0	1	0	1	2
135				コガムシ	*Hydrochara affinis*			DD																			0	0	1	0	1
136				ガムシ	*Hydrophilus acuminatus*			NT																			0	0	3	1	4
137				ミユキシジミガムシ	*Laccobius inopinus*			NT																			0	0	0	1	1
138				オキナワマルチビガムシ	*Pelthydrus okinawanus*			DD													▲				●		1	1	0	0	2
139			ヒメドロムシ科	ヨコミゾドロムシ	*Leptelmis gracilis*			VU																			3	2	1	0	6
140				ケスジドロムシ	*Pseudamophilus japonicus*			VU																			2	1	2	0	4
141				アカツヤドロムシ	*Zaitzevia rufa*			EN																			1	0	0	0	1
142		ハチ目（膜翅目）	ヒメバチ科	ミズバチ	*Agriotypus gracilis*			DD																			2	0	0	1	3
確認種類数									6	7	5	4	5	9	5	5	4	9	10	11	12	9	49	10	7	58					

凡 例）
①文化財保護法
国指定特別天然記念物、天然記念物
②種の保存法「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」
国内：国内希少野生動植物種
第一：国内希少野生動植物種のうち特定第一種国内希少野生動植物種
第二：国内希少野生動植物種のうち特定第二種国内希少野生動植物種
緊急：緊急指定種

③環境省版レッドリスト「環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）」（環境省レッドリスト2020：令和2年3月27日報道発表資料）
及び（環境省版海洋生物レッドリスト：平成29年3月21日報道発表資料）の掲載種
CR:絶滅危惧IA類－ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
EN:絶滅危惧IB類－IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類－絶滅の危機に瀕している種
VU:絶滅危惧II類－絶滅の危険が増大している種
NT:準絶滅危惧－現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
DD:情報不足－評価するだけの情報が不足している種
LP:絶滅のおそれのある地域個体群－地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物国外外来種一覧（令和５年度）＜1＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	国外外来種	北海道																							
							大雪ダム			忠別ダム				金山ダム			滝里ダム			桂沢ダム			漁川ダム				豊平峡ダム			定山渓ダム		
							流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川
1	普通海綿綱	タンスイカイメン目	タンスイカイメン科	マツモトカイメン	*Heterorotula multidentata*	○																										
2	有棒状体綱	三岐腸目	サンカクアタマウズムシ科	アメリカツノウズムシ	*Girardia dorotocephala*	○																										
3				アメリカナミウズムシ	*Girardia tigrina*	○																										
4	腹足綱	新生腹足目	リンゴガイ科	スクミリンゴガイ	*Pomacea canaliculata*	総合(重点)																										
5			トゲカワニナ科	トウガタカワニナ	*Thiara scabra*	○																										
6			ミズツボ科	コモチカワツボ	*Potamopyrgus antipodarum*	総合(その他)																										
7		汎有肺目	モノアラガイ科	コシダカヒメモノアラガイ	*Galba* cf. *truncatula*	○																										
8				ハブタエモノアラガイ	*Pseudosuccinea columella*	総合(その他)																										
9			サカマキガイ科	サカマキガイ	*Physella acuta*	○											▲		▼										▼			
10			ヒラマキガイ科	オリイレサカマキガイ	*Amerianna carinata*	○																										
11				ヒロマキミズマイマイ	*Menetus dilatatus*	○																										
12	二枚貝綱	イガイ目	イガイ科	カワヒバリガイ	*Limnoperna fortunei*	特定・総合(緊急)																										
13		マルスダレガイ目	シジミ科	タイワンシジミ	*Corbicula fluminea*	総合(その他)																										
14	ミミズ綱	厚環帯目	カイヨウミミズ科	Eukerria saltensis	*Eukerria saltensis*	○																										
15			ムカシフトミミズ科	ホタルミミズ	*Microscolex phosphoreus*	○																										
16	軟甲綱	ヨコエビ目	マミズヨコエビ科	フロリダマミズヨコエビ	*Crangonyx floridanus*	総合(その他)																										
17		エビ目	ヌマエビ科	シナヌマエビ	*Neocaridina davidi*	○																										
18			テナガエビ科	チュウゴクスジエビ	*Palaemon sinensis*	○																										
19			アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	*Procambarus clarkii*	条件付・総合(緊急)																										
20	昆虫綱	カメムシ目（半翅目）	アメンボ科	トガリアメンボ	*Rhagadotarsus kraepelini*	○																										
21		コウチュウ目（鞘翅目）	イネゾウムシ科	イネミズゾウムシ	*Lissorhoptrus oryzophilus*	○																										
22	被喉綱	ハネコケムシ目	オオマリコケムシ科	オオマリコケムシ	*Pectinatella magnifica*	○															▼											
確認種類数							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

凡例）▲:流入河川、●:ダム湖内、▼:下流河川、■:その他

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（以下「特定外来生物法」）」指定種

特定：特定外来生物

条件付：特定外来生物のうち条件付特定外来生物

「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（以下「生態系被害防止外来種リスト」）」掲載種

予防（侵入予防）：国内に未侵入・未定着であり、定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、特に国内への侵入を未然に防ぐ必要がある外来種。

予防（その他）：侵入の情報はあるが、国内に未定着であり、定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、早期防除が必要な外来種

総合（緊急）：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、緊急性が高く、積極的に防除が必要な外来種

総合（重点）：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、甚大な被害が予想される重点的に対策が必要な外来種

総合（その他）：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、緊急、重点に該当しない種

産業管理：産業又は公益的役割において重要であり、利用において逸出等の防止のための適切な管理に重点を置いた対策が必要な外来種

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物国外外来種一覧（令和５年度）＜2＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	国外外来種	北海道			東北												関東				北陸		中部					
							シューパロダム夕張			白川ダム			長井ダム			寒河江ダム			月山ダム			宮ヶ瀬ダム				宇奈月ダム		美和ダム			小渋ダム		
							流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他	流入河川	ダム湖	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川
1	普通海綿綱	タンスイカイメン目	タンスイカイメン科	マツモトカイメン	*Heterorotula multidentata*	○																											
2	有棒状体綱	三岐腸目	サンカクアタマウズムシ科	アメリカツノウズムシ	*Girardia dorotocephala*	○																		▼									
3				アメリカナミウズムシ	*Girardia tigrina*	○						▼																					
4	腹足綱	新生腹足目	リンゴガイ科	スクミリンゴガイ	*Pomacea canaliculata*	総合(重点)																											
5			トゲカワニナ科	トウガタカワニナ	*Thiara scabra*	○																											
6			ミズツボ科	コモチカワツボ	*Potamopyrgus antipodarum*	総合(その他)															▼			▼									
7		汎有肺目	モノアラガイ科	コシダカヒメモノアラガイ	*Galba* cf. *truncatula*	○												▼						▼	■			▲					
8				ハブタエモノアラガイ	*Pseudosuccinea columella*	総合(その他)						▼																					
9			サカマキガイ科	サカマキガイ	*Physella acuta*	○			▼		●	▼			▼			▼			▼			▼	■		●	▲	●	▼			▼
10			ヒラマキガイ科	オリイレサカマキガイ	*Amerianna carinata*	○																											
11				ヒロマキミズマイマイ	*Menetus dilatatus*	○																		▼									
12	二枚貝綱	イガイ目	イガイ科	カワヒバリガイ	*Limnoperna fortunei*	特定・総合(緊急)																											
13		マルスダレガイ目	シジミ科	タイワンシジミ	*Corbicula fluminea*	総合(その他)																											
14	ミミズ綱	厚環帯目	カイヨウミミズ科	Eukerria saltensis	*Eukerria saltensis*	○																											
15			ムカシフトミミズ科	ホタルミミズ	*Microscolex phosphoreus*	○																											
16	軟甲綱	ヨコエビ目	マミズヨコエビ科	フロリダマミズヨコエビ	*Crangonyx floridanus*	総合(その他)						▼												▼				▲			▲		
17		エビ目	ヌマエビ科	シナヌマエビ	*Neocaridina davidi*	○																											
18			テナガエビ科	チュウゴクスジエビ	*Palaemon sinensis*	○																											
19			アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	*Procambarus clarkii*	条件付・総合(緊急)						▼												▼									
20	昆虫綱	カメムシ目（半翅目）	アメンボ科	トガリアメンボ	*Rhagadotarsus kraepelini*	○																											
21		コウチュウ目（鞘翅目）	イネゾウムシ科	イネミズゾウムシ	*Lissorhoptrus oryzophilus*	○						▼			▼																		
22	被喉綱	ハネコケムシ目	オオマリコケムシ科	オオマリコケムシ	*Pectinatella magnifica*	○											●						●										
確認種類数							0	0	1	0	1	6	0	0	2	0	1	2	0	0	2	0	1	7	2	0	1	3	1	1	1	0	1

凡例）▲:流入河川、●:ダム湖内、▼:下流河川、■:その他

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（以下「特定外来生物法」）」指定種

特定：特定外来生物

条件付：特定外来生物のうち条件付特定外来生物

「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（以下「生態系被害防止外来種リスト」）」掲載種

予防（侵入予防）：国内に未侵入・未定着であり、定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、特に国内への侵入を未然に防ぐ必要がある外来種。

予防（その他）：侵入の情報はあるが、国内に未定着であり、定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、早期防除が必要な外来種

総合（緊急）：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、緊急性が高く、積極的に防除が必要な外来種

総合（重点）：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、甚大な被害が予想される重点的に対策が必要な外来種

総合（その他）：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、緊急、重点に該当しない種

産業管理：産業又は公益的役割において重要であり、利用において逸出等の防止のための適切な管理に重点を置いた対策が必要な外来種

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物国外外来種一覧（令和５年度）＜3＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	国外外来種	近畿																							
							天ヶ瀬ダム			日吉ダム			比奈知ダム			高山ダム			青蓮寺ダム			室生ダム				布目ダム				一庫ダム		
							流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	その他	流入河川	ダム湖	下流河川	その他	流入河川	ダム湖	下流河川
1	普通海綿綱	タンスイカイメン目	タンスイカイメン科	マツモトカイメン	*Heterorotula multidentata*	○																										
2	有棒状体綱	三岐腸目	サンカクアタマウズムシ科	アメリカツノウズムシ	*Girardia dorotocephala*	○										▲		▼				▲										▼
3				アメリカナミウズムシ	*Girardia tigrina*	○						▼			▼	▲		▼			▼	▲		▼			●	▼	■	▲		▼
4	腹足綱	新生腹足目	リンゴガイ科	スクミリンゴガイ	*Pomacea canaliculata*	総合(重点)		●																								
5			トゲカワニナ科	トウガタカワニナ	*Thiara scabra*	○																										
6			ミズツボ科	コモチカワツボ	*Potamopyrgus antipodarum*	総合(その他)																										
7		汎有肺目	モノアラガイ科	コシダカヒメモノアラガイ	*Galba cf. truncatula*	○																										
8				ハブタエモノアラガイ	*Pseudosuccinea columella*	総合(その他)								●			●											▼	■			
9			サカマキガイ科	サカマキガイ	*Physella acuta*	○	▲	●			●			●	▼	▲	●			●		▲							■	▲		▼
10			ヒラマキガイ科	オリイレサカマキガイ	*Amerianna carinata*	○																										
11				ヒロマキミズマイマイ	*Menetus dilatatus*	○																										
12	二枚貝綱	イガイ目	イガイ科	カワヒバリガイ	*Limnoperna fortunei*	特定・総合(緊急)		●	▼																							
13		マルスダレガイ目	シジミ科	タイワンシジミ	*Corbicula fluminea*	総合(その他)				▲		▼			▼							▲		▼				▼				
14	ミミズ綱	厚環帯目	カイヨウミミズ科	Eukerria saltensis	*Eukerria saltensis*	○																										
15			ムカシフトミミズ科	ホタルミミズ	*Microscolex phosphoreus*	○																										
16	軟甲綱	ヨコエビ目	マミズヨコエビ科	フロリダマミズヨコエビ	*Crangonyx floridanus*	総合(その他)		●				▼				▲	●	▼				▲		▼		▲		▼	■	▲	●	▼
17		エビ目	ヌマエビ科	シナヌマエビ	*Neocaridina davidi*	○				▲	●	▼																		▲	●	▼
18			テナガエビ科	チュウゴクスジエビ	*Palaemon sinensis*	○																										
19			アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	*Procambarus clarkii*	条件付・総合(緊急)		●			●					▲											●					
20	昆虫綱	カメムシ目(半翅目)	アメンボ科	トガリアメンボ	*Rhagadotarsus kraepelini*	○																					●					
21		コウチュウ目(鞘翅目)	イネゾウムシ科	イネミズゾウムシ	*Lissorhoptrus oryzophilus*	○																▲										
22	被喉綱	ハネコケムシ目	オオマリコケムシ科	オオマリコケムシ	*Pectinatella magnifica*	○									▼							▲					●		■		●	
確認種類数							1	5	1	2	3	4	0	2	4	5	3	3	0	1	1	7	0	3	0	1	4	4	5	4	3	5

凡例）▲:流入河川、●:ダム湖内、▼:下流河川、■:その他

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（以下「特定外来生物法」）」指定種

特定：特定外来生物

条件付：特定外来生物のうち条件付特定外来生物

「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（以下「生態系被害防止外来種リスト」）」掲載種

予防（侵入予防）：国内に未侵入・未定着であり、定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、特に国内への侵入を未然に防ぐ必要がある外来種。

予防（その他）：侵入の情報はあるが、国内に未定着であり、定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、早期防除が必要な外来種

総合（緊急）：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、緊急性が高く、積極的に防除が必要な外来種

総合（重点）：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、甚大な被害が予想される重点的に対策が必要な外来種

総合（その他）：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、緊急、重点に該当しない種

産業管理：産業又は公益的役割において重要であり、利用において逸出等の防止のための適切な管理に重点を置いた対策が必要な外来種

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物国外外来種一覧（令和５年度）＜4＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	国外外来種	中国						四国									九州											
							殿ダム			島地川ダム			石手川ダム			鹿野川ダム			野村ダム			下筌ダム		松原ダム			大山ダム			寺内ダム		
							流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川
1	普通海綿綱	タンスイカイメン目	タンスイカイメン科	マツモトカイメン	*Heterorotula multidentata*	○											●			●	▼											
2	有棒状体綱	三岐腸目	サンカクアタマウズムシ科	アメリカツノウズムシ	*Girardia dorotocephala*	○																						▼				▼
3				アメリカナミウズムシ	*Girardia tigrina*	○												▼			▼											▼
4	腹足綱	新生腹足目	リンゴガイ科	スクミリンゴガイ	*Pomacea canaliculata*	総合(重点)																										▼
5			トゲカワニナ科	トウガタカワニナ	*Thiara scabra*	○																										
6			ミズツボ科	コモチカワツボ	*Potamopyrgus antipodarum*	総合(その他)																										
7		汎有肺目	モノアラガイ科	コシダカヒメモノアラガイ	*Galba* cf. *truncatula*	○		●																				▼				
8				ハブタエモノアラガイ	*Pseudosuccinea columella*	総合(その他)		●	▼									▼										▼				▼
9			サカマキガイ科	サカマキガイ	*Physella acuta*	○		●	▼			▼		●	▼										●	▼		●	▼	▲		▼
10			ヒラマキガイ科	オリイレサカマキガイ	*Amerianna carinata*	○																										
11				ヒロマキミズマイマイ	*Menetus dilatatus*	○																				▼						▼
12	二枚貝綱	イガイ目	イガイ科	カワヒバリガイ	*Limnoperna fortunei*	特定・総合(緊急)																										
13		マルスダレガイ目	シジミ科	タイワンシジミ	*Corbicula fluminea*	総合(その他)																										
14	ミミズ綱	厚環帯目	カイヨウミミズ科	Eukerria saltensis	*Eukerria saltensis*	○																										
15			ムカシフトミミズ科	ホタルミミズ	*Microscolex phosphoreus*	○																										
16	軟甲綱	ヨコエビ目	マミズヨコエビ科	フロリダマミズヨコエビ	*Crangonyx floridanus*	総合(その他)		●									●	▼		●	▼											
17		エビ目	ヌマエビ科	シナヌマエビ	*Neocaridina davidi*	○					●																					▼
18			テナガエビ科	チュウゴクスジエビ	*Palaemon sinensis*	○																										
19			アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	*Procambarus clarkii*	条件付・総合(緊急)																										▼
20	昆虫綱	カメムシ目(半翅目)	アメンボ科	トガリアメンボ	*Rhagadotarsus kraepelini*	○																										
21		コウチュウ目(鞘翅目)	イネゾウムシ科	イネミズゾウムシ	*Lissorhoptrus oryzophilus*	○																										
22	被喉綱	ハネコケムシ目	オオマリコケムシ科	オオマリコケムシ	*Pectinatella magnifica*	○						▼																				▼
確認種類数							0	4	2	0	1	2	0	1	1	0	2	3	0	2	3	0	0	0	1	2	0	1	4	1	0	9

凡例）▲:流入河川、●:ダム湖内、▼:下流河川、■:その他

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（以下「特定外来生物法」）」指定種

特定：特定外来生物

条件付：特定外来生物のうち条件付特定外来生物

「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（以下「生態系被害防止外来種リスト」）」掲載種

予防（侵入予防）：国内に未侵入・未定着であり、定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、特に国内への侵入を未然に防ぐ必要がある外来種。

予防（その他）：侵入の情報はあるが、国内に未定着であり、定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、早期防除が必要な外来種

総合（緊急）：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、緊急性が高く、積極的に防除が必要な外来種

総合（重点）：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、甚大な被害が予想される重点的に対策が必要な外来種

総合（その他）：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、緊急、重点に該当しない種

産業管理：産業又は公益的役割において重要であり、利用において逸出等の防止のための適切な管理に重点を置いた対策が必要な外来種

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物国外外来種一覧（令和５年度）＜5＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	国外外来種	九州									沖縄														
							巨勢川調整池		嘉瀬川ダム				竜門ダム			辺野喜ダム			普久川ダム			安波ダム			新川ダム			福地ダム		
							ダム湖	その他	流入河川	ダム湖	下流河川	その他	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川	流入河川	ダム湖	下流河川
1	普通海綿綱	タンスイカイメン目	タンスイカイメン科	マツモトカイメン	*Heterorotula multidentata*	○																								
2	有棒状体綱	三岐腸目	サンカクアタマウズムシ科	アメリカツノウズムシ	*Girardia dorotocephala*	○																								
3				アメリカナミウズムシ	*Girardia tigrina*	○																								
4	腹足綱	新生腹足目	リンゴガイ科	スクミリンゴガイ	*Pomacea canaliculata*	総合(重点)																								
5			トゲカワニナ科	トウガタカワニナ	*Thiara scabra*	○												▼			▼			▼				▲	●	▼
6			ミズツボ科	コモチカワツボ	*Potamopyrgus antipodarum*	総合(その他)																								
7		汎有肺目	モノアラガイ科	コシダカヒメモノアラガイ	*Galba cf. truncatula*	○		■	▲	●		■																		
8				ハブタエモノアラガイ	*Pseudosuccinea columella*	総合(その他)	●	■		●	▼	■					●	▼		●			●			●	▼		●	
9			サカマキガイ科	サカマキガイ	*Physella acuta*	○	●	■		●	▼	■		●									●	▼					●	▼
10			ヒラマキガイ科	オリイレサカマキガイ	*Amerianna carinata*	○																							●	
11				ヒロマキミズマイマイ	*Menetus dilatatus*	○	●			●	▼																			
12	二枚貝綱	イガイ目	イガイ科	カワヒバリガイ	*Limnoperna fortunei*	特定・総合(緊急)																								
13		マルスダレガイ目	シジミ科	タイワンシジミ	*Corbicula fluminea*	総合(その他)								●	▼			▼	▲	●	▼		●	▼		●	▼		●	▼
14	ミミズ綱	厚環帯目	カイヨウミミズ科	Eukerria saltensis	*Eukerria saltensis*	○															▼									
15			ムカシフトミミズ科	ホタルミミズ	*Microscolex phosphoreus*	○	●																							
16	軟甲綱	ヨコエビ目	マミズヨコエビ科	フロリダマミズヨコエビ	*Crangonyx floridanus*	総合(その他)	●																							
17		エビ目	ヌマエビ科	シナヌマエビ	*Neocaridina davidi*	○	●							●	▼															
18			テナガエビ科	チュウゴクスジエビ	*Palaemon sinensis*	○	●																							
19			アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	*Procambarus clarkii*	条件付・総合(緊急)	●																●					▲	●	
20	昆虫綱	カメムシ目（半翅目）		アメンボ科	トガリアメンボ	*Rhagadotarsus kraepelini*	○																							
21		コウチュウ目（鞘翅目）	イネゾウムシ科	イネミズゾウムシ	*Lissorhoptrus oryzophilus*	○																								
22	被喉綱	ハネコケムシ目	オオマリコケムシ科	オオマリコケムシ	*Pectinatella magnifica*	○	●			●				●	▼															
確認種類数							9	3	1	5	3	3	0	4	3	0	1	3	1	2	3	0	4	3	0	2	2	2	6	3

凡例）▲:流入河川、●:ダム湖内、▼:下流河川、■:その他

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（以下「特定外来生物法」）」指定種

特定：特定外来生物

条件付：特定外来生物のうち条件付特定外来生物

「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（以下「生態系被害防止外来種リスト」）」掲載種

予防（侵入予防）：国内に未侵入・未定着であり、定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、特に国内への侵入を未然に防ぐ必要がある外来種。

予防（その他）：侵入の情報はあるが、国内に未定着であり、定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、早期防除が必要な外来種

総合（緊急）：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、緊急性が高く、積極的に防除が必要な外来種

総合（重点）：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、甚大な被害が予想される重点的に対策が必要な外来種

総合（その他）：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、緊急、重点に該当しない種

産業管理：産業又は公益的役割において重要であり、利用において逸出等の防止のための適切な管理に重点を置いた対策が必要な外来種

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

底生動物国外外来種一覧（令和５年度）＜6＞

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	学名	国外外来種	沖縄 漢那ダム 流入河川	沖縄 漢那ダム ダム湖	沖縄 漢那ダム 下流河川	沖縄 漢那ダム その他	沖縄 金武ダム ダム湖	沖縄 金武ダム 下流河川	全体 流入河川	全体 ダム湖	全体 下流河川	全体 その他※	確認ダム数
1	普通海綿綱	タンスイカイメン目	タンスイカイメン科	マツモトカイメン	*Heterorotula multidentata*	○							0	2	2	0	2
2	有棒状体綱	三岐腸目	サンカクアタマウズムシ科	アメリカツノウズムシ	*Girardia dorotocephala*	○							2	0	6	0	6
3				アメリカナミウズムシ	*Girardia tigrina*	○							3	1	12	1	11
4	腹足綱	新生腹足目	リンゴガイ科	スクミリンゴガイ	*Pomacea canaliculata*	総合(重点)							0	1	2	0	2
5			トゲカワニナ科	トウガタカワニナ	*Thiara scabra*	○	▲	●	▼	■		▼	2	2	6	1	6
6			ミズツボ科	コモチカワツボ	*Potamopyrgus antipodarum*	総合(その他)							0	0	3	0	2
7		汎有肺目	モノアラガイ科	コシダカヒメモノアラガイ	*Galba* cf. *truncatula*	○							2	2	4	3	7
8				ハブタエモノアラガイ	*Pseudosuccinea columella*	総合(その他)		●		■	●		0	12	10	4	17
9			サカマキガイ科	サカマキガイ	*Physella acuta*	○		●		■	●	▼	7	19	21	5	32
10			ヒラマキガイ科	オリイレサカマキガイ	*Amerianna carinata*	○		●			●		0	3	1	0	3
11				ヒロマキミズマイマイ	*Menetus dilatatus*	○							0	2	5	0	5
12	二枚貝綱	イガイ目	イガイ科	カワヒバリガイ	*Limnoperna fortunei*	特定・総合(緊急)							0	1	2	0	1
13		マルスダレガイ目	シジミ科	タイワンシジミ	*Corbicula fluminea*	総合(その他)							3	5	11	0	10
14	ミミズ綱	厚環帯目	カイヨウミミズ科	Eukerria saltensis	*Eukerria saltensis*	○							0	0	2	0	1
15			ムカシフトミミズ科	ホタルミミズ	*Microscolex phosphoreus*	○							0	1	1	0	1
16	軟甲綱	ヨコエビ目	マミズヨコエビ科	フロリダマミズヨコエビ	*Crangonyx floridanus*	総合(その他)							6	7	10	1	14
17		エビ目	ヌマエビ科	シナヌマエビ	*Neocaridina davidi*	○							2	5	5	0	6
18			テナガエビ科	チュウゴクスジエビ	*Palaemon sinensis*	○							0	1	1	0	1
19			アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	*Procambarus clarkii*	条件付・総合(緊急)							2	6	4	0	10
20	昆虫綱	カメムシ目（半翅目）	アメンボ科	トガリアメンボ	*Rhagadotarsus kraepelini*	○							0	1	1	0	1
21		コウチュウ目（鞘翅目）	イネゾウムシ科	イネミズゾウムシ	*Lissorhoptrus oryzophilus*	○							1	0	3	0	3
22	被喉綱	ハネコケムシ目	オオマリコケムシ科	オオマリコケムシ	*Pectinatella magnifica*	○							1	7	6	1	12
確認種類数							1	4	1	3	3	2					

凡例）▲:流入河川、●:ダム湖内、▼:下流河川、■:その他

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（以下「特定外来生物法」）」指定種

特定：特定外来生物

条件付：特定外来生物のうち条件付特定外来生物

「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（以下「生態系被害防止外来種リスト」）」掲載種

予防（侵入予防）：国内に未侵入・未定着であり、定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、特に国内への侵入を未然に防ぐ必要がある外来種。

予防（その他）：侵入の情報はあるが、国内に未定着であり、定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、早期防除が必要な外来種

総合（緊急）：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、緊急性が高く、積極的に防除が必要な

総合（重点）：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、甚大な被害が予想される重点的に対策

総合（その他）：国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、緊急、重点に該当しない種

産業管理：産業又は公益的役割において重要であり、利用において逸出等の防止のための適切な管理に重点を置いた対策が必要な外来種

※その他の地点で調査を行っているのは、忠別ダム、漁川ダム、宮ヶ瀬ダム、室生ダム、布目ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、漢那ダムの8ダムである。

2.2 生物多様性

日本の生物多様性を脅かす危機の一つとして、「外来種など人為的に持ち込まれたものによる生態系の攪乱」が挙げられています。

底生動物の国外外来種には、水産資源として導入されたり、観賞魚用の水草等に卵が付着した状態で持ち込まれたりするもの等があります。外来種は、爆発的に増殖して在来の生態系を一変させること、在来種と競合して駆逐してしまうことのほか、在来種と交雑することで遺伝的な攪乱を生じさせるおそれがあること等が指摘されています。

ここでは、人為的な生態系の攪乱状況の目安として、国外外来種のうち特定外来生物に指定されている種や、生態系被害防止外来種として選定されている種、ダム湖周辺において分布が拡大している種（サカマキガイ）について確認状況を整理しました。なお、生態系被害防止外来種として選定されているものの、形態による同定が困難なために種として同定されることが少ないタイワンシジミは整理対象から除いています。

(1) 国外外来種の分布状況

・特定外来生物に指定されているカワヒバリガイを天ケ瀬ダムで確認

特定外来生物に指定されているカワヒバリガイが、近畿の天ヶ瀬ダムのダム湖内及び下流河川で確認されました。

カワヒバリガイは天ヶ瀬ダムにおいて、1 巡目調査及び、4 巡目～7 巡目調査で確認されており（2 巡目と 3 巡目は調査未実施）、本ダムにすでに定着しているものと考えられます。

国外外来種の確認ダム数の巡目比較

種名	区分	1 巡目調査 (80 ダム)	2 巡目調査 (79 ダム)	3 巡目調査 (96 ダム)	4 巡目調査 (107 ダム)	5 巡目調査 (112 ダム)	6 巡目調査 (124 ダム)	7 巡目調査 (79 ダム)	今回確認
カワヒバリガイ	特定外来	1 ダム 〔1.3%〕	0 ダム 〔0.0%〕	2 ダム 〔2.1%〕	3 ダム 〔2.8%〕	3 ダム 〔2.7%〕	3 ダム 〔2.4%〕	2 ダム 〔2.5%〕	○
ウチダザリガニ	特定外来	0 ダム 〔0.0%〕	0 ダム 〔0.0%〕	0 ダム 〔0.0%〕	1 ダム 〔0.9%〕	1 ダム 〔0.9%〕	2 ダム 〔1.6%〕	2 ダム 〔2.5%〕	
アメリカザリガニ	条件付特定外来生態系被害防止	4 ダム 〔5.0%〕	7 ダム 〔8.9%〕	16 ダム 〔16.7%〕	18 ダム 〔16.8%〕	20 ダム 〔17.9%〕	21 ダム 〔16.9%〕	16 ダム 〔20.3%〕	○
コモチカワツボ	生態系被害防止	0 ダム 〔0.0%〕	0 ダム 〔0.0%〕	0 ダム 〔0.0%〕	7 ダム 〔6.5%〕	12 ダム 〔10.7%〕	16 ダム 〔12.9%〕	6 ダム 〔7.6%〕	○
フロリダマミズヨコエビ	生態系被害防止	0 ダム 〔0.0%〕	0 ダム 〔0.0%〕	0 ダム 〔0.0%〕	13 ダム 〔12.1%〕	21 ダム 〔18.8%〕	27 ダム 〔21.8%〕	22 ダム 〔27.8%〕	○
ハブタエモノアラガイ	生態系被害防止	0 ダム 〔0.0%〕	1 ダム 〔1.3%〕	11 ダム 〔11.5%〕	16 ダム 〔15.0%〕	19 ダム 〔17.0%〕	31 ダム 〔25.0%〕	30 ダム 〔38.0%〕	○
サカマキガイ		24 ダム 〔30.0%〕	39 ダム 〔49.4%〕	50 ダム 〔52.1%〕	73 ダム 〔68.2%〕	77 ダム 〔68.8%〕	91 ダム 〔73.4%〕	61 ダム 〔77.2%〕	○

※（　）内は、各巡目において調査を実施しているダムの数を示す。巡目の途中から調査を開始したり、途中の年度を調査していないダムがあるため、巡目ごとの調査ダム数は異なる。
※〔　〕内は、調査実施ダム数における対象種が確認されたダム数の割合（%）を示す。

ダム湖を対象とした河川水辺の国勢調査において、これまでに確認された特定外来生物のカワヒバリガイとウチダザリガニ及び、条件付特定外来生物のアメリカザリガニについて、確認状況を図に示しました。

今回のとりまとめ対象とした 44 ダムの調査では、カワヒバリガイが天ケ瀬ダムで確認されました。これまでに河川水辺の国勢調査でカワヒバリガイが確認されたダムは、新豊根ダム、矢作ダム、天ヶ瀬ダム、高山ダムの 4 ダムです。このうち高山ダムを除く 3 ダムでは 3 巡目、又は 4 巡目から継続して確認されており、すでにこれらのダムに定着したものと考えられます。

カワヒバリガイは、最大殻長 4cm となる、足糸を用いて基質に固着する習性を持つ二枚貝類です。水道設備や発電施設等の水利用施設に対し、悪影響をもたらしています[*1]。また、カワヒバリガイはコイ科魚類に寄生する吸虫の中間宿主としても知られており、カワヒバリガイの侵入に伴う吸虫の侵入も問題となっています[*2]。

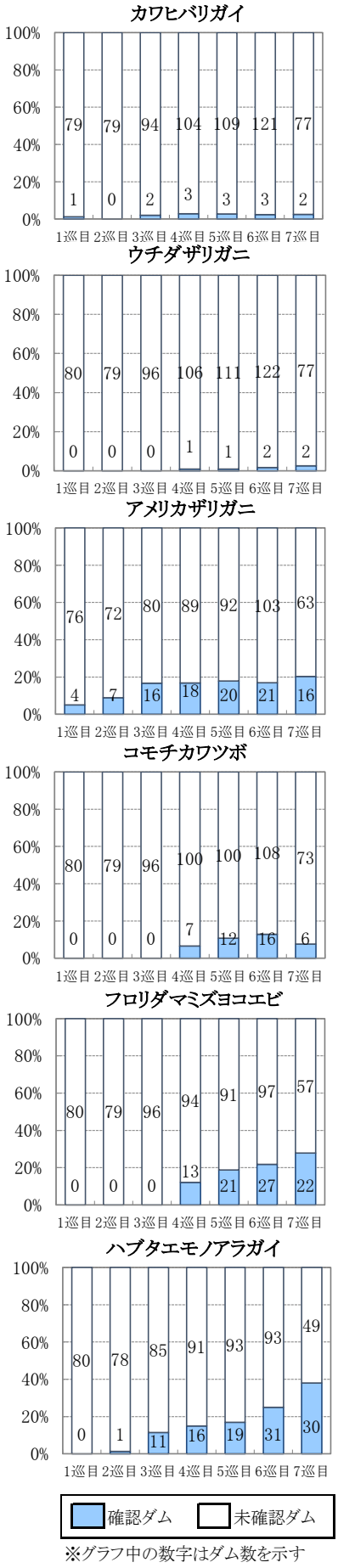
今回のとりまとめ対象とした 44 ダムの調査では、ウチダザリガニは確認されませんでした。ウチダザリガニはこれまでに実施された河川水辺の国勢調査の底生動物調査において、4 巡目と 5 巡目と 7 巡目に鹿ノ子ダム、6 巡目に味噌川ダム、6 巡目と 7 巡目に九頭竜ダムから確認されています。

ウチダザリガニは体長 15cm を超える大型のザリガニで、1926 年に国内で初めて水産資源として北海道に導入されました。1930 年までに計 5 回輸入され、1 都 1 道 1 府 21 県の水産試験場に配布されました。本種は魚類、底生生物、水草等を捕食することが知られており、水草を切断して水草帯を減少させたり、食害等により生態系の撹乱を引き起こしている可能性が指摘されています[*1]。

今回のとりまとめ対象とした 44 ダムの調査では、アメリカザリガニが 10 ダムで確認されました。アメリカザリガニは、これまでに実施された河川水辺の国勢調査の底生動物調査において、1 巡目から複数のダムにおいて確認されています。確認ダム数の割合を見ると、1 巡目から 3 巡目まで増加傾向にあり、この期間に分布が拡大していた可能性があります。

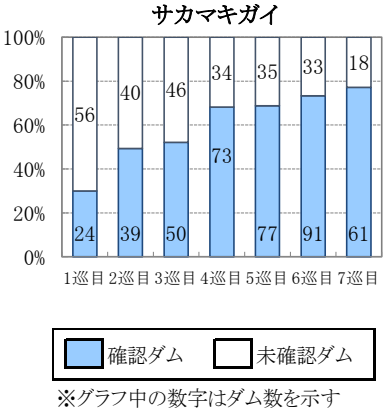
アメリカザリガニはアメリカ合衆国南部が原産で、食用ガエル（ウシガエル）の餌として国内に持ち込まれました。水生小動物への直接的な加害や水草の食害、これらによる他の生物への間接的な影響が懸念されています[*1,2]。巨勢川調整池では、今回が河川水辺の国勢調査での初めての確認となりました。

この他、特定外来生物ではありませんが、生態系被害防止外来種として選定されているコモチカワツボ、フロリダマミズヨコエビ、ハブタエモノアラガイと、ダム湖周辺において分布が拡大しているサカマキガイの確認状況を図に示しました。



※グラフ中の数字はダム数を示す

コモチカワツボはニュージーランド原産で、外来種として北半球の亜寒帯～温帯域に広く分布しています。外見は、日本在来種であるカワニナ類の幼貝に似ています。国内では 1990 年代に養魚場等で確認されるようになり、現在では河川でもみられるようになりました。生態系や在来種への直接的な影響はまだ明らかではありませんが、ホタル繁殖のための餌のカワニナの代用品として使用されていた例があり、人為的な拡散が疑われています。日本国内で確認されている個体の多くは単為生殖を行い、子持ちの名が示すように、体内で卵からふ化した仔貝を産みます。繁殖力が高いことから、分布の急速な拡大が懸念されています[*2,3]。今回とりまとめ対象とした 42 ダムの調査において、2 ダムから確認されました。



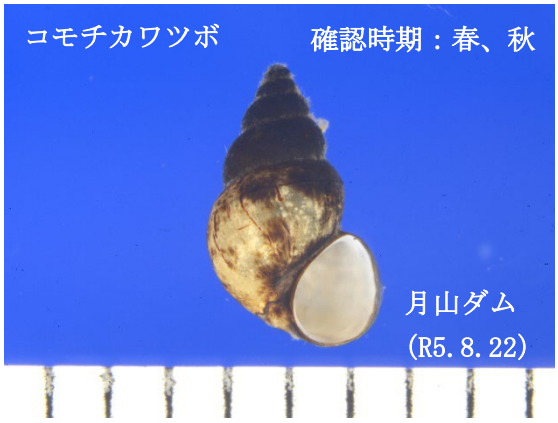
フロリダマミズヨコエビは北アメリカが原産で、水草に付着してきた個体が野外に遺棄されて野生化したと考えられています。国内では 1989 年に初めて確認され、その後 20 年程度で日本各地に分布が拡大しました。在来ヨコエビ類との競合が懸念されています[*2]。今回とりまとめ対象とした 42 ダムの調査において、14 ダムから確認されました。

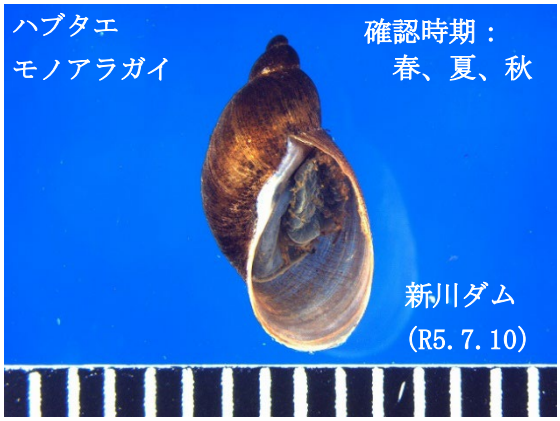
ハブタエモノアラガイは北アメリカ原産の巻貝で、1975 年以降、国内各地で確認されています。形態がモノアラガイに良く似ていることから侵入に気づかれにくく、水草等に付着した卵塊が水草と共に非意図的に外部に持ち運ばれることによって生息域を拡大した可能性が示唆されています[*3,4]。今回とりまとめ対象とした 42 ダムの調査においては、17 ダムから確認されており、鹿野川ダム、大山ダム、巨勢川調整池、嘉瀬川ダム、普久川ダム、安波ダムでは、今回が河川水辺の国勢調査での初めての確認となりました。

サカマキガイは、1935 年～1940 年頃の観賞魚の流行時に、淡水魚や水草とともにヨーロッパ等から持ち込まれたと考えられています[*1]。本種は合併処理浄化槽内部で大量発生する事例が知られており、浄化槽の普及が本種の分布拡大に寄与している可能性も指摘されています[*5]。今回とりまとめ対象とした 42 ダムの調査において、32 ダムから確認されており、夕張シューパロダム、竜門ダムでは、今回が河川水辺の国勢調査での初めての確認となりました。

ハブタエモノアラガイとサカマキガイについては、巡目を追うごとに確認されるダム数の比率が増加しており、これらの種については現在も分布を拡大している可能性があります。

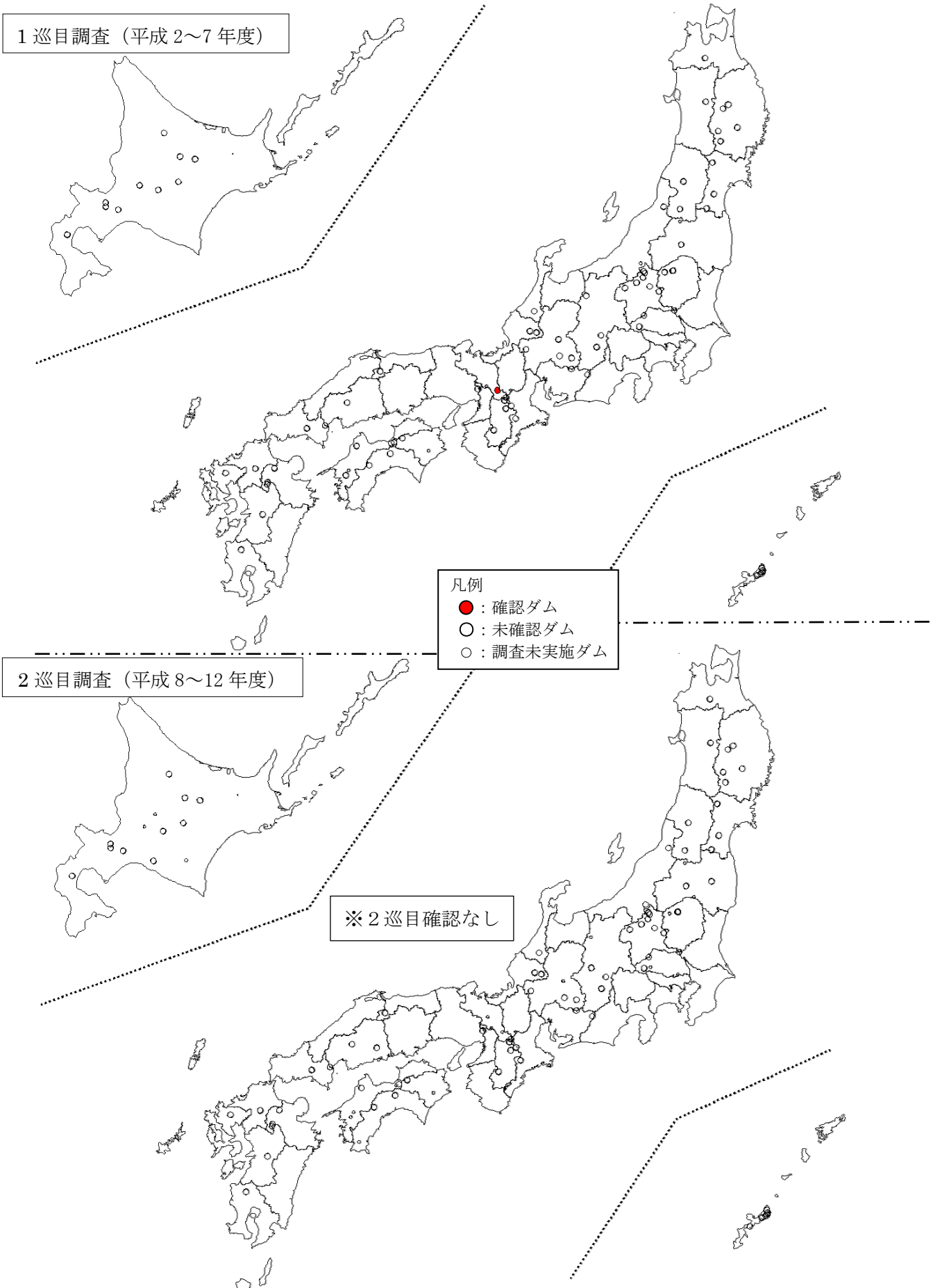
参考文献：*1 日本生態学会編（2002）外来種ハンドブック, 地人書館
*2 （国研）国立環境研究所, 侵入生物データベース
*3 近藤ら（2005）ため池と水田の生き物図鑑動物編, トンボ出版
*4 紀平ら（2003）日本産淡水貝類図鑑①琵琶湖・淀川産の淡水貝類, ピーシーズ
*5 稲村成昭（2000）サカマキガイの浄化槽への影響と対策（硫安を主体とした駆除方法）. 浄化槽, 11, 38-47.



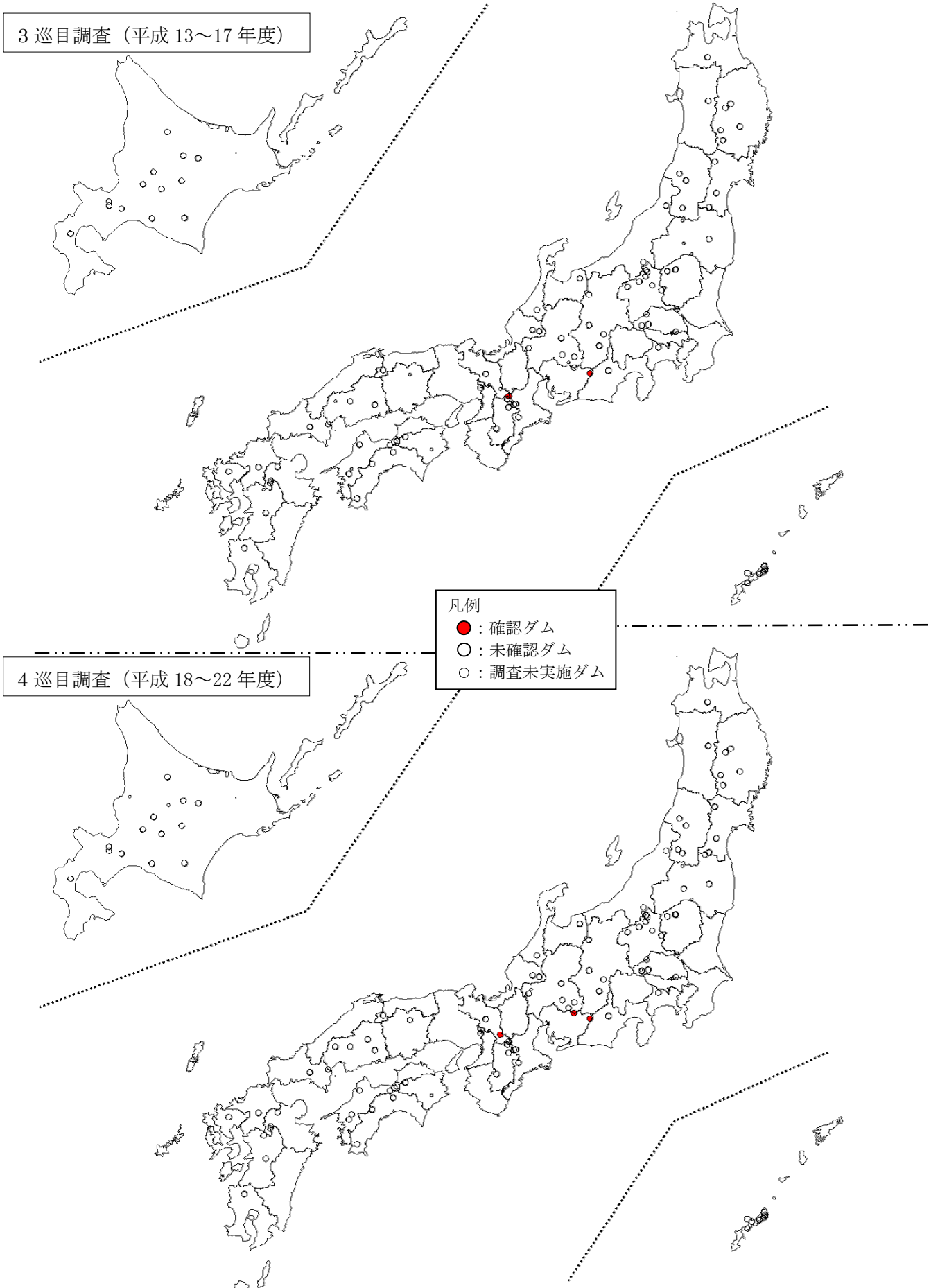


※写真内の括弧は、撮影された個体の採集年月日を示す

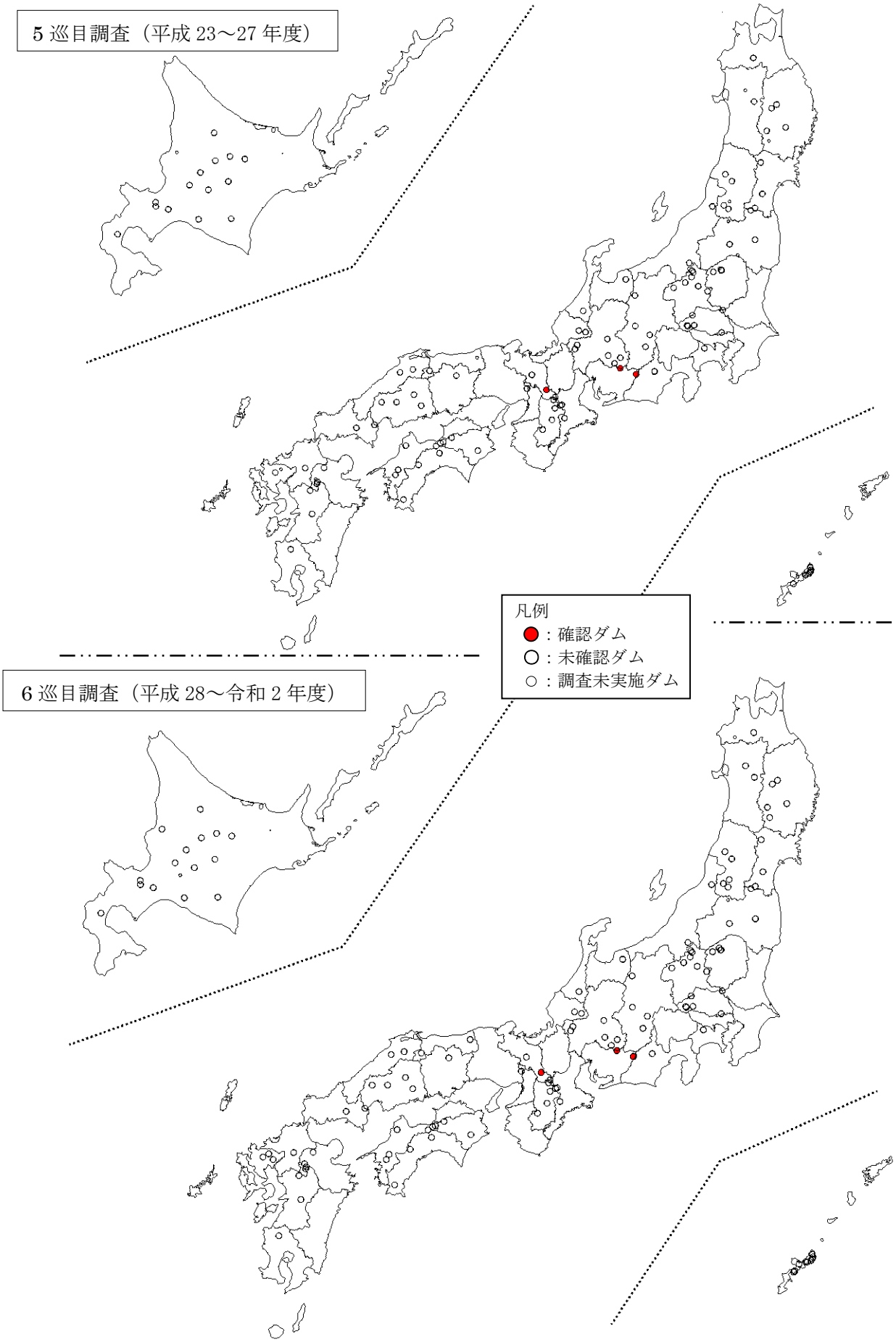
調査対象ダムにおいて採集された分析対象の国外外来種



カワヒバリガイの確認状況（1巡目調査、2巡目調査）

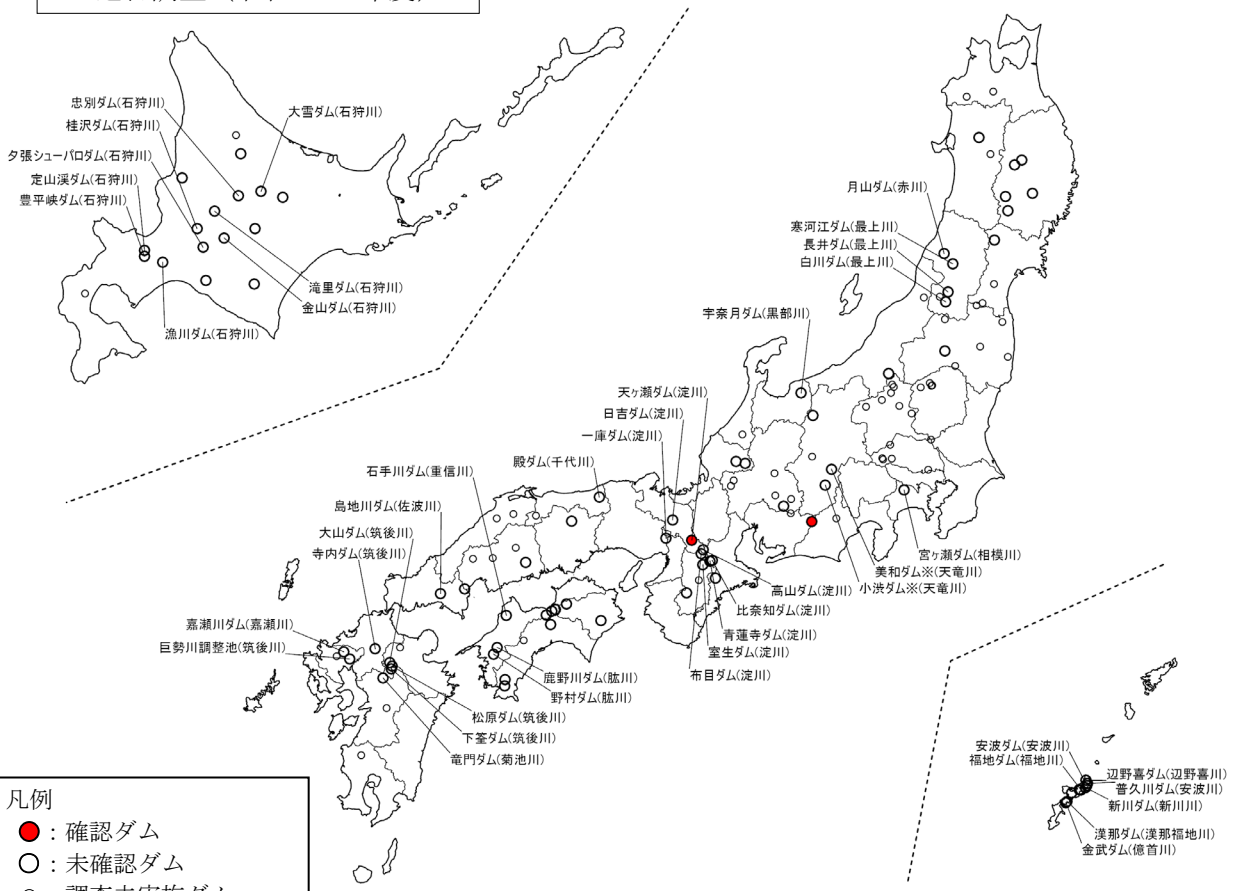


カワヒバリガイの確認状況（3 巡目調査、4 巡目調査）



カワヒバリガイの確認状況（5 巡目調査、6 巡目調査）

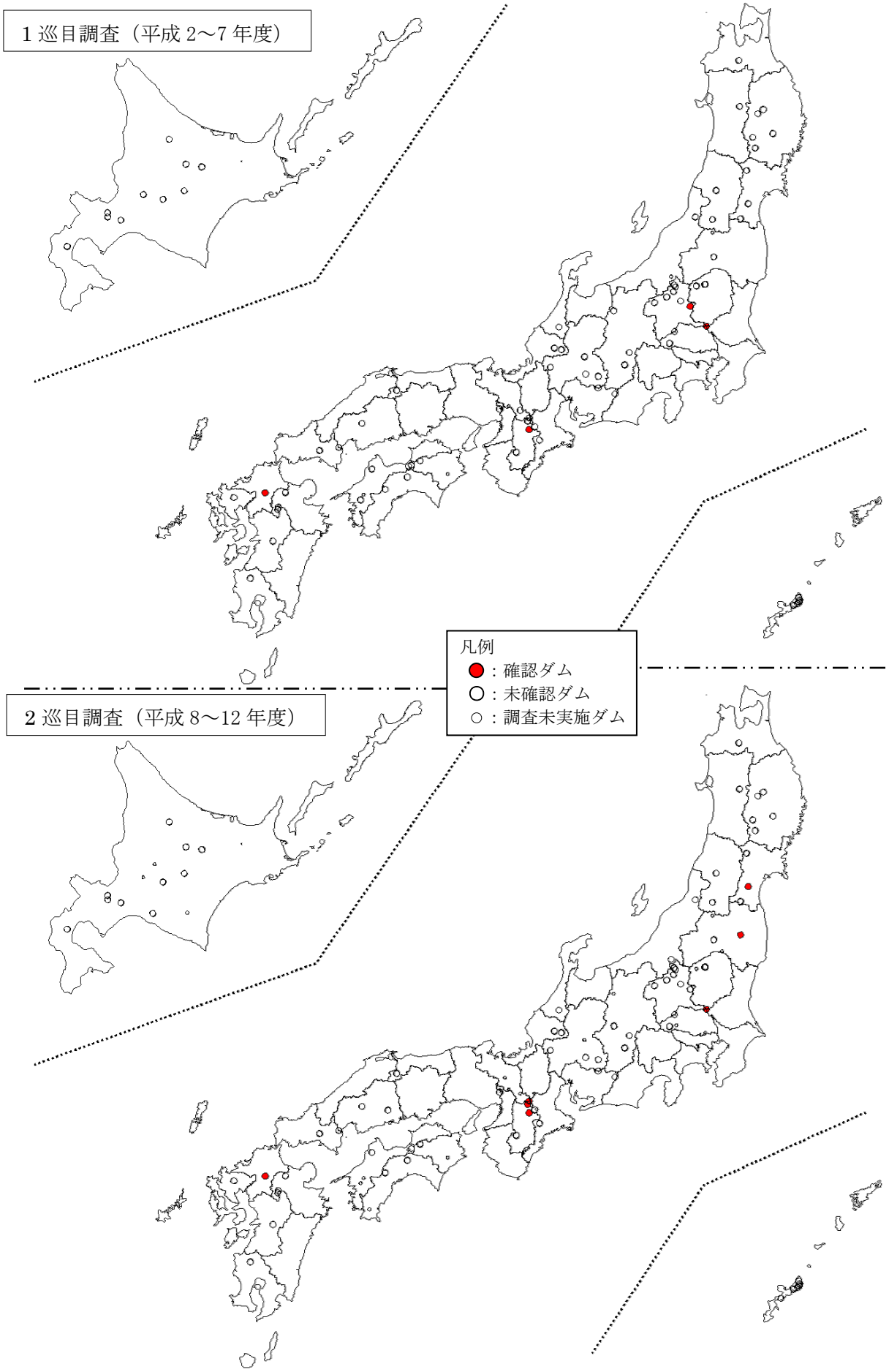
7 巡目調査（令和 3～5 年度）



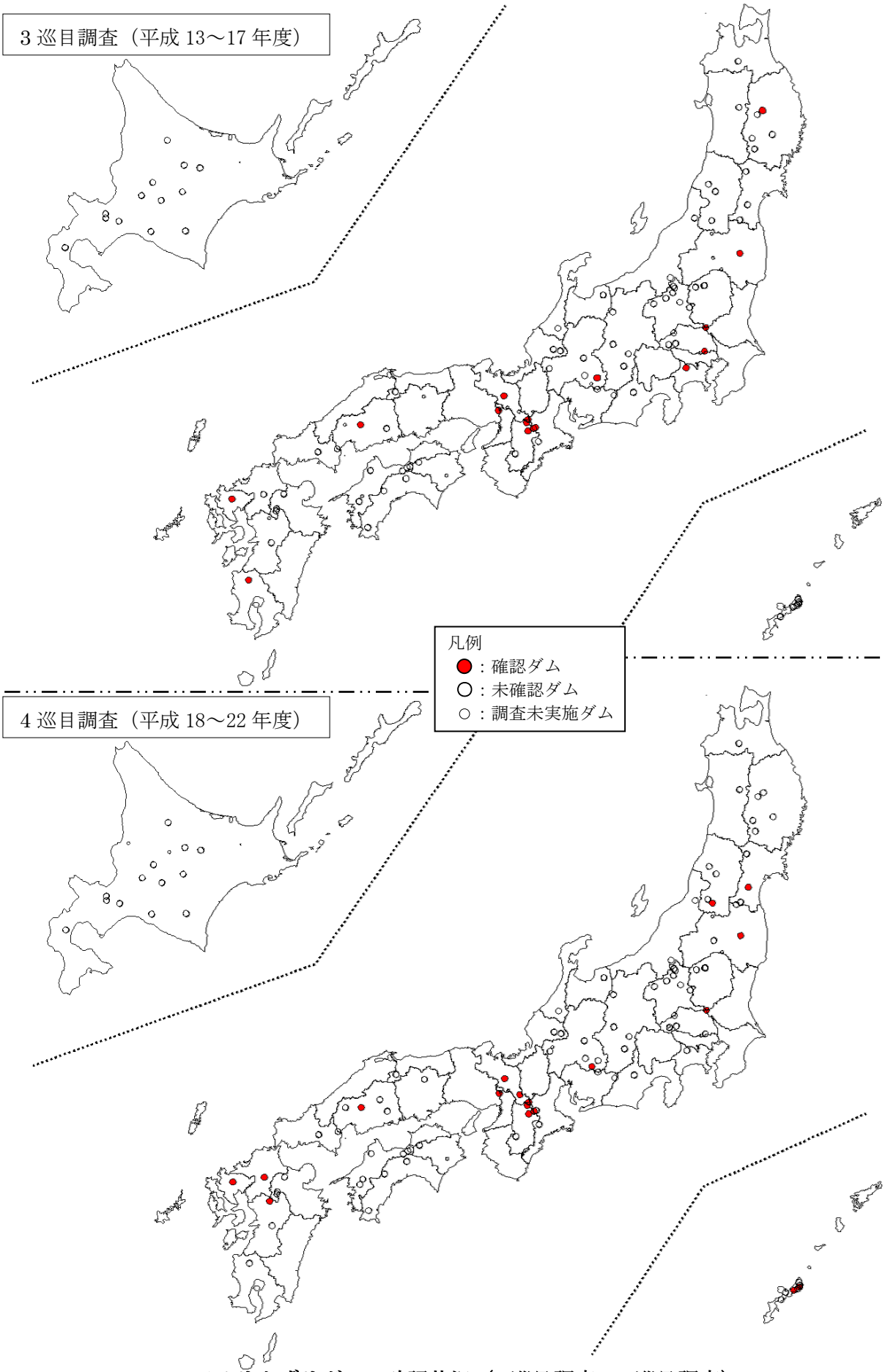
凡例
●：確認ダム
○：未確認ダム
○：調査未実施ダム
（ダム名は本年度とりまとめ対象ダムを示す）

カワヒバリガイの確認状況（7 巡目調査）

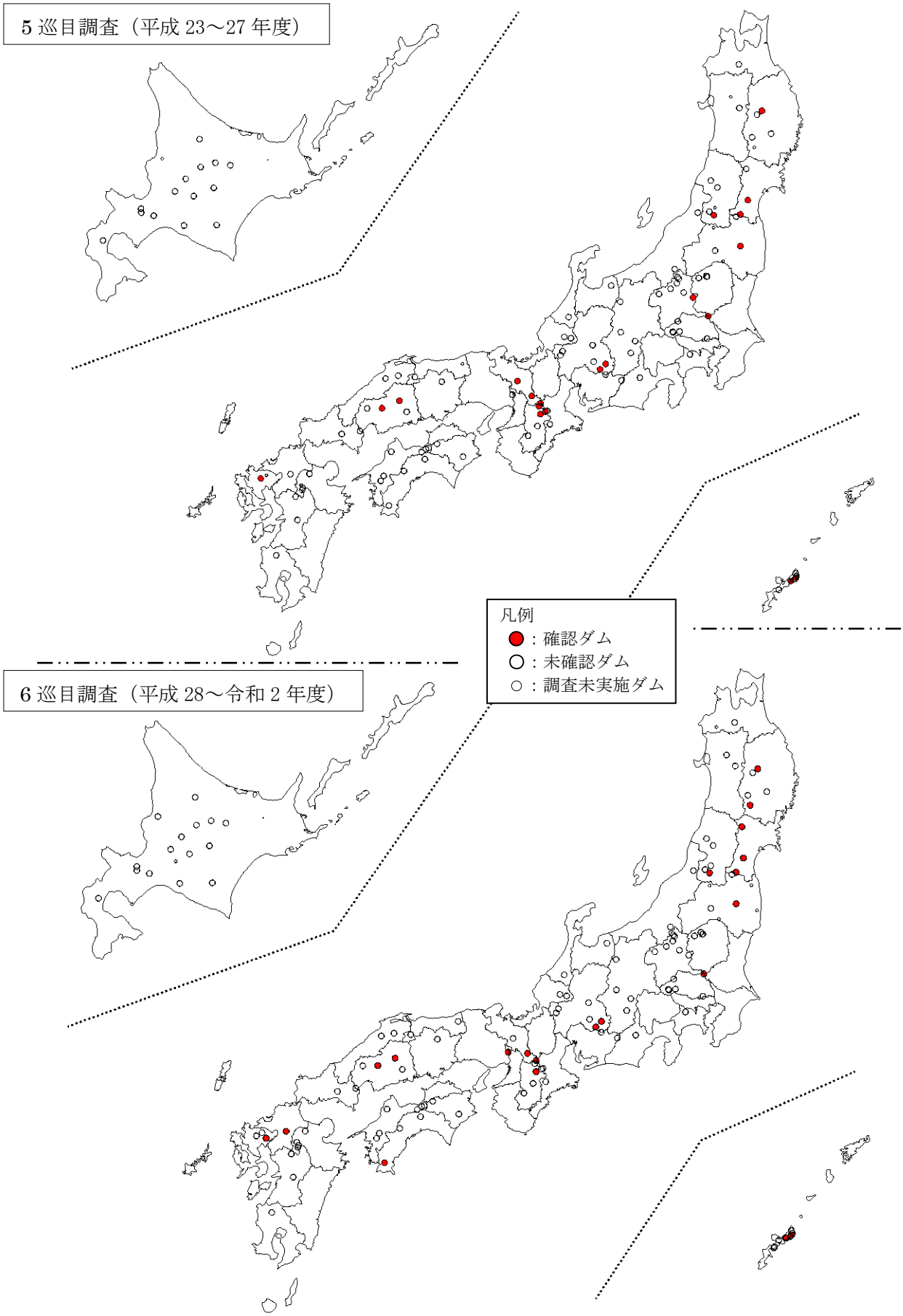
※美和ダム、小渋ダムは令和 4 年度調査実施



アメリカザリガニの確認状況（1 巡目調査、2 巡目調査）



アメリカザリガニの確認状況（3 巡目調査、4 巡目調査）

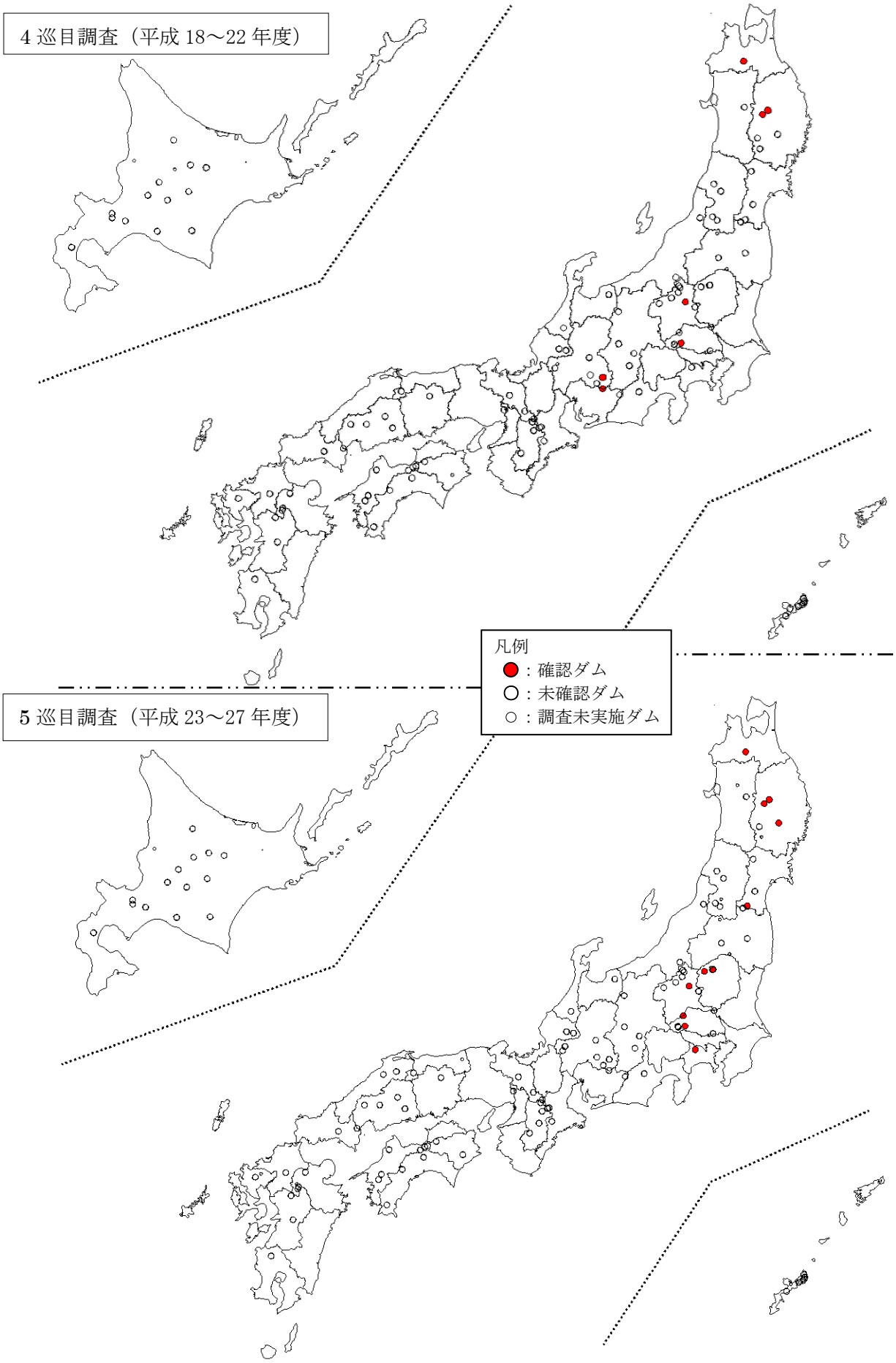


アメリカザリガニの確認状況（5 巡目調査、6 巡目調査）

7 巡目調査（令和 3～5 年度）

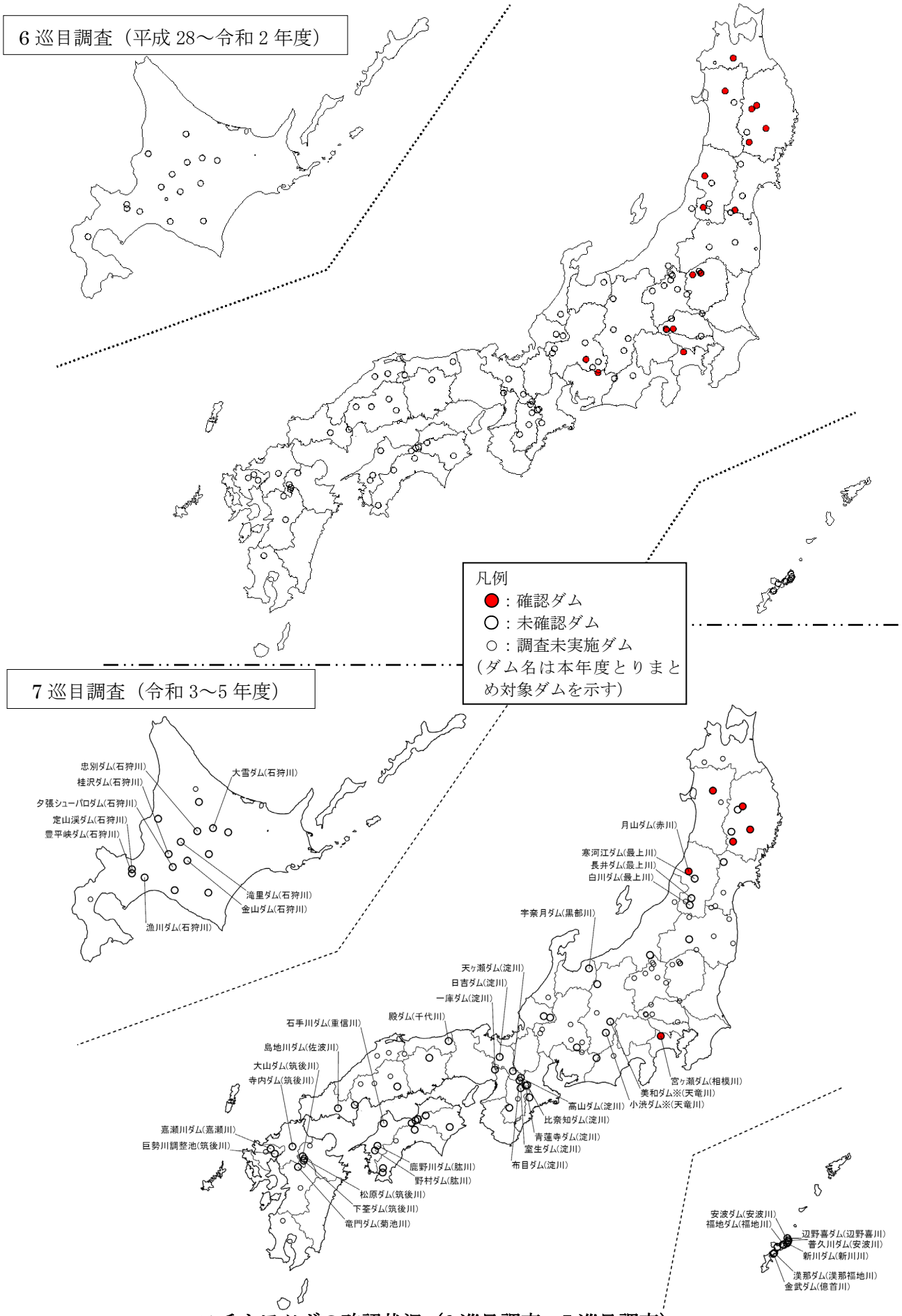
アメリカザリガニの確認状況（7 巡目調査）

※美和ダム、小渋ダムは令和 4 年度調査実施



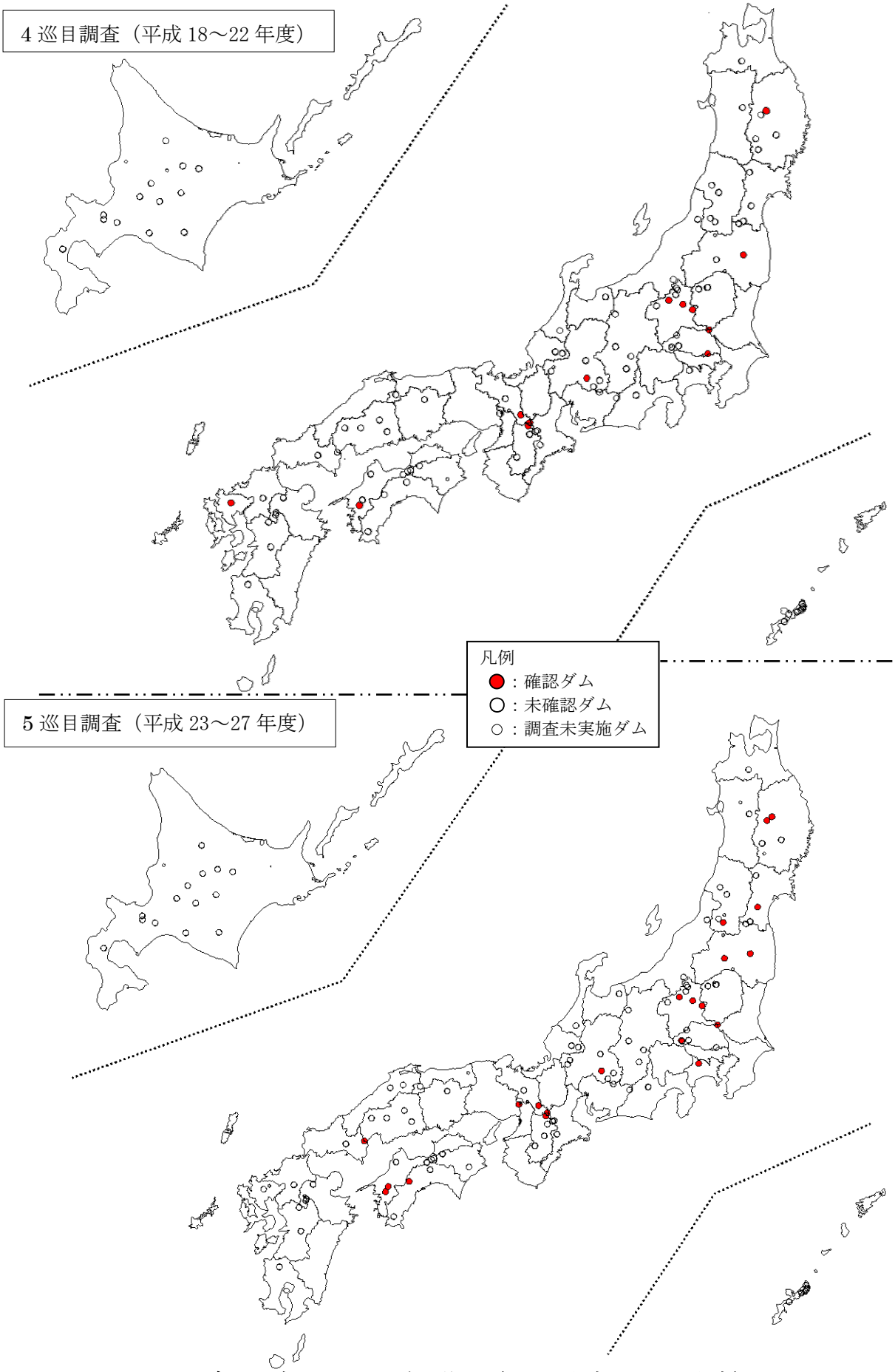
コモチカワツボの確認状況（4 巡目調査、5 巡目調査）

※コモチカワツボは、1,2,3 巡目には確認されていない



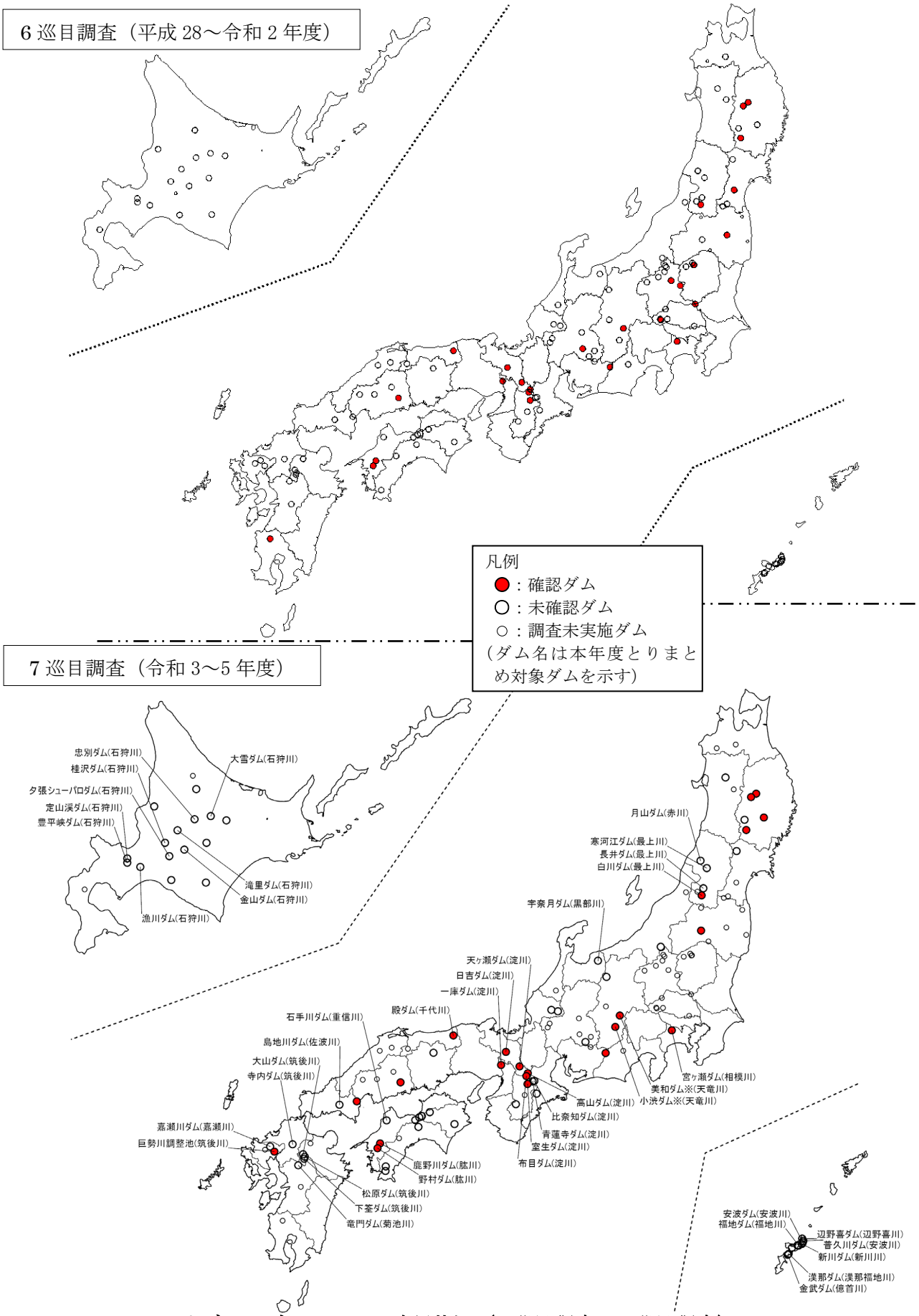
コモチカワツボの確認状況（6 巡目調査、7 巡目調査）

※美和ダム、小渋ダムは令和 4 年度調査実施



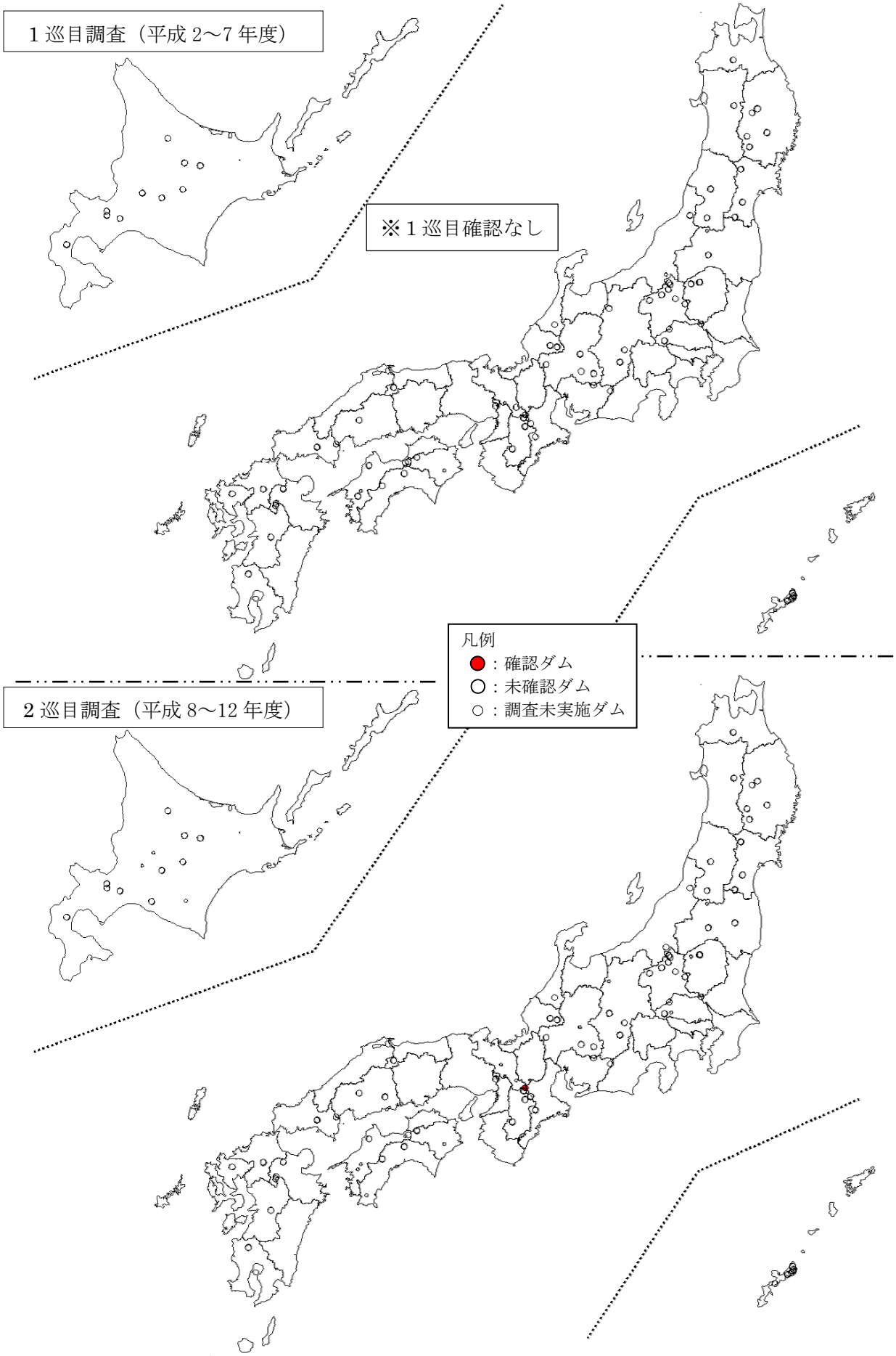
フロリダマミズヨコエビの確認状況（4 巡目調査、5 巡目調査）

※フロリダマミズヨコエビは、1,2,3 巡目には確認されていない

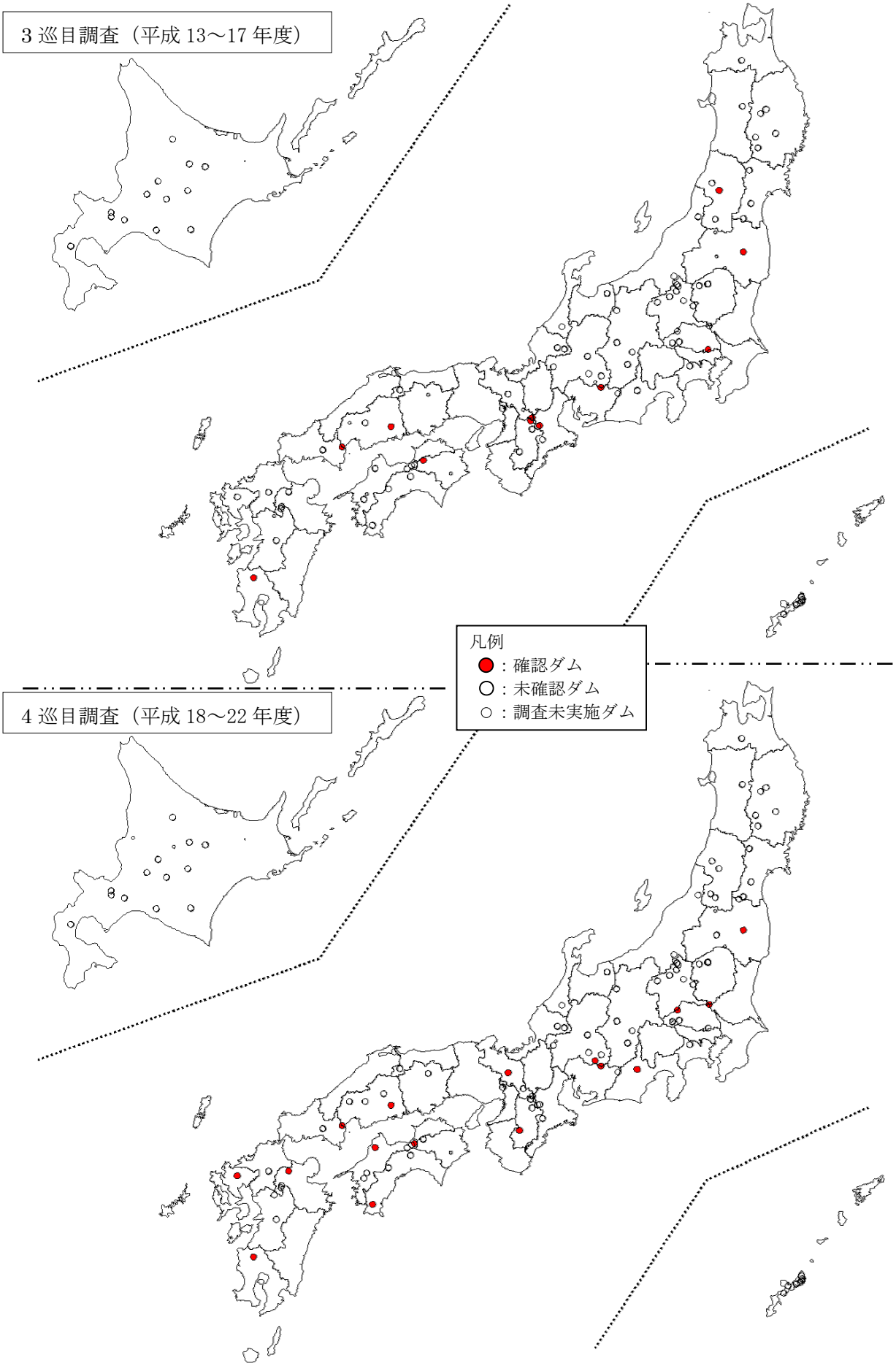


フロリダマミズヨコエビの確認状況（6 巡目調査、7 巡目調査）

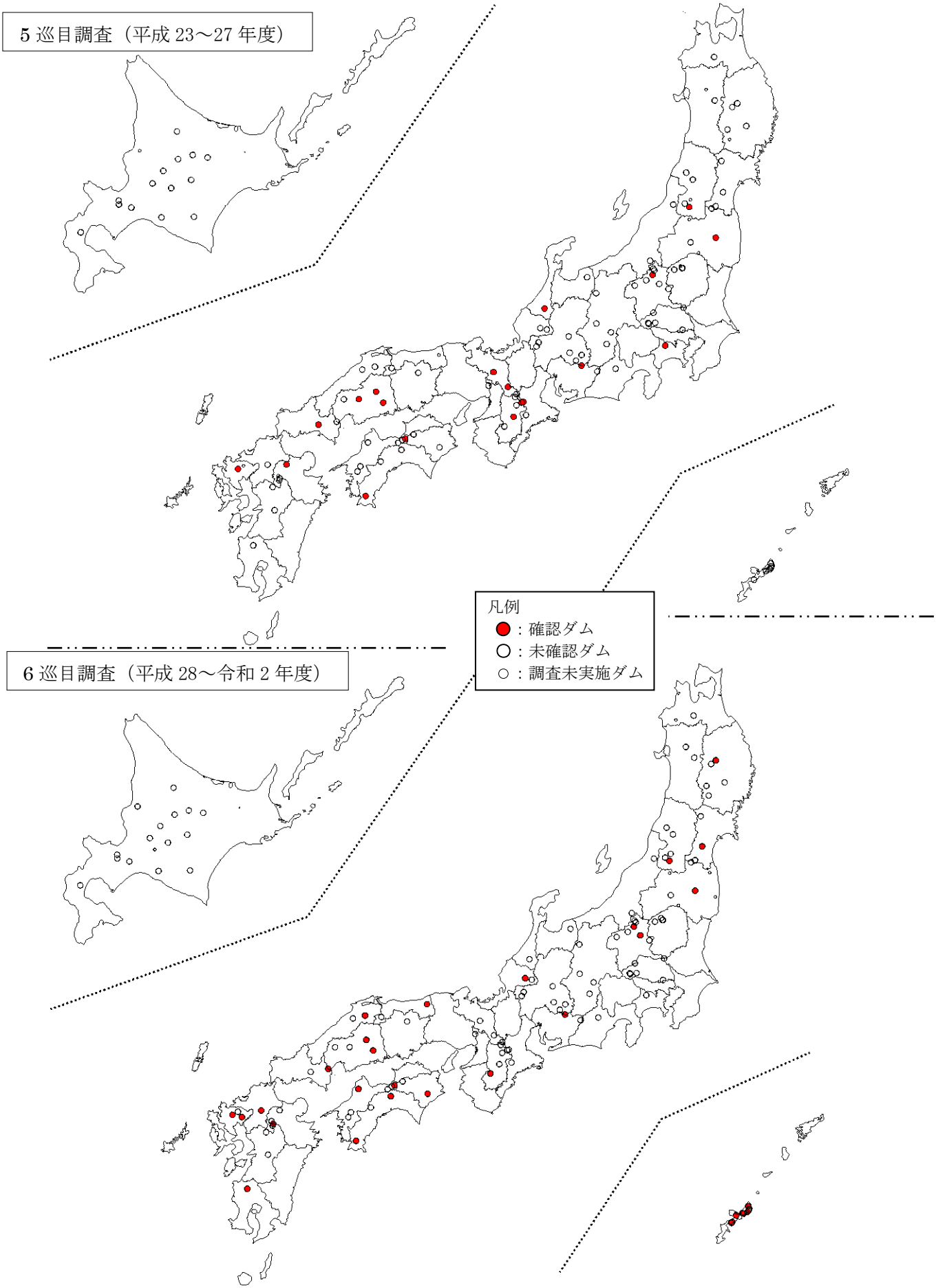
※美和ダム、小渋ダムは令和 4 年度調査実施



ハブタエモノアラガイの確認状況（1巡目調査、2巡目調査）

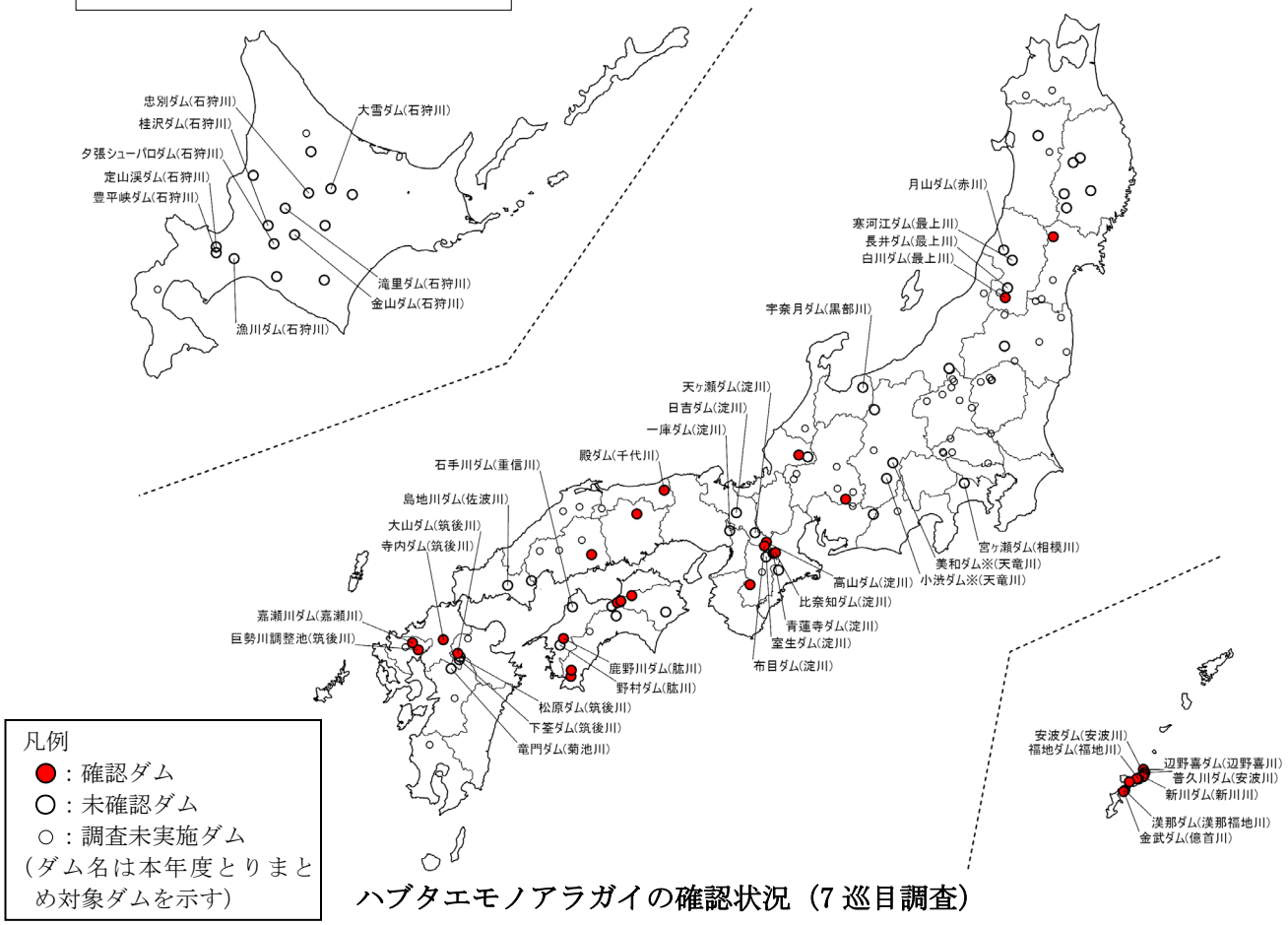


ハブタエモノアラガイの確認状況（3 巡目調査、4 巡目調査）



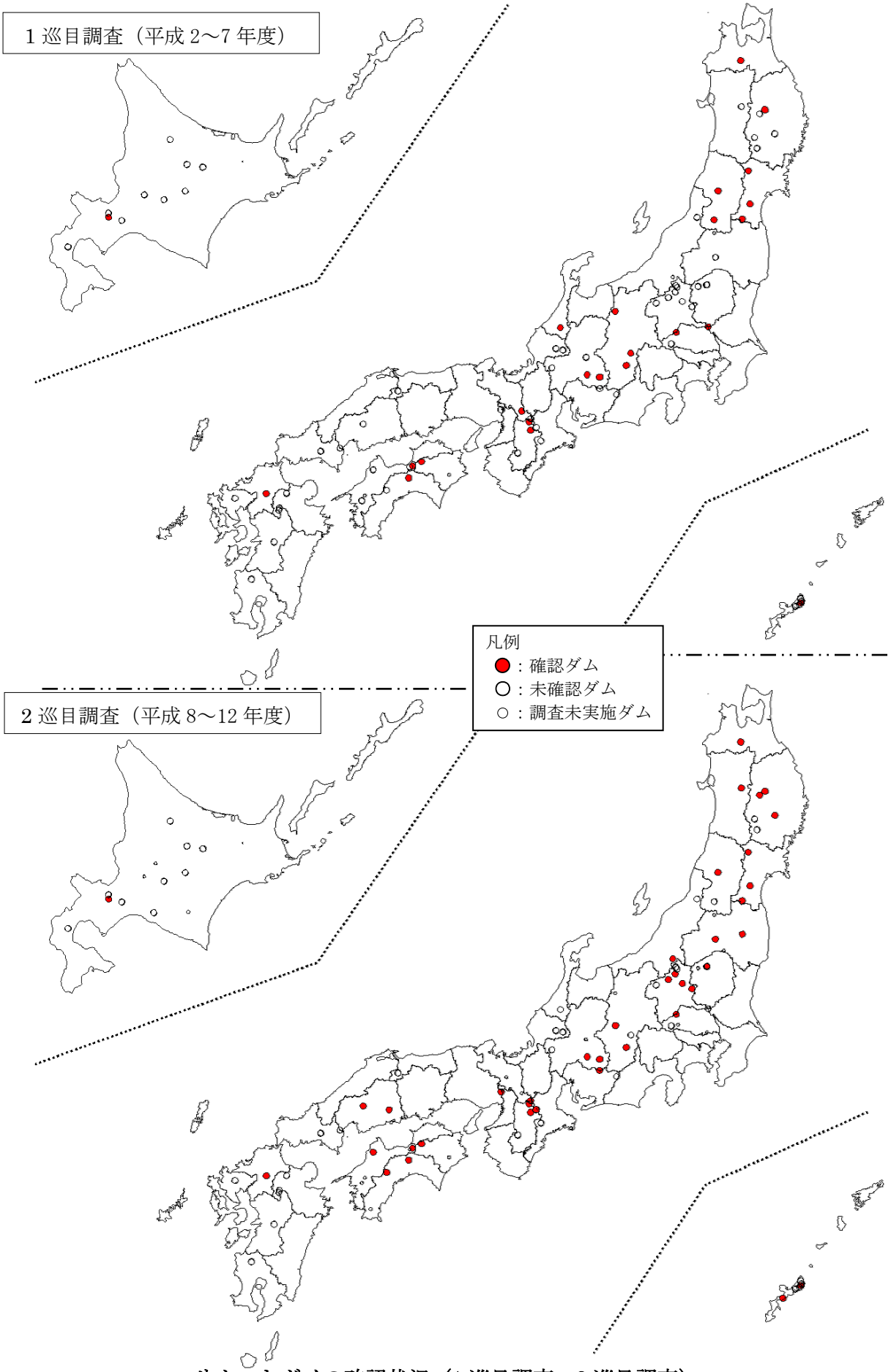
ハブタエモノアラガイの確認状況（5 巡目調査、6 巡目調査）

7 巡目調査（令和 3～5 年度）

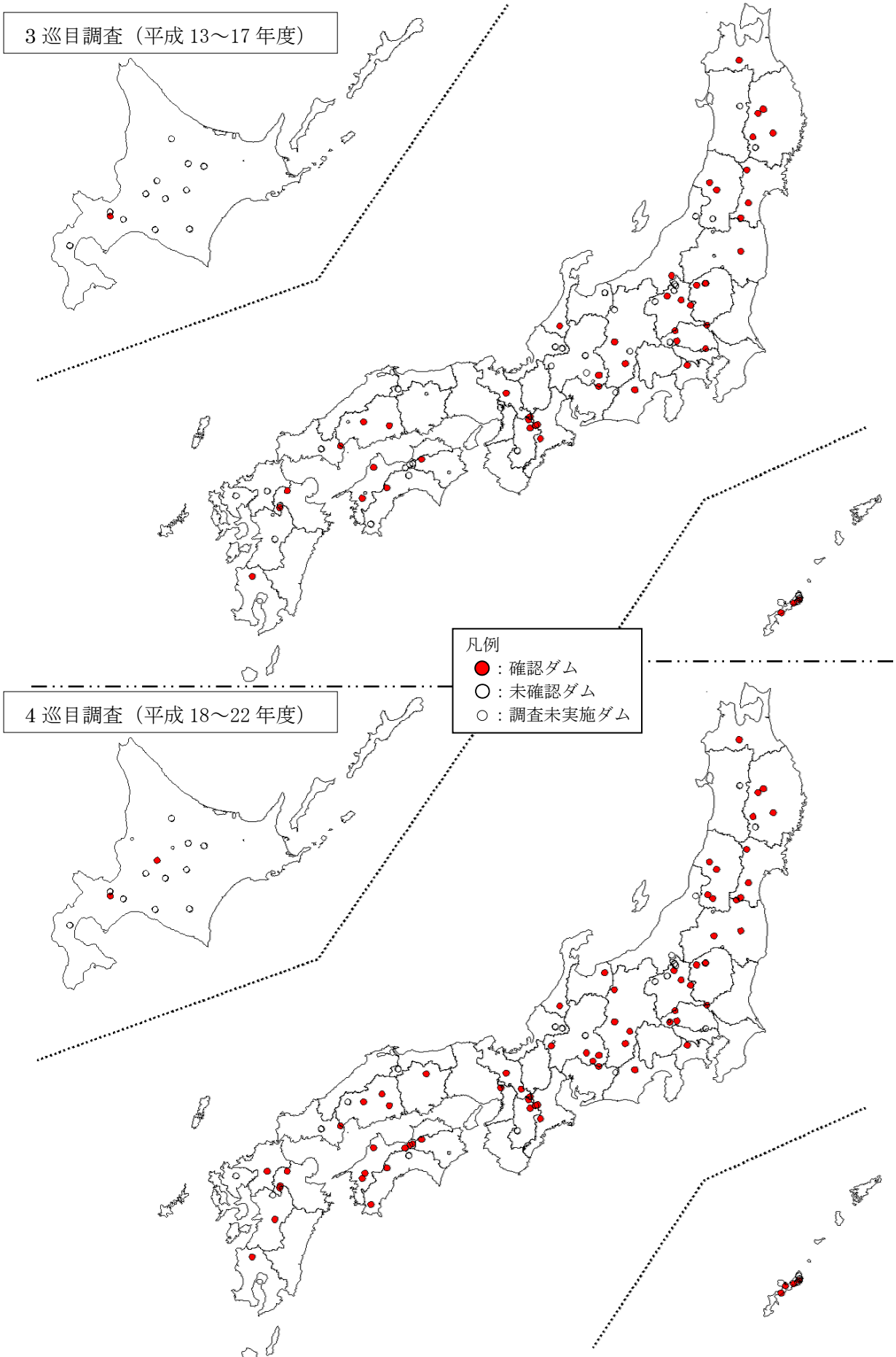


ハブタエモノアラガイの確認状況（7 巡目調査）

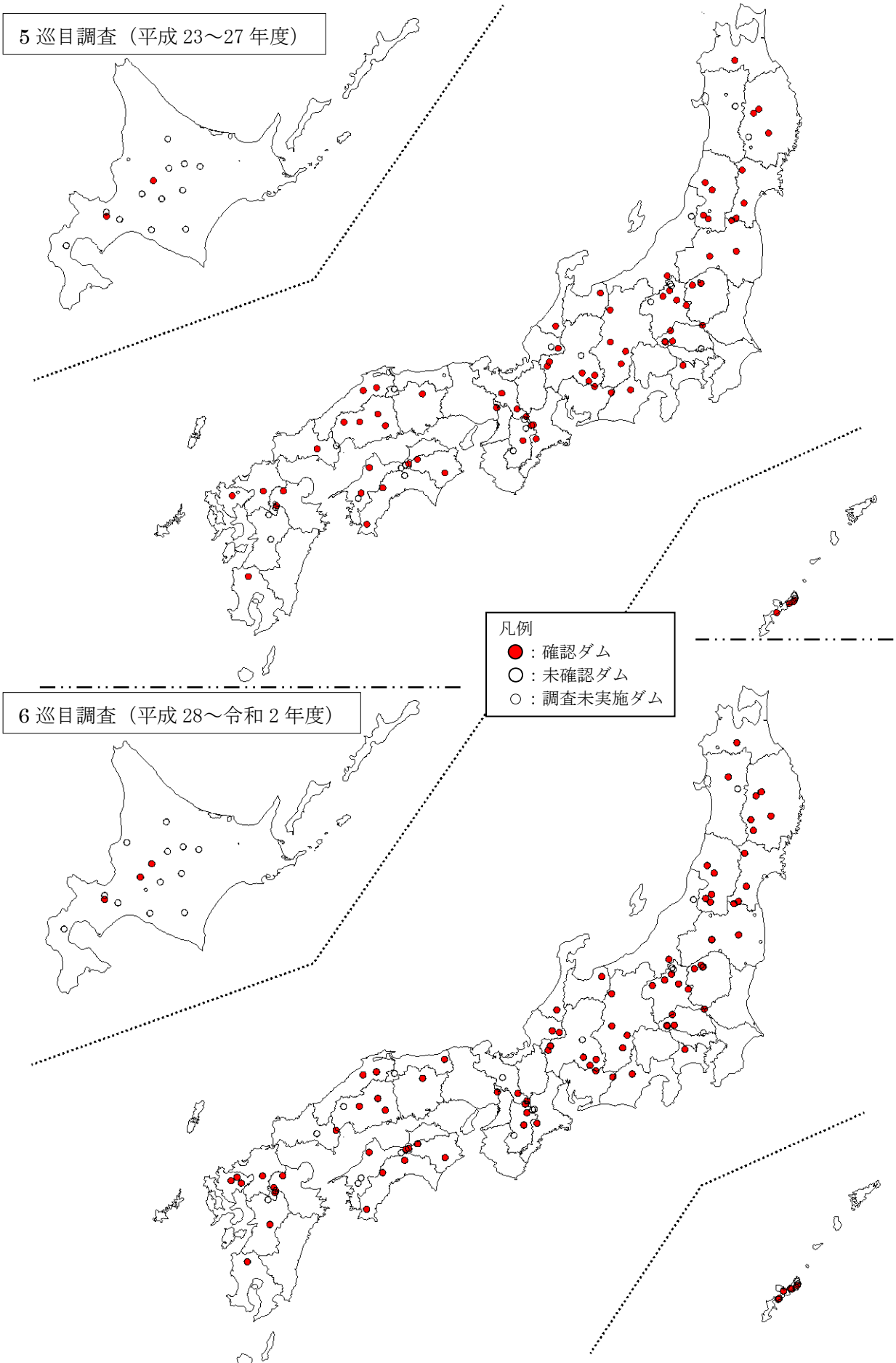
※美和ダム、小渋ダムは令和 4 年度調査実施



サカマキガイの確認状況（1 巡目調査、2 巡目調査）

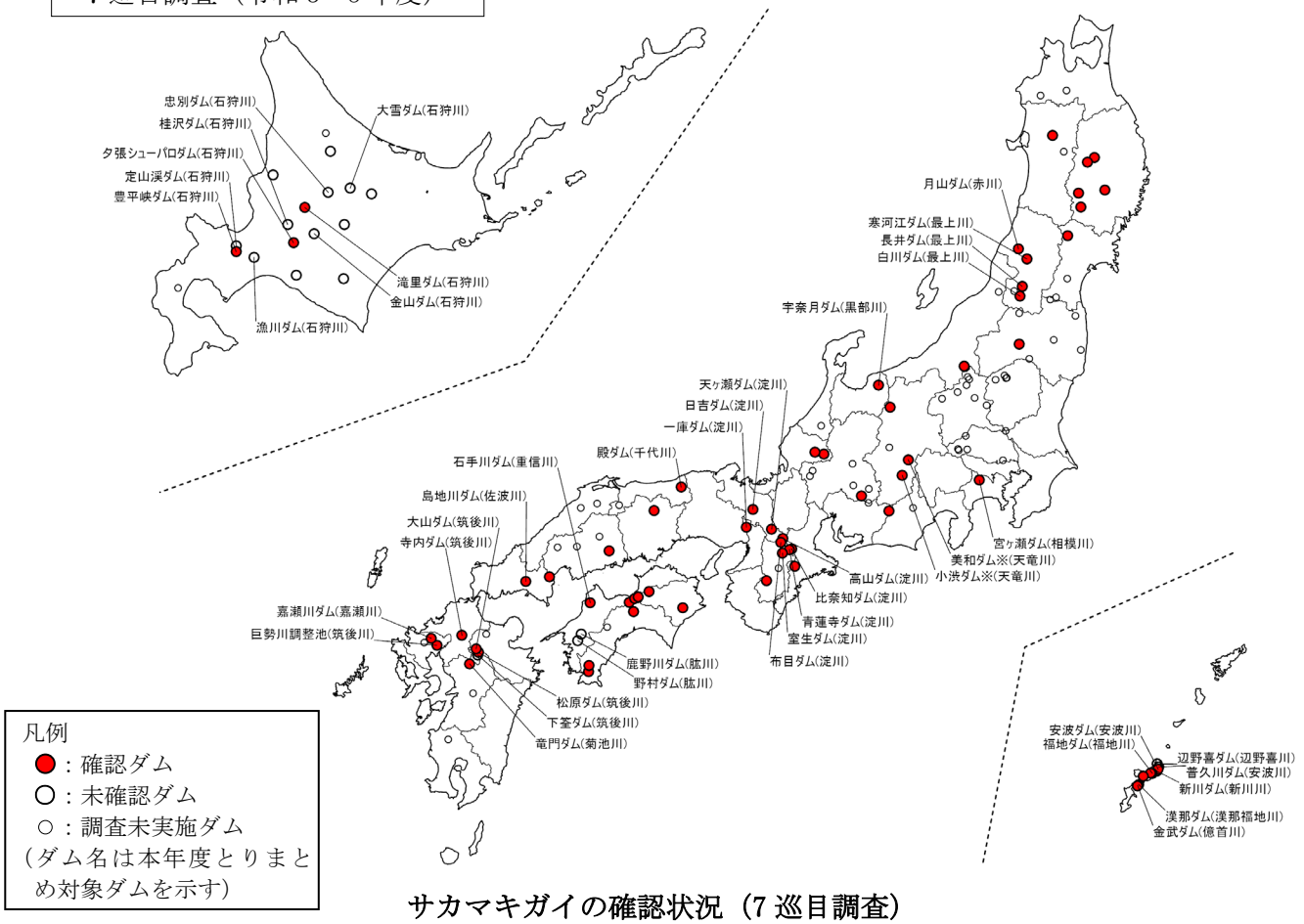


サカマキガイの確認状況（3 巡目調査、4 巡目調査）



サカマキガイの確認状況（5 巡目調査、6 巡目調査）

7 巡目調査（令和 3～5 年度）



凡例
●：確認ダム
○：未確認ダム
○：調査未実施ダム
（ダム名は本年度とりまとめ対象ダムを示す）

サカマキガイの確認状況（7 巡目調査）

※美和ダム、小渋ダムは令和 4 年度調査実施

2.3 ダム管理との関わり（ダム湖周辺の生物相）

ここでは、ダム湖内における底生動物の確認状況や、下流河川の底生動物の確認状況から、ダム周辺の自然環境とダム管理との関わりについて整理しました。

(1) ダム湖内に生息する生物

・ダム湖湖心部でミミズ綱、ハエ目（幼虫）等の生息を確認

ダム湖湖心部で実施した採泥器による定量調査では、ミズミミズ科やユスリカ科といったダム湖底の底質環境を特徴づける可能性のある種類が確認されました。

ダム湖湖心部で実施されている定点調査のうち、多くのダムで調査が実施されている時期、かつ底層の溶存酸素量の減少等の影響を受けやすい6月から8月の底生動物の確認状況について整理を行いました。調査はすべてエクマン・バージ型採泥器で実施されています。

令和5年度に調査を行った42ダムのうち、近畿の比奈知ダム、高山ダム、青蓮寺ダム、室生ダム、布目ダム、一庫ダム、中国の殿ダム、九州の巨勢川調整池を除く34ダムが6月から8月に湖心部で調査を実施していました。これらのダムでは、イトミミズ目ミズミミズ科や、ハエ目ユスリカ科などの止水域や緩流域に生息する底生動物が多く確認されており、ダム湖湖心部には止水環境に適応した種が生息しているものと考えられました。

大高（2010）[*1]やOhtaka（2014）[*2]、大高・一柳（2015）[*3]は、湖沼やダム湖の深底部に見られる水生ミミズ類と湖水環境、底質環境との関連性について論じており、これらを参考にすることでダム湖の湖底環境を推測できる可能性があります。

水生ミミズ類の種組成が特徴的であったダム湖に着目すると、水生ミミズ類の密度が高く、イトミミズが確認されていた、北海道の大雪ダム、東北の白川ダム、長井ダム、月山ダム及び中国の島地川ダムの5ダムでは、湖水は強く成層するものの、長い期間強い嫌気状態にはならないと推測されました。これらのダムについて、水質データが入手できた月山ダムにおいて毎月計測している水質データと比較したところ、湖底から1m上層で測定した溶存酸素量の年間最低値（月平均値）は4.7mg/L（令和5年11月）でした。湖底直上の水質ではないため断定はできませんが、湖底において酸素が枯渇しにくい環境であった可能性があります。

一方で、水生ミミズ類の個体数密度が100個体/m^2以下と低かった北海道の金山ダム、桂沢ダム、北陸の宇奈月ダム、沖縄の辺野喜ダム、普久川ダム、安波ダムの6ダムにおける、湖底から1m上層で測定した溶存酸素量の年間最低値（月平均値）は、水質データが入手できた4ダムでは、桂沢ダムで5.3 mg/L（令和6年1月）、辺野喜ダムで0.5 mg/L以下（令和5年4～12月）、普久川ダムで0.5 mg/L以下（令和5年4月、6月、8月、10月）、安波ダムで0.5 mg/L以下（令和5年4月、6月、8月、10月）でした。桂沢ダムを除く沖縄の3ダムは溶存酸素量が低く、湖底の酸素が枯渇していた可能性があります。

Ohtaka（2014）[*2]では湖底の温度が15℃以上である程度続く場合、イトミミズが見られなくなると報告しています。今回対象とした42ダムについて、調査時の泥温を確認したところ、15℃以上あったのは北海道の滝里ダム、漁川ダム、宇奈月ダム、天ケ瀬ダム、石手川ダム、鹿野川ダム、野村ダム、下筌ダム、松原ダム、寺内ダム、嘉瀬川ダム、辺野喜ダム、普久川ダム、安波ダム、新川ダム、福地ダム、漢那ダム、金武ダムの18ダムで、このうち14ダムにおいてイトミミズが確認されませんでした。なお、イトミミズの個体数密度が比較的多かった（1,000個体/m^2以上）ダムは7ダムあり、このうち6ダムは調査時の泥温が10℃以下でした。

イトミミズ個体数及び泥温

（個体数/m^2）

地方名	北海道								
ダム名	大雪	忠別	金山	滝里	桂沢	漁川	豊平峡	定山渓	夕張シューパロ
泥温	6.3	6.8	8.1	17.0	6.0	20.2	10.8	5.4	4.1
イトミミズ個体数	8,859	193	74	1,244	100	0	533	2,681	642

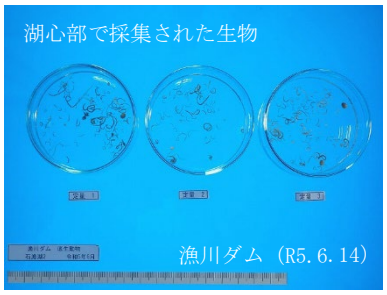
（個体数/m^2）

地方名	東北				関東	北陸	近畿		中国
ダム名	白川	長井	寒河江	月山	宮ヶ瀬	宇奈月	天ヶ瀬	日吉	島地川
泥温	6.5	7.5	6.8	9.0	9.0	17.6	27.0	12.5	7.3
イトミミズ個体数	1,037	4,904	0	16,919	178	0	0	30	1,748

地方名	四国			九州					
ダム名	石手川	鹿野川	野村	下筌	松原	大山	寺内	嘉瀬川	竜門
泥温	18.0	16.8	18.4	19.6	19.9	10.8	21.4	18.0	12.1
イトミミズ個体数	30	148	0	74	0	15	0	0	0

地方名	沖縄						
ダム名	辺野喜	普久川	安波	新川	福地	漢那	金武
泥温	19.1	18.3	17.3	19.1	17.0	27.2	26.0
イトミミズ個体数	0	0	0	0	0	0	0

注1）集計に用いたデータは、ダム湖内での定量調査結果（15cm×15cmのエクマン・バージ型採泥器で3回採集）とし、本表ではm^{2}換算した値を示した。
注2）泥温は、生物調査時に記録されたものである。
注3）泥温が15℃以上であったダムを赤色で示した。



湖心部で採取された底生動物

*1　大高明史（2010）：水生ミミズ類と水質環境．谷田一三編，河川環境の指標生物学．P86-94，北隆館，東京．
*2　Ohtaka，A（2014）：Profundal oligochaete faunas（Annelida，Clitellata）in Japanese lakes．Zoosymposia，9，pp．24-35．
*3　大高明史・一柳英隆（2015）：ダム湖の湖水環境と深底部の貧毛類の種組成．応用生態工学 18(2)，pp．87-98．

ダム湖内における底生動物の確認状況＜1＞

（個体数/m²）

門	綱	目	科	和名	地方名	北海道								
					ダム名	大雪	忠別	金山	滝里	桂沢	漁川	豊平峡	定山渓	夕張シューパロ
					調査地点	石大湖1	石忠忠4	石金湖1	石滝湖2	石桂湖1	石漁湖2	石豊湖1	石定湖2	石夕湖1
					採集水深(m)	46	36.7	36.9	15.6	40	10.8	57.7	57.8	53.5
					透明度(m)	2.3	5.0	2.9	0.3	0.6	1.6	9.2	6.1	1.0
					泥温	6.3	6.8	8.1	17.0	6.0	20.2	10.8	5.4	4.1
					臭気	無	無	無し	泥臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭
					学名 ／ 底質の性状	シルト	シルト	シルト	シルト	シルト	シルト	シルト	シルト	シルト
海綿動物門	普通海綿綱	タンスイカイメン目	タンスイカイメン科	カワカイメン	*Ephydatia fluviatilis*									
				ヨワカイメン	*Eunapius fragilis*									
				マツモトカイメン	*Heterorotula multidentata*									
				アナンデルカイメン	*Radiospongilla cerebellata*									
				ヌマカイメン	*Spongilla lacustris*									
軟体動物門	腹足綱	新生腹足目	タニシ科	ヒメタニシ	*Sinotaia histrica*									
		汎有肺目	サカマキガイ科	サカマキガイ	*Physella acuta*									
	二枚貝綱	マルスダレガイ目	シジミ科	シジミ属	*Corbicula* sp.									
			ドブシジミ科	マメシジミ属	*Pisidium* sp.						15			
環形動物門	ミミズ綱	オヨギミミズ目	オヨギミミズ科	オヨギミミズ科	Lumbriculidae									
		イトミミズ目	ミズミミズ科	ヒメイトミミズ属	*Aulodrilus* sp.									
				エラミミズ	*Branchiura sowerbyi*									
				コガタイトミミズ	*Ilyodrilus templetoni*									
				モトムラユリミミズ	*Limnodrilus claparedianus*									
				ユリミミズ	*Limnodrilus hoffmeisteri*						193			
				ウィリーユリミミズ	*Limnodrilus udekemianus*									
				ユリミミズ属	*Limnodrilus* sp.				756					
				クロオビミズミミズ	*Ophidonais serpentina*									
				ヨゴレミズミミズ	*Slavina appendiculata*									
				イトミミズ	*Tubifex tubifex*	8,859	193	74	1,244	100		533	2,681	642
				未同定ミズミミズ科	Naididae				15		1,778			3,125
		厚環帯目	ツリミミズ科	ツリミミズ科	Lumbricidae									

注1）集計に用いたデータは、ダム湖内での定量調査結果（15cm×15cmのエクマン・バージ型採泥器で3回採集）とし、本表では3回採集した合計値をm^2換算した値を示した。

注2）水深、透明度、臭気及び底質の性状は、定量調査時に同時に記録されたものである。

注3）「0」は個体数の計数が困難な芽球での出現を示す。

注4）未同定ミズミミズ科は、未成熟や破損のために種や属まで同定できなかったものを示す。

注5）湖心部が複数あるダムは水深の深い地点を選定した。

注6）北海道のダムにおいて6月（春季）と8月（夏季）に調査を行っている場合は、8月調査を採用した。

ダム湖内における底生動物の確認状況＜2＞

（個体数/m²）

門	綱	目	科	和名	地方名	北海道								
					ダム名	大雪	忠別	金山	滝里	桂沢	漁川	豊平峡	定山渓	夕張シューパロ
					調査地点	石大湖1	石忠忠4	石金湖1	石滝湖2	石桂湖1	石漁湖2	石豊湖1	石定湖2	石夕湖1
					採集水深(m)	46	36.7	36.9	15.6	40	10.8	57.7	57.8	53.5
					透明度(m)	2.3	5.0	2.9	0.3	0.6	1.6	9.2	6.1	1.0
					泥温	6.3	6.8	8.1	17.0	6.0	20.2	10.8	5.4	4.1
					臭気	無	無	無し	泥臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭
					学名 ／ 底質の性状	シルト	シルト	シルト	シルト	シルト	シルト	シルト	シルト	シルト
節足動物門	軟甲綱	ワラジムシ目	ミズムシ科（甲）	ミズムシ（甲）	*Asellus hilgendorfi hilgendorfi*									
	昆虫綱	ハエ目（双翅目）	ケヨソイカ科	フサカ属	*Chaoborus* sp.									
			ユスリカ科	ダンダラヒメユスリカ属	*Ablabesmyia* sp.									
				ユスリカ属	*Chironomus* sp.				15		15		15	
				セボリユスリカ属	*Glyptotendipes* sp.									
				ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.								15	
				トゲヤマユスリカ属	*Monodiamesa* sp.						89			
				カワリユスリカ属	*Paratendipes* sp.									
				ハモンユスリカ属	*Polypedilum* sp.	119			15					
				カユスリカ属	*Procladius* sp.	59	74		30	8	222			
				キザキユスリカ	*Sergentia kizakiensis*			207						
				アシマダラユスリカ属	*Stictochironomus* sp.									
				ヒゲユスリカ属	*Tanytarsus* sp.									
				ユスリカ科	Chironomidae						30			
			ミズアブ科	Chorisops属	*Chorisops* sp.									
苔虫動物門	被喉綱	ハネコケムシ目	ヒメテンコケムシ科	カンテンコケムシ	*Asajirella gelatinosa*									
				ヒメテンコケムシ	*Lophopodella carteri*									
			オオマリコケムシ科	オオマリコケムシ	*Pectinatella magnifica*									
合計個体数(個体数／m²)						9,092	316	329	2,108	155	2,375	611	2,780	3,826

注1）集計に用いたデータは、ダム湖内での定量調査結果（15cm×15cmのエクマン・バージ型採泥器で3回採集）とし、本表では3回採集した合計値をm²換算した値を示した。

注2）水深、透明度、臭気及び底質の性状は、定量調査時に同時に記録されたものである。

注3）「0」は個体数の計数が困難な芽球での出現を示す。

注4）湖心部が複数あるダムは水深の深い地点を選定した。

注5）北海道のダムにおいて6月（春季）と8月（夏季）に調査を行っている場合は、8月調査を採用した。

ダム湖内における底生動物の確認状況＜3＞

（個体数/m^2）

門	綱	目	科	和名	地方名	東北				関東	北陸	近畿		中国	四国		
					ダム名	白川	長井	寒河江	月山	宮ヶ瀬	宇奈月	天ヶ瀬	日吉	島地川	石手川	鹿野川	野村
					調査地点	最白最1	最長最1	最寒最1	赤梵月山1	ダム湖1	黒宇湖4	淀天淀7	淀日湖1	佐島湖1	重石湖1	肱鹿湖1	肱野湖2
					採集水深(m)	26.4	64.9	79	58.5	114	17.8	27	25.8	59.2	43.3	33.7	34.7
					透明度(m)	1.0	2.2	3.0	3.5	6.0	3.5	2.8	2.9	1.5	2.0	2.9	2.6
					泥温	6.5	7.5	6.8	9.0	9.0	17.6	27.0	12.5	7.3	18.0	16.8	18.4
					臭気	無	土臭	無	ドロ臭	なし	無し	無し	なし	なし	無し	無し	無し
					学名 ／ 底質の性状	その他	シルト	シルト	シルト	シルト	砂	シルト	シルト	シルト	シルト	シルト	シルト
海綿動物門	普通海綿綱	タンスイカイメン目	タンスイカイメン科	カワカイメン	*Ephydatia fluviatilis*											0	
				ヨワカイメン	*Eunapius fragilis*												
				マツモトカイメン	*Heterorotula multidentata*											0	0
				アナンデルカイメン	*Radiospongilla cerebellata*												
				ヌマカイメン	*Spongilla lacustris*											0	
軟体動物門	腹足綱	新生腹足目	タニシ科	ヒメタニシ	*Sinotaia histrica*							30					
		汎有肺目	サカマキガイ科	サカマキガイ	*Physella acuta*										15		
	二枚貝綱	マルスダレガイ目	シジミ科	シジミ属	*Corbicula* sp.							15					
			ドブシジミ科	マメシジミ属	*Pisidium* sp.					15							
環形動物門	ミミズ綱	オヨギミミズ目	オヨギミミズ科	オヨギミミズ科	Lumbriculidae		44										
		イトミミズ目	ミズミミズ科	ヒメイトミミズ属	*Aulodrilus* sp.												
				エラミミズ	*Branchiura sowerbyi*							15			30		
				コガタイトミミズ	*Ilyodrilus templetoni*												
				モトムラユリミミズ	*Limnodrilus claparedianus*							504			30		
				ユリミミズ	*Limnodrilus hoffmeisteri*	15			15			74	193	1,837	593		726
				ウィリーユリミミズ	*Limnodrilus udekemianus*							148					
				ユリミミズ属	*Limnodrilus* sp.											30	2,652
				クロオビミズミミズ	*Ophidonais serpentina*	400			30	15							
				ヨゴレミズミミズ	*Slavina appendiculata*		15										
				イトミミズ	*Tubifex tubifex*	1,037	4,904		16,919	178			30	1,748	30	148	
				ミズミミズ科	Naididae	9,304	12,696	11,674		5,244	44	1,674	1,156	5,141	444		
		厚環帯目	ツリミミズ科	ツリミミズ科	Lumbricidae										59		

:1) 集計に用いたデータは、ダム湖内での定量調査結果（15cm×15cmのエクマン・バージ型採泥器で3回採集）とし、本表では3回採集した合計値をm^{2}換算した値を示した。

注2) 水深、透明度、臭気及び底質の性状は、定量調査時に同時に記録されたものである。

注3)「0」は個体数の計数が困難な芽球での出現を示す。

注4) 未同定ミズミミズ科は、未成熟や破損のために種や属まで同定できなかったものを示す。

注5) 湖心部が複数あるダムは水深の深い地点を選定した。

注6) 北海道のダムにおいて6月（春季）と8月（夏季）に調査を行っている場合は、8月調査を採用した。

ダム湖内における底生動物の確認状況＜4＞

（個体数/m²）

門	綱	目	科	和名	地方名	東北				関東	北陸	近畿		中国	四国		
					ダム名	白川	長井	寒河江	月山	宮ヶ瀬	宇奈月	天ヶ瀬	日吉	島地川	石手川	鹿野川	野村
					調査地点	最白最1	最長最1	最寒最1	赤梵月山1	ダム湖1	黒宇湖4	淀天淀7	淀日湖1	佐島湖1	重石湖1	肱鹿湖1	肱野湖2
					採集水深(m)	26.4	64.9	79	58.5	114	17.8	27	25.8	59.2	43.3	33.7	34.7
					透明度(m)	1.0	2.2	3.0	3.5	6.0	3.5	2.8	2.9	1.5	2.0	2.9	2.6
					泥温	6.5	7.5	6.8	9.0	9.0	17.6	27.0	12.5	7.3	18.0	16.8	18.4
					臭気	無	土臭	無	ドロ臭	なし	無し	無し	なし	なし	無し	無し	無し
					学名 ／ 底質の性状	その他	シルト	シルト	シルト	シルト	砂	シルト	シルト	シルト	シルト	シルト	シルト
節足動物門	軟甲綱	ワラジムシ目	ミズムシ科（甲）	ミズムシ（甲）	*Asellus hilgendorfi hilgendorfi*		15										
	昆虫綱	ハエ目（双翅目）	ケヨソイカ科	フサカ属	*Chaoborus* sp.												
			ユスリカ科	ダンダラヒメユスリカ属	*Ablabesmyia* sp.										15		
				ユスリカ属	*Chironomus* sp.		15					30	44				
				セボリユスリカ属	*Glyptotendipes* sp.												
				ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.												
				トゲヤマユスリカ属	*Monodiamesa* sp.												
				カワリユスリカ属	*Paratendipes* sp.							15					
				ハモンユスリカ属	*Polypedilum* sp.							15		44			
				カユスリカ属	*Procladius* sp.		15										15
				キザキユスリカ	*Sergentia kizakiensis*												
				アシマダラユスリカ属	*Stictochironomus* sp.									15			
				ヒゲユスリカ属	*Tanytarsus* sp.												
				ユスリカ科	Chironomidae		15				15		15		15		
			ミズアブ科	Chorisops属	*Chorisops* sp.												
苔虫動物門	被喉綱	ハネコケムシ目	ヒメテンコケムシ科	カンテンコケムシ	*Asajirella gelatinosa*												
				ヒメテンコケムシ	*Lophopodella carteri*											0	
			オオマリコケムシ科	オオマリコケムシ	*Pectinatella magnifica*			0		0							
合計個体数(個体数／m²)						10,790	17,794	11,763	17,035	5,581	98	2,577	1,479	8,853	1,294	231	3,449

注1）集計に用いたデータは、ダム湖内での定量調査結果（15cm×15cmのエクマン・バージ型採泥器で3回採集）とし、本表では3回採集した合計値をm²換算した値を示した。

注2）水深、透明度、臭気及び底質の性状は、定量調査時に同時に記録されたものである。

注3）「0」は個体数の計数が困難な芽球での出現を示す。

注4）湖心部が複数あるダムは水深の深い地点を選定した。

注5）北海道のダムにおいて6月（春季）と8月（夏季）に調査を行っている場合は、8月調査を採用した。

ダム湖内における底生動物の確認状況＜5＞

（個体数/m²）

門	綱	目	科	和名	地方名	九州						沖縄						
					ダム名	下筌	松原	大山	寺内	嘉瀬川	竜門	辺野喜	普久川	安波	新川	福地	漢那	金武
					調査地点	筑下湖1	筑松湖1	筑大湖1	筑寺湖1	嘉嘉湖5	菊竜湖1	辺辺湖1	安普湖1	安安湖1	新新湖1	福福湖1	福漢湖2	億金湖5
					採集水深(m)	44.9	21.6	56.5	17	45.9	71.1	19.5	20.9	52.9	21.7	57.2	20.4	16.8
					透明度(m)	4.9	2.9	3.1	0.3	1.5	3.3	3.0	2.9	3.0	2.1	5.6	2.1	1.3
					泥温	19.6	19.9	10.8	21.4	18.0	12.1	19.1	18.3	17.3	19.1	17.0	27.2	26.0
					臭気	無	無臭	無	無	泥のにおい	植物性腐敗臭	無し	無し	無し	無し	弱硫化水素臭	硫化水素臭	微硫化水素臭
					学名 ／ 底質の性状	軟泥（ヘドロ）	砂	シルト	軟泥（ヘドロ）	シルト	シルト	その他	シルト	軟泥（ヘドロ）	軟泥（ヘドロ）	その他	シルト	その他
海綿動物門	普通海綿綱	タンスイカイメン目	タンスイカイメン科	カワカイメン	*Ephydatia fluviatilis*													
				ヨワカイメン	*Eunapius fragilis*										0			
				マツモトカイメン	*Heterorotula multidentata*													
				アナンデルカイメン	*Radiospongilla cerebellata*										0			
				ヌマカイメン	*Spongilla lacustris*													
軟体動物門	腹足綱	新生腹足目	タニシ科	ヒメタニシ	*Sinotaia histrica*													
		汎有肺目	サカマキガイ科	サカマキガイ	*Physella acuta*													
	二枚貝綱	マルスダレガイ目	シジミ科	シジミ属	*Corbicula* sp.													
			ドブシジミ科	マメシジミ属	*Pisidium* sp.													
環形動物門	ミミズ綱	オヨギミミズ目	オヨギミミズ科	オヨギミミズ科	Lumbriculidae													
		イトミミズ目	ミズミミズ科	ヒメイトミミズ属	*Aulodrilus* sp.		15											
				エラミミズ	*Branchiura sowerbyi*										30	281	89	
				コガタイトミミズ	*Ilyodrilus templetoni*		74											
				モトムラユリミミズ	*Limnodrilus claparedianus*				59									
				ユリミミズ	*Limnodrilus hoffmeisteri*	430	415		44	44	519					15	15	104
				ウィリーユリミミズ	*Limnodrilus udekemianus*													
				ユリミミズ属	*Limnodrilus* sp.													
				クロオビミズミミズ	*Ophidonais serpentina*													
				ヨゴレミズミミズ	*Slavina appendiculata*													
				イトミミズ	*Tubifex tubifex*	74		15										
				ミズミミズ科	Naididae	1,244	800	104	1,881	104	1,096					30	44	
		厚環帯目	ツリミミズ科	ツリミミズ科	Lumbricidae													

注1）集計に用いたデータは、ダム湖内での定量調査結果（15cm×15cmのエクマン・バージ型採泥器で3回採集）とし、本表では3回採集した合計値をm^2換算した値を示した。

注2）水深、透明度、臭気及び底質の性状は、定量調査時に同時に記録されたものである。

注3）「0」は個体数の計数が困難な芽球での出現を示す。

注4）未同定ミズミミズ科は、未成熟や破損のために種や属まで同定できなかったものを示す。

注5）湖心部が複数あるダムは水深の深い地点を選定した。

注6）北海道のダムにおいて6月（春季）と8月（夏季）に調査を行っている場合は、8月調査を採用した。

ダム湖内における底生動物の確認状況＜6＞

（個体数/m²）

門	綱	目	科	和名	地方名	九州						沖縄						
					ダム名	下筌	松原	大山	寺内	嘉瀬川	竜門	辺野喜	普久川	安波	新川	福地	漢那	金武
					調査地点	筑下湖1	筑松湖1	筑大湖1	筑寺湖1	嘉嘉湖5	菊竜湖1	辺辺湖1	安普湖1	安安湖1	新新湖1	福福湖1	福漢湖2	億金湖5
					採集水深(m)	44.9	21.6	56.5	17	45.9	71.1	19.5	20.9	52.9	21.7	57.2	20.4	16.8
					透明度(m)	4.9	2.9	3.1	0.3	1.5	3.3	3.0	2.9	3.0	2.1	5.6	2.1	1.3
					泥温	19.6	19.9	10.8	21.4	18.0	12.1	19.1	18.3	17.3	19.1	17.0	27.2	26.0
					臭気	無	無臭	無	無	泥のにおい	植物性腐敗臭	無し	無し	無し	無し	弱硫化水素臭	硫化水素臭	微硫化水素臭
					学名 ／ 底質の性状	軟泥（ヘドロ）	砂	シルト	軟泥（ヘドロ）	シルト	シルト	その他	シルト	軟泥（ヘドロ）	軟泥（ヘドロ）	その他	シルト	その他
節足動物門	軟甲綱	ワラジムシ目	ミズムシ科（甲）	ミズムシ（甲）	*Asellus hilgendorfi hilgendorfi*													
	昆虫綱	ハエ目（双翅目）	ケヨソイカ科	フサカ属	*Chaoborus* sp.								30	15	30			
			ユスリカ科	ダンダラヒメユスリカ属	*Ablabesmyia* sp.													
				ユスリカ属	*Chironomus* sp.	59				15	89							
				セボリユスリカ属	*Glyptotendipes* sp.			15										
				ナガスネユスリカ属	*Micropsectra* sp.													
				トゲヤマユスリカ属	*Monodiamesa* sp.													
				カワリユスリカ属	*Paratendipes* sp.													
				ハモンユスリカ属	*Polypedilum* sp.	30												
				カユスリカ属	*Procladius* sp.	15							15					
				キザキユスリカ	*Sergentia kizakiensis*													
				アシマダラユスリカ属	*Stictochironomus* sp.													
				ヒゲユスリカ属	*Tanytarsus* sp.	59												
				ユスリカ科	Chironomidae													
			ミズアブ科	Chorisops属	*Chorisops* sp.				15									
苔虫動物門	被喉綱	ハネコケムシ目	ヒメテンコケムシ科	カンテンコケムシ	*Asajirella gelatinosa*							0	0		0			
				ヒメテンコケムシ	*Lophopodella carteri*		0								0			
			オオマリコケムシ科	オオマリコケムシ	*Pectinatella magnifica*													
合計個体数(個体数／m²)						1,980	1,348	204	2,038	228	1,791	42	87	88	103	406	198	148

注1) 集計に用いたデータは、ダム湖内での定量調査結果（15cm×15cmのエクマン・バージ型採泥器で3回採集）とし、本表では3回採集した合計値をm²換算した値を示した。

注2) 水深、透明度、臭気及び底質の性状は、定量調査時に同時に記録されたものである。

注3)「0」は個体数の計数が困難な芽球での出現を示す。

注4) 湖心部が複数あるダムは水深の深い地点を選定した。

注5) 北海道のダムにおいて6月（春季）と8月（夏季）に調査を行っている場合は、8月調査を採用した。

(2) 流入河川と下流河川における河川環境の評価

1) EPT 種数

・水生昆虫類（カゲロウ目・カワゲラ目・トビケラ目）の種数は下流河川よりも流入河川で多いことを確認

底生動物を用いた水質の良好さを表す方法のひとつである EPT 種数（E:カゲロウ目、P:カワゲラ目、T:トビケラ目の合計種数）を整理しました。

とりまとめ対象とした 38 ダムの流入河川と下流河川で EPT 種数を比較すると、下流河川よりも流入河川の EPT 種数が多い傾向がみられました。

カゲロウ目、カワゲラ目及びトビケラ目は、渓流等砂礫底の河川に生息する代表的な水生昆虫類です。これらの多くは水質汚濁に弱いことから、カゲロウ目(E)、カワゲラ目(P)及びトビケラ目(T)の合計種数（EPT 種数＝EPT 種類数, Wallace *et al.* (1996)[*1]）が、水質の良好さを表す指標のひとつとして用いられています。

令和 5 年度に調査を行った 42 ダムについて、流入河川及び下流河川の EPT 種数を比較した結果、流入河川や下流河川で調査を行っていない宇奈月ダム、下筌ダム、巨勢川調整池、金武ダムの 4 ダムを除いた 38 ダムのうち、33 ダムで流入河川の EPT 種数が下流河川より多くなっていました。これは、ダムの上流側が良好な水質であった可能性を示唆しています。これに対し、残りの 5 ダムでは、EPT 種数が流入河川と下流河川が同じ、または流入河川よりも下流河川で高くなっていました。流入河川と比較して下流河川の EPT 種数が特に高かったのは月山ダムで、カゲロウ目・カワゲラ目・トビケラ目の種組成を確認すると、流入河川はウェストントビイロカゲロウやキイロヒラタカゲロウ、マルバネトビケラ属など源流域や、上流域の礫環境を好む種類が多い傾向にありましたが、下流河川ではこれらの種類に加えて、エラブタマダラカゲロウやヒメシロカゲロウ属、ヒゲナガトビケラ属、クサツミトビケラ属など、やや緩流域に生息する種類も確認されました。これは、下流河川において水質に大きな変化はなかったものの、勾配の緩い箇所が増え、河床材料等にも変化が生じ、生息環境が多様になったことで、EPT 種数が増加した可能性が考えられました。

下流河川において 2 地点以上で調査を実施していた忠別ダム、桂沢ダム、白川ダム等 15 ダムについて、流入河川と下流河川の EPT 種数を比較すると、宮ヶ瀬ダムや日吉ダムなどの 9 ダムにおいて、ダム直下の地点（下流 1）で少なくなった EPT 種数が、その下流地点（下流 2）で回復する傾向がみられました。これらのダムでは、より下流の調査地点が支川との合流点の下流に設定されており、支川からの土砂や生物の供給によって種数が増加していた可能性があります。

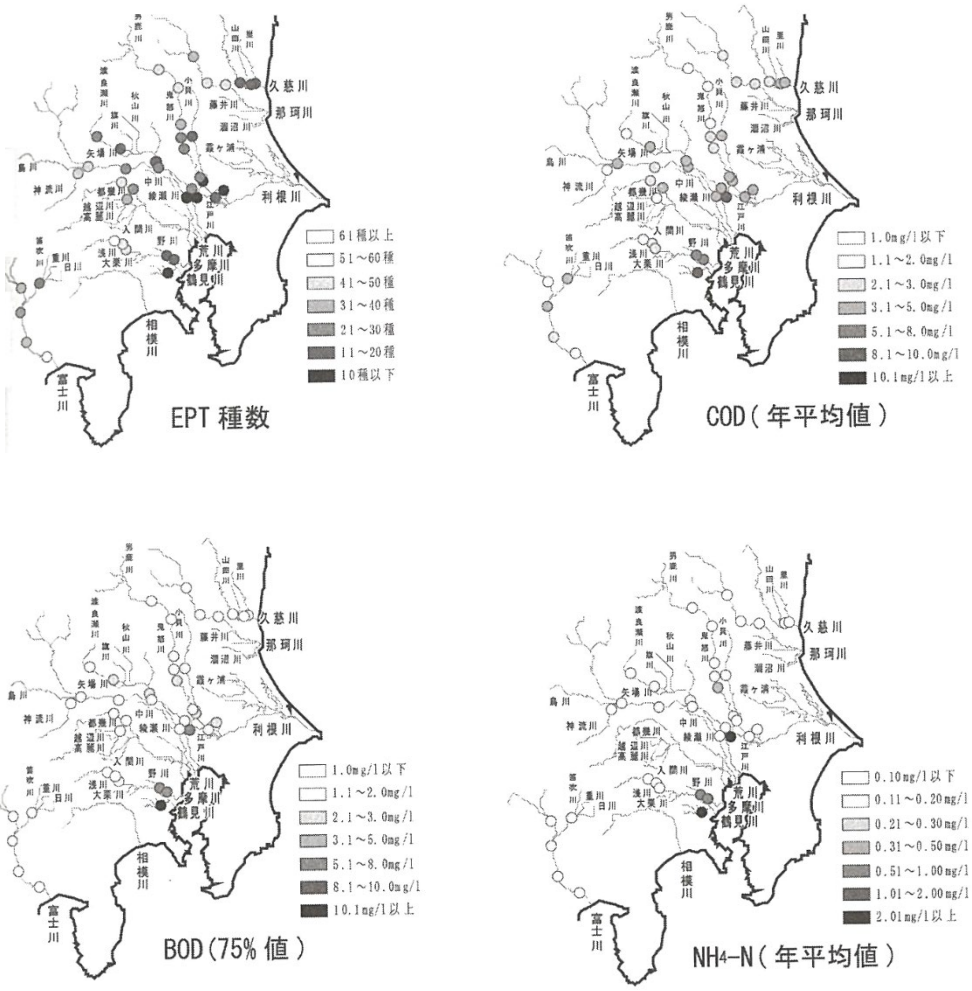
この他、流入河川と下流河川の EPT 種数を用いて、Sørensen(1948)[*2]による類似係数 QS を算出しました。QS は 0 から 1 の間をとり、1 に近づくほど EPT 種数の構成種が共通であることを示します。桂沢ダム、豊平峡ダム、日吉ダム、室生ダム、布目ダム、松原ダム、竜門ダム及び普久川ダムの 8 ダムでは、類似係数 QS が 0.8 程度と比較的大きく、EPT 種数からみて、流入河川と下流河川の環境が類似していると考えられました。一方で、類似係数が 0.5 以下と比較的小さい天ケ瀬ダムや高山ダム、漢那ダムでは、流入河川と下流河川の環境が異なると考えられます。なお、天ケ瀬ダムは造網性トビケラの個体数密度が非常に高くなっており、下流河川において粗粒化が進んでいた可能性があります。高山ダムは流入河川において流水性の底生動物が多く確認されていましたが、下流河川においてはこれらの種数が大幅に減少し、緩流部や止水域に生息する底生動物が多く確認されました。高山ダムの約 1.5km 下流には大河原取水堰が

あり、この影響で河川の大部分が湛水していたことが要因と考えられました。漢那ダムについては、下流河川の大部分が汽水域であったことが主な要因と考えられました。

「EPT 種数」

カゲロウ目(E)、カワゲラ目(P)、トビケラ目(T)は、渓流等砂礫底の河川を代表する水生昆虫類であり、これらの多くは水質汚濁に対して弱いことから、水質の良好さを表す指標のひとつとして用いられています。EPT 種数の他、個体数やバイオマスなど量的評価のパラメータとして EPT の個体数出現率、EPT/ユスリカの出現比率、EPT/ユスリカ個体数比率なども用いられています。

関東地方の河川における EPT 種数と水質をランクごとに色分けして図化した例が以下の図になります。上流域をみると、水質によるランク分けでは相違が見えませんが、EPT 種数ではランクが異なっており、水質環境の判定への生物指標の有効性がうかがえます。



（引用：谷田一三 編(2010)）*3

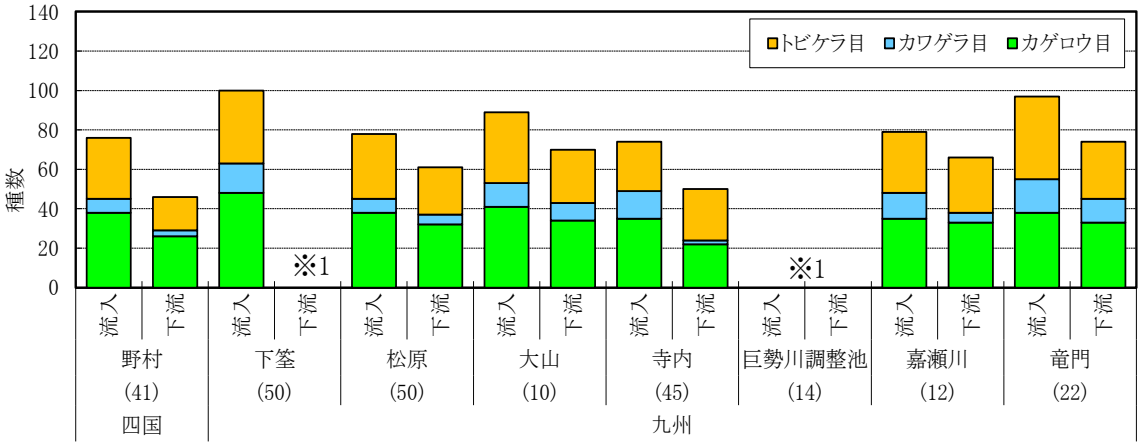
参考文献：*1. J. Bruce Wallace, Jack W. Grubaugh and Matt R. Whiles (1996) Biotic Indices and Stream Ecosystem Processes: Results from an Experimental Study. Ecological Applications, 6(1) pp.140-151.

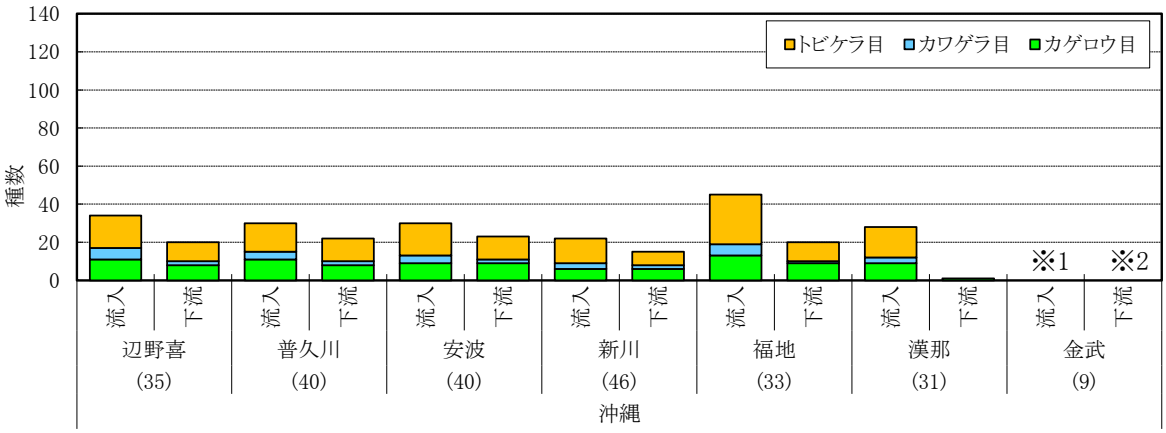
*2. Sorenson, T. (1948) A Method of Establishing Groups of Equal Amplitudes in Plant Sociology Based on Similarity of Species Content and Its Application to Analyses of the Vegetation on Danish Commons. Kongelige Danske Videnskabernes Selskab, Biologiske Skrifter, 5, 1-34.

*3. 谷田一三 編(2010) 河川環境の指標生物学. 北隆館.

※1 宇奈月ダムでは下流河川で調査を行っていない。
※2 ( )内はダム建設後の年数を示す。
※3 定量調査及び定性調査で確認された全ての EPT を対象に集計をしたものである。

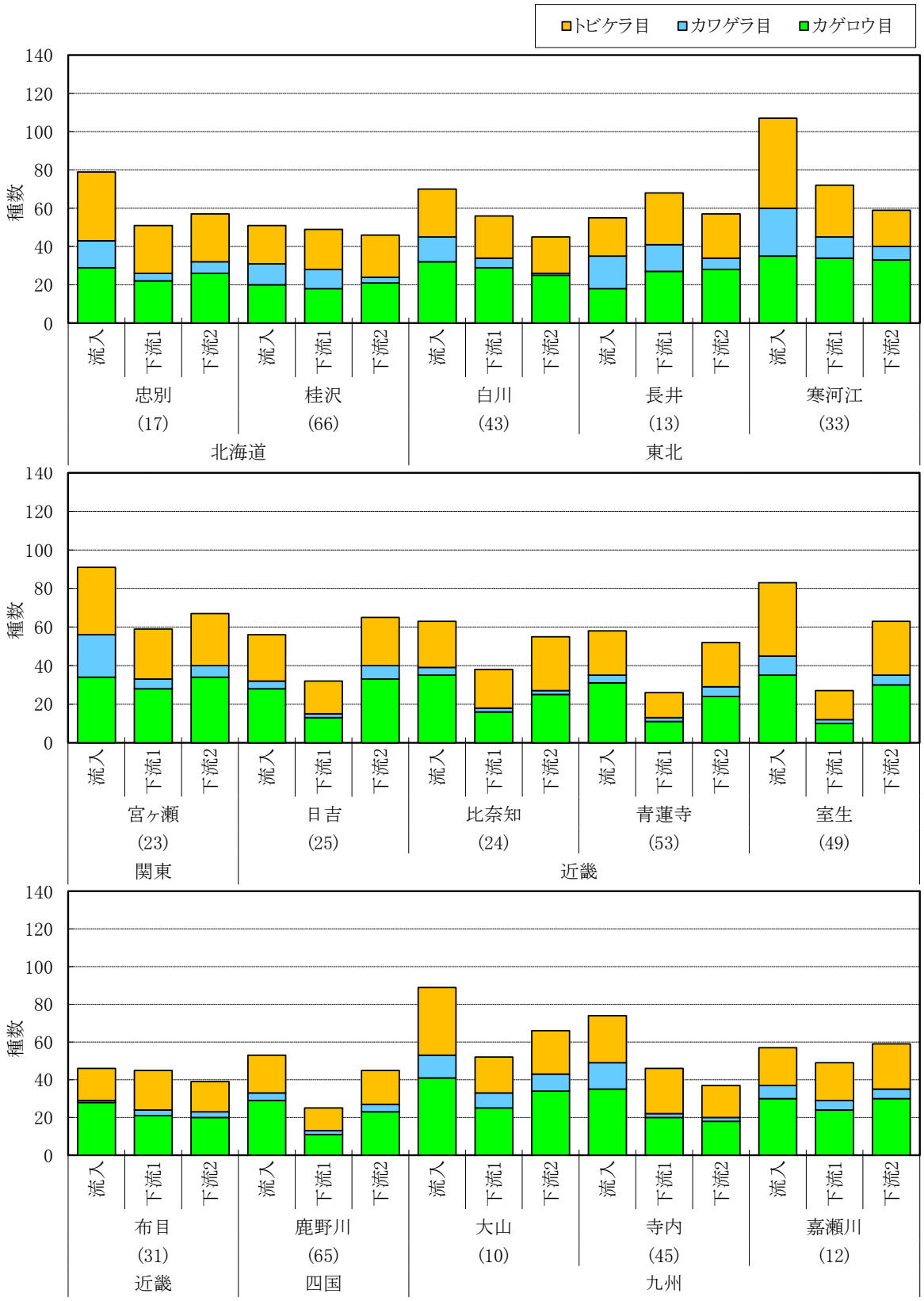
流入河川と下流河川におけるカゲロウ目、カワゲラ目及びトビケラ目の種組成<1>





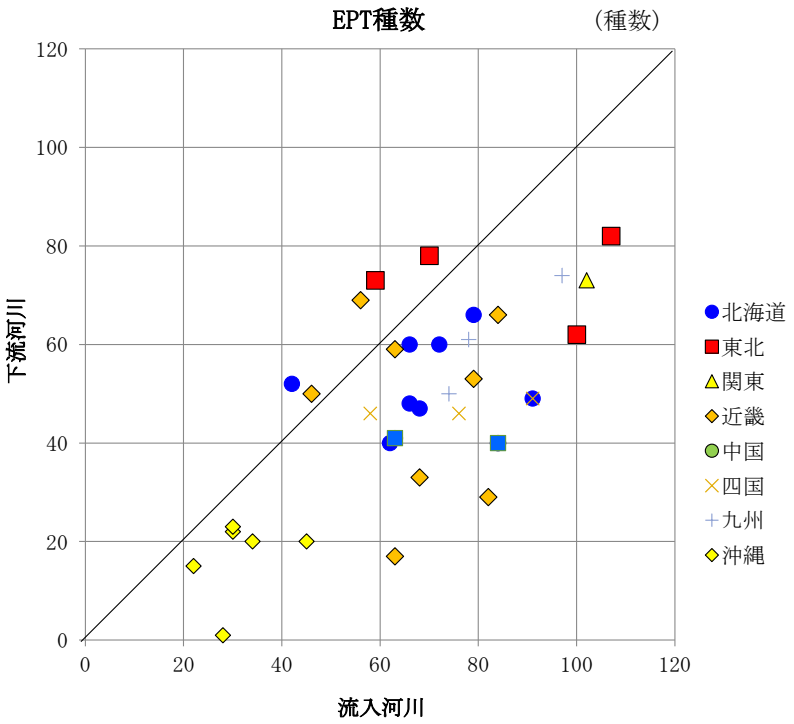
※1 下筌ダムでは下流河川で、巨勢川調整池では流入河川及び下流河川で、金武ダムでは流入河川で調査を行っていない。
※2 金武ダムの下流河川は汽水域で、カゲロウ目、カワゲラ目、トビケラ目は採集されなかった。
※3 ( )内はダム建設後の年数を示す。
※4 定量調査及び定性調査で確認された全てのEPTを対象に集計をしたものである。

流入河川と下流河川におけるカゲロウ目、カワゲラ目及びトビケラ目の種組成＜2＞



※1 （ ）内はダム建設後の年数を示す。
※2 定量調査及び定性調査で確認された全ての EPT を対象に集計をしたものである。
※3 下流河川の調査地点 2 地点のうち、下流 1 がダムサイト側、下流 2 がより下流側の地点である。

流入河川と下流河川におけるカゲロウ目、カワゲラ目及びトビケラ目の種組成
（下流河川 2 地点）



※宇奈月ダム、下筌ダム、巨勢川調整池、金武ダムでは流入河川や下流河川、またはその両方で調査を行っていないため、本データには含めていない。

流入河川と下流河川における EPT 種数の比較

流入河川と下流河川の類似係数 QS（カゲロウ目、カワゲラ目、トビケラ目）

地方	北海道								
ダム名	大雪	忠別	金山	滝里	桂沢	漁川	豊平峡	定山渓	夕張シューパロ
類似係数QS	0.66	0.69	0.61	0.54	0.84	0.53	0.82	0.70	0.71

地方	東北				関東	北陸	近畿		
ダム名	白川	長井	寒河江	月山	宮ヶ瀬	宇奈月	天ケ瀬	日吉	比奈知
類似係数QS	0.60	0.54	0.70	0.73	0.58	-	0.50	0.78	0.70

地方	四国			九州					
ダム名	高山	青蓮寺	室生	布目	一庫	殿	島地川	石手川	鹿野川
類似係数QS	0.40	0.65	0.79	0.77	0.61	0.63	0.56	0.63	0.67

地方	沖縄							
ダム名	野村	下筌	松原	大山	寺内	巨勢川調整池	嘉瀬川	竜門
類似係数QS	0.70	-	0.81	0.72	0.61	-	0.74	0.77

地方	沖縄						
ダム名	辺野喜	普久川	安波	新川	福地	漢那	金武
類似係数QS	0.74	0.77	0.72	0.59	0.55	0.07	-

※1 類似係数 QS=2c/(a+b)
a=流入河川での EPT 種数、b=下流河川での EPT 種数、c=流入河川、下流河川での共通の EPT 種数
※2 宇奈月ダム及び下筌ダムでは下流河川で、巨勢川調整池では流入河川及び下流河川で調査を行っていない。
※3 金武ダムの下流河川は汽水域で、カゲロウ目、カワゲラ目、トビケラ目は採集されなかった。
※4 定量調査及び定性調査で確認された全ての EPT を対象に集計をしたものである。

2）造網性トビケラの種数、個体数

・多くのダムで、造網性トビケラの個体数が流入河川より下流河川で多くなることを確認

とりまとめ対象とした 38 ダムの流入河川と下流河川において、造網性トビケラの種数と個体数を比較したところ、種数はダムの流入河川で多い傾向にあり、個体数はダムの下流河川において多い傾向にあることがわかりました。一部のダムでは、下流河川で個体数の大幅な増加がみられました。

造網性トビケラは、河床が比較的安定した場所の石の下や隙間に絹糸様物質による網を張って生息しています。そのため、流況の平滑化等によってダム下流側で河床低下や粗粒化が起こった場合に、これら造網性トビケラが、ダムの上流側よりも下流側で多くなることが考えられます。

令和 5 年度に調査を行った 42 ダムについて、流入河川及び下流河川における造網性トビケラの種数及び個体数を比較しました。なお、宇奈月ダム、下筌ダム、巨勢川調整池、金武ダムでは流入河川や下流河川、もしくはその両方において調査を行っていないため、比較は 38 ダムを対象としました。

流入河川と下流河川における造網性トビケラの種数を比較すると、流入河川で種数が多いダムが 23 ダム、同じダムが 7 ダム、下流河川で多いダムが 8 ダムで、流入河川が多い傾向にありました。下流河川においてトビケラの種類数が減少したダムでは、アミメシマトビケラ亜科に属する種類や、ミヤマシマトビケラ属、シロズシマトビケラ、オオヤマシマトビケラ等が確認されなくなる傾向にあり、沖縄ではサワシマトビケラ属が確認されなくなる傾向にありました。また、下流河川で種類数が増加したダムでは、コガタシマトビケラやエチゴシマトビケラ、チャバネヒゲナガカワトビケラ等が流入河川では確認されず、下流河川でのみ確認されていました。

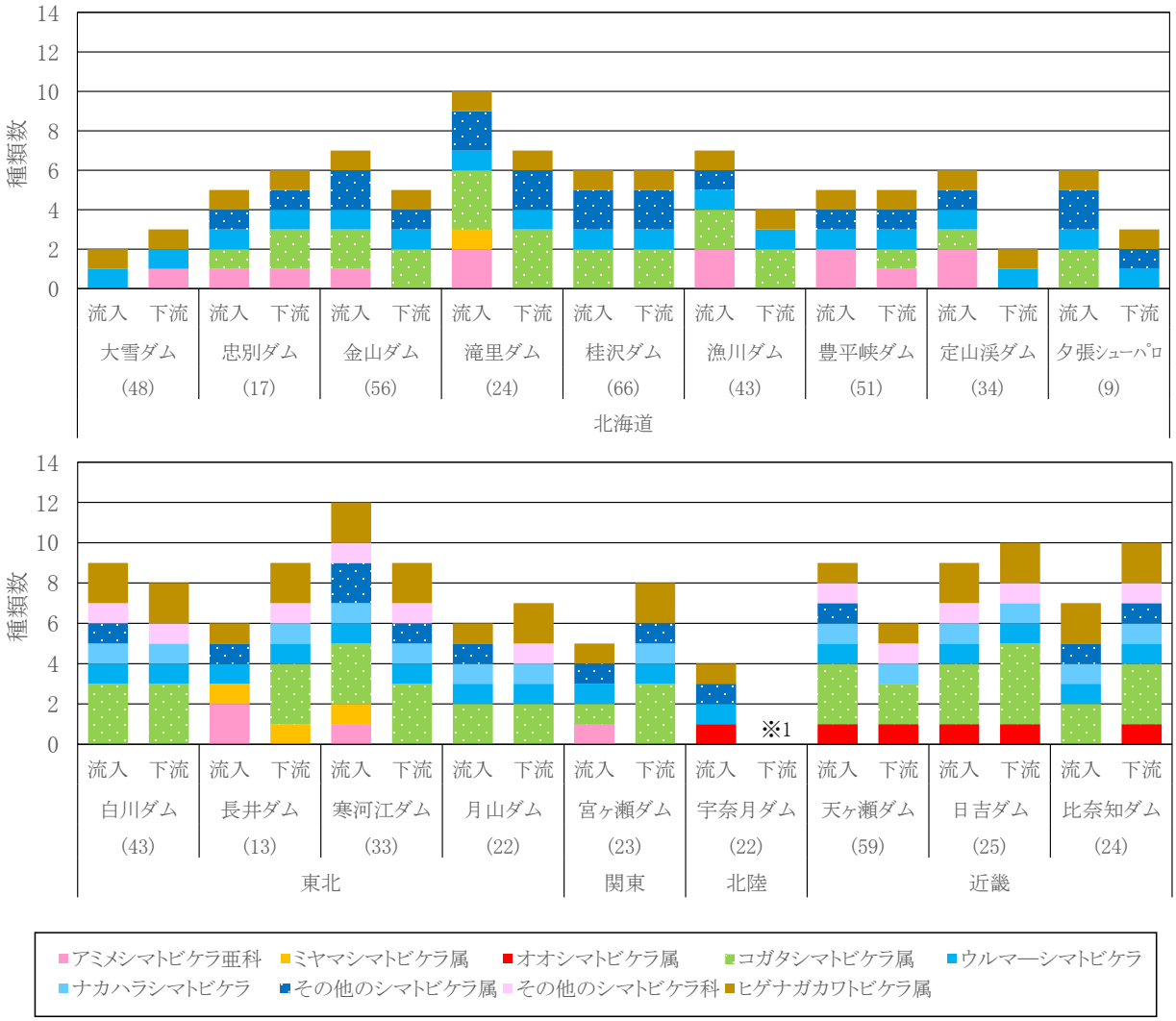
流入河川と下流河川における造網性トビケラの個体数を比較すると、流入河川で個体数が多いダムが 7 ダム、同じダムは 0 ダム、下流河川で多いダムが 31 ダムで、下流河川が多い傾向にありました。特に下流河川で個体数が多かった漁川ダムでは、上流河川における個体数が 873 個体/m^2 であったのに対し、下流河川の個体数が 15,803 個体/m^2 と 18 倍以上に増加しており、単位面積当たりの個体数も非常に高密度になっていました。

下流河川において 2 地点以上で調査を実施していた、忠別ダム、桂沢ダム、白川ダム等 15 ダムについて、地点別に造網性トビケラの個体数を比較しました。この結果、忠別ダム、宮ヶ瀬ダム、日吉ダム、比奈知ダム、室生ダム、布目ダム、大山ダム及び嘉瀬川ダムの 8 ダムでは、下流河川の上流側に位置する調査地点（下流 1）で造網性トビケラが増加し、その下流（下流 2）で減少していました。これはダムの存在によって、流量の安定化や、動植物プランクトン等懸濁態有機物の増加、粗粒化等が生じて造網性トビケラが増加したものの、更に下流の地点において支川等の影響により環境に変化が生じ、ダムからの影響が緩和した可能性が考えられます。これらのダムにおいて、流入河川及び下流河川（下流 1、下流 2）の地点写真を比較しましたが、造網性トビケラの増加による粗粒化等の環境変化の状況についてはわかりませんでした。

なお、天ケ瀬ダム及び瀬田川、宇治川におけるトビケラ群集の調査研究から、ダム下流河川において、造網性トビケラであるオオシマトビケラが植物プランクトンを、同じく造網性トビケラであるナカハラシマトビケラが動植物プランクトンを摂食している可能性が示唆されています（小林ら， 2017）[*1]。今回、オオシマトビケラとナカハラシマトビケラの両種が分布し

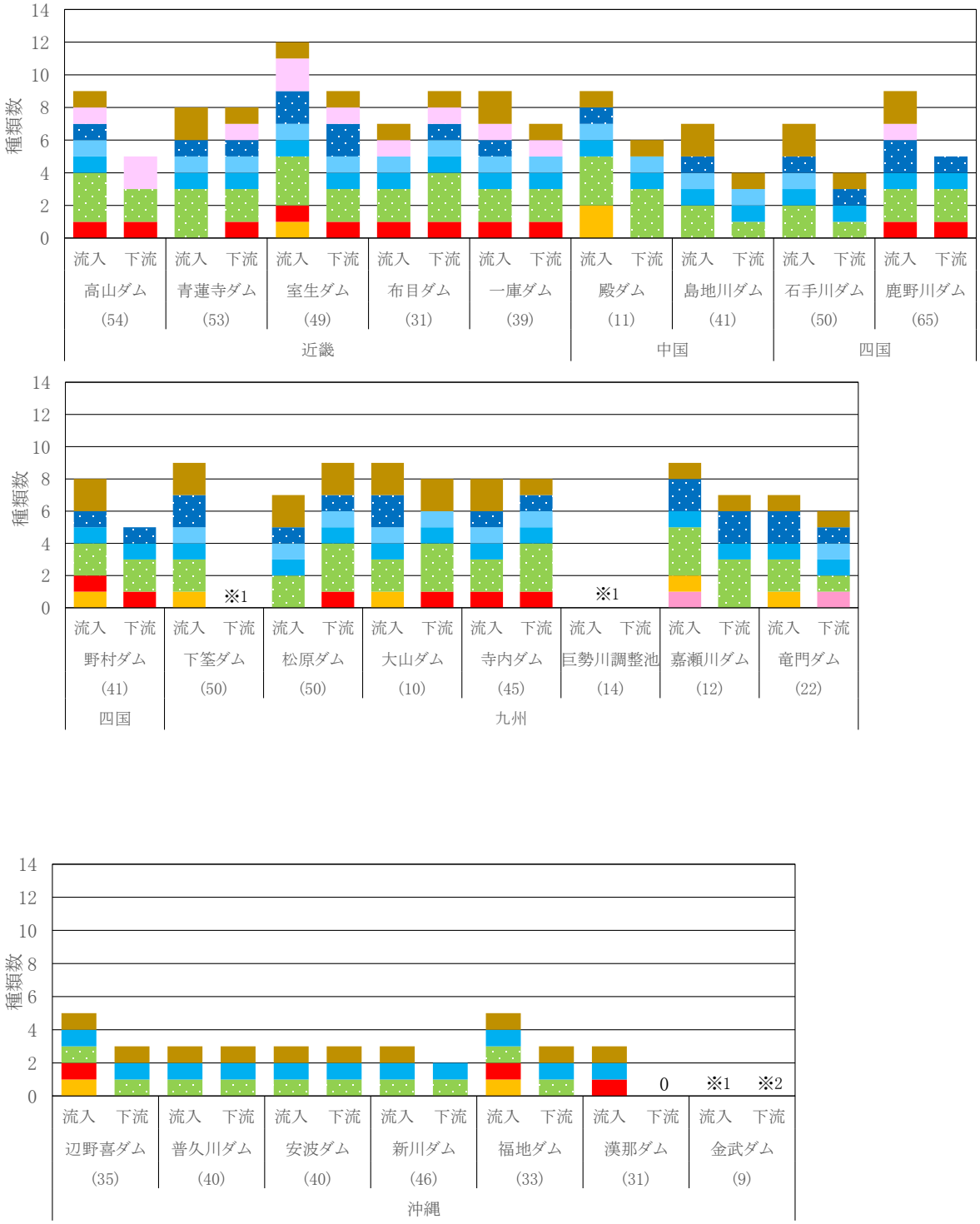
*1 小林草平・野崎隆夫・竹門康弘，2017．琵琶湖の流出河川，瀬田-宇治川のトビケラ群集．日本生態学会誌，67：13-

ている本州、四国、九州のダム、かつ流入河川と下流河川で調査を行っているダムの 24 ダムを対象に、流入河川と下流河川におけるオオシマトビケラとナカハラシマトビケラの個体数密度及び、造網性トビケラにおける両種の個体数比率について確認を行いました。オオシマトビケラとナカハラシマトビケラの個体数比率が高かったダム（造網性トビケラ個体数の 50%以上）は、天ケ瀬ダム、日吉ダム、青蓮寺ダム、室生ダムで、すべてのダムにおいて流入河川よりも下流河川で比率が高くなっていました。これらのダムにおいてはダム湖内で増加した動植物プランクトンが下流河川に流下し、オオシマトビケラやナカハラシマトビケラがこれを餌料として利用している可能性があります。天ケ瀬ダムについては流入河川においてもオオシマトビケラとナカハラシマトビケラの個体数比率が高い傾向にありましたが、これは上流に琵琶湖があることや瀬田川洗堰があることが影響している可能性があります。両種の個体数密度を確認すると、オオシマトビケラは日吉ダム、室生ダム、布目ダムで、ナカハラシマトビケラは宮ヶ瀬ダムと天ケ瀬ダムで高い傾向にありました。



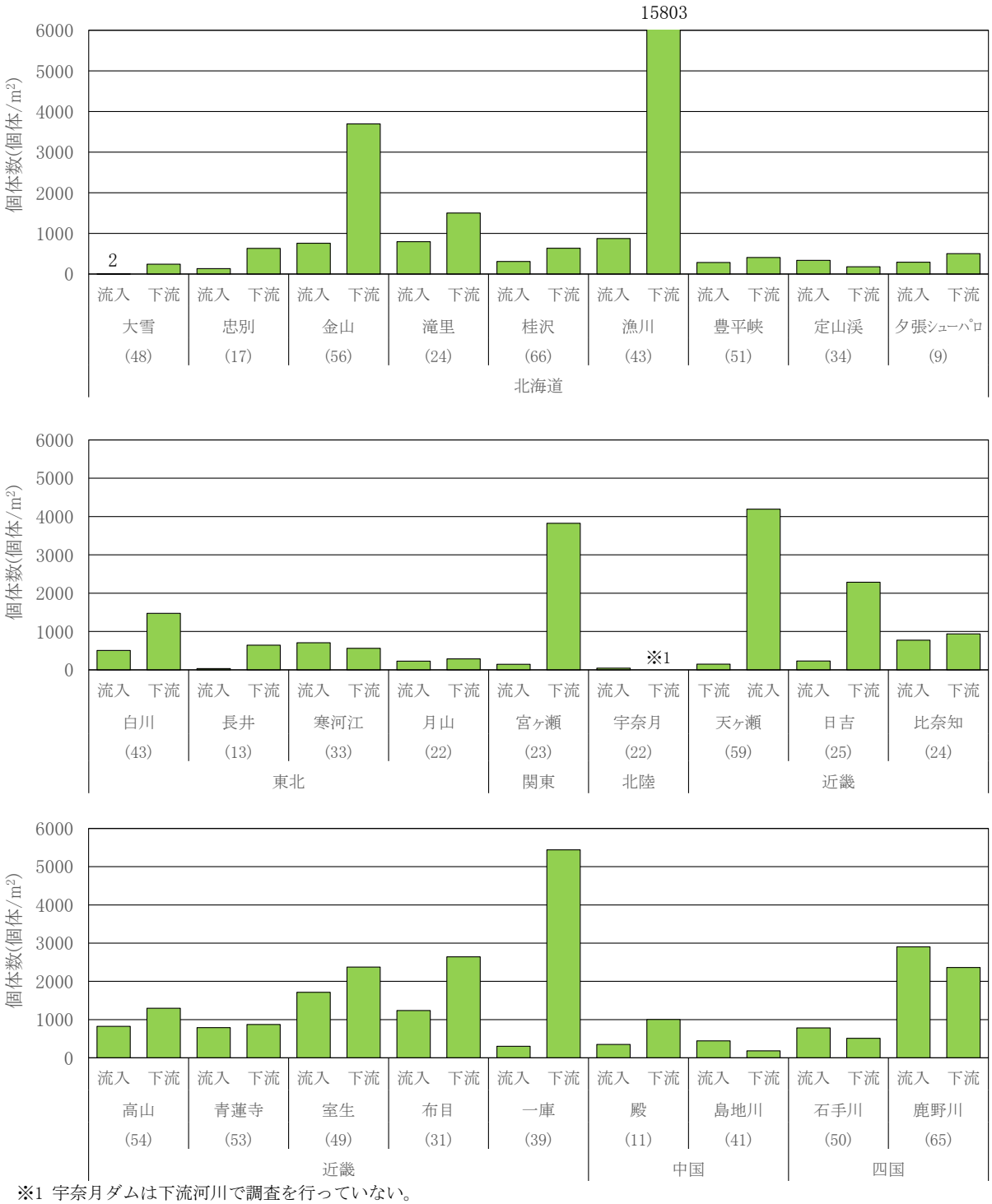
※1 宇奈月ダムは下流河川で調査を行っていない。
※2 種数は定量調査と定性調査を合わせた種数を示す。

流入河川と下流河川における造網性トビケラの種数＜1＞



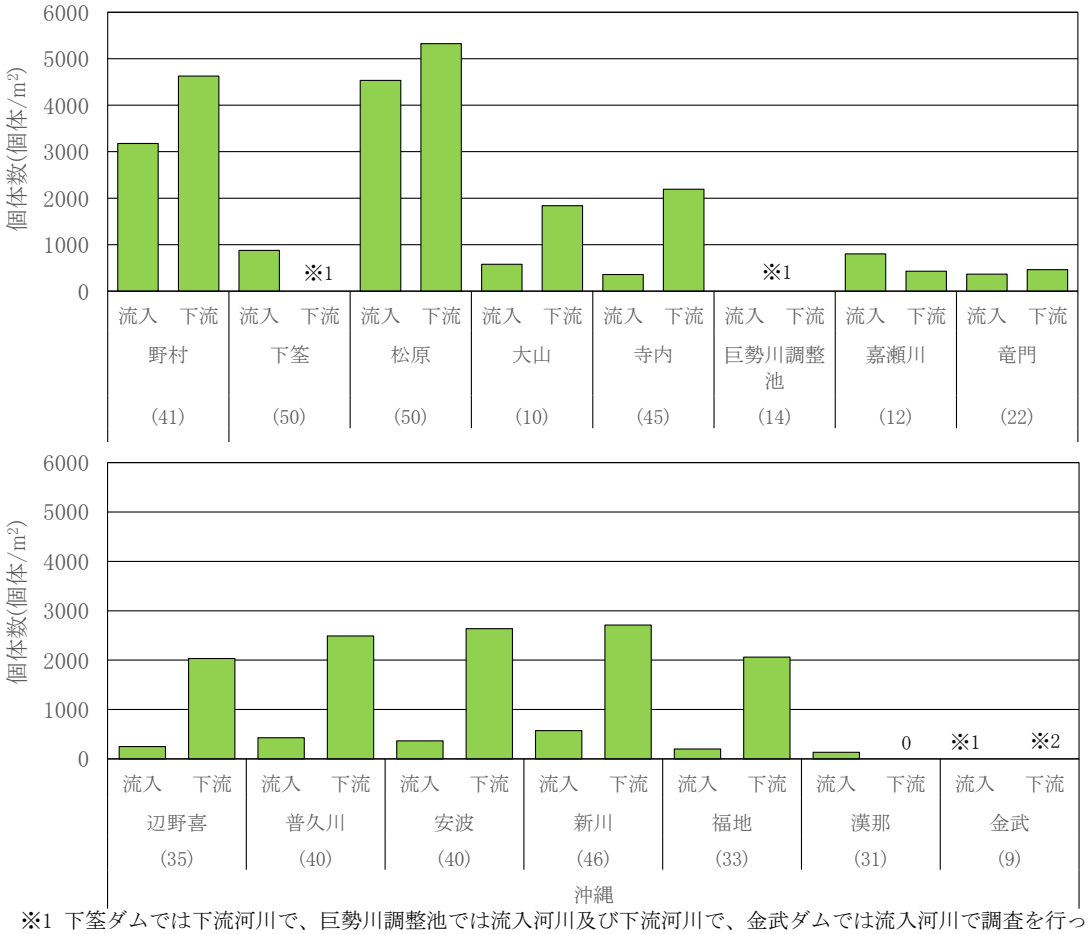
※1 下筌ダムでは下流河川で、巨勢川調整池では流入河川及び下流河川で、金武ダムでは流入河川で調査を行っていない。
※2 金武ダムの下流河川は汽水域で、トビケラ目は採集されなかった。
※3 種数は定量調査と定性調査を合わせた種数を示す。

流入河川と下流河川における造網性トビケラの種数＜2＞



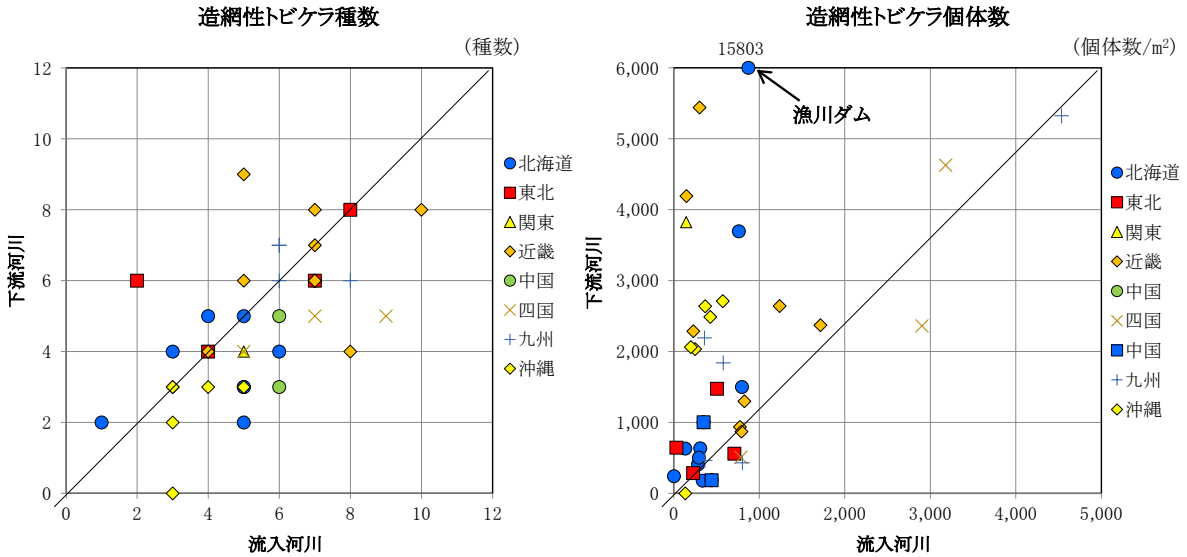
※1 宇奈月ダムは下流河川で調査を行っていない。
※2 集計は定量調査の個体数を用いた。
※3 1季1地点あたりの個体数密度（m²）を示す。

流入河川と下流河川における造網性トビケラの個体数＜1＞



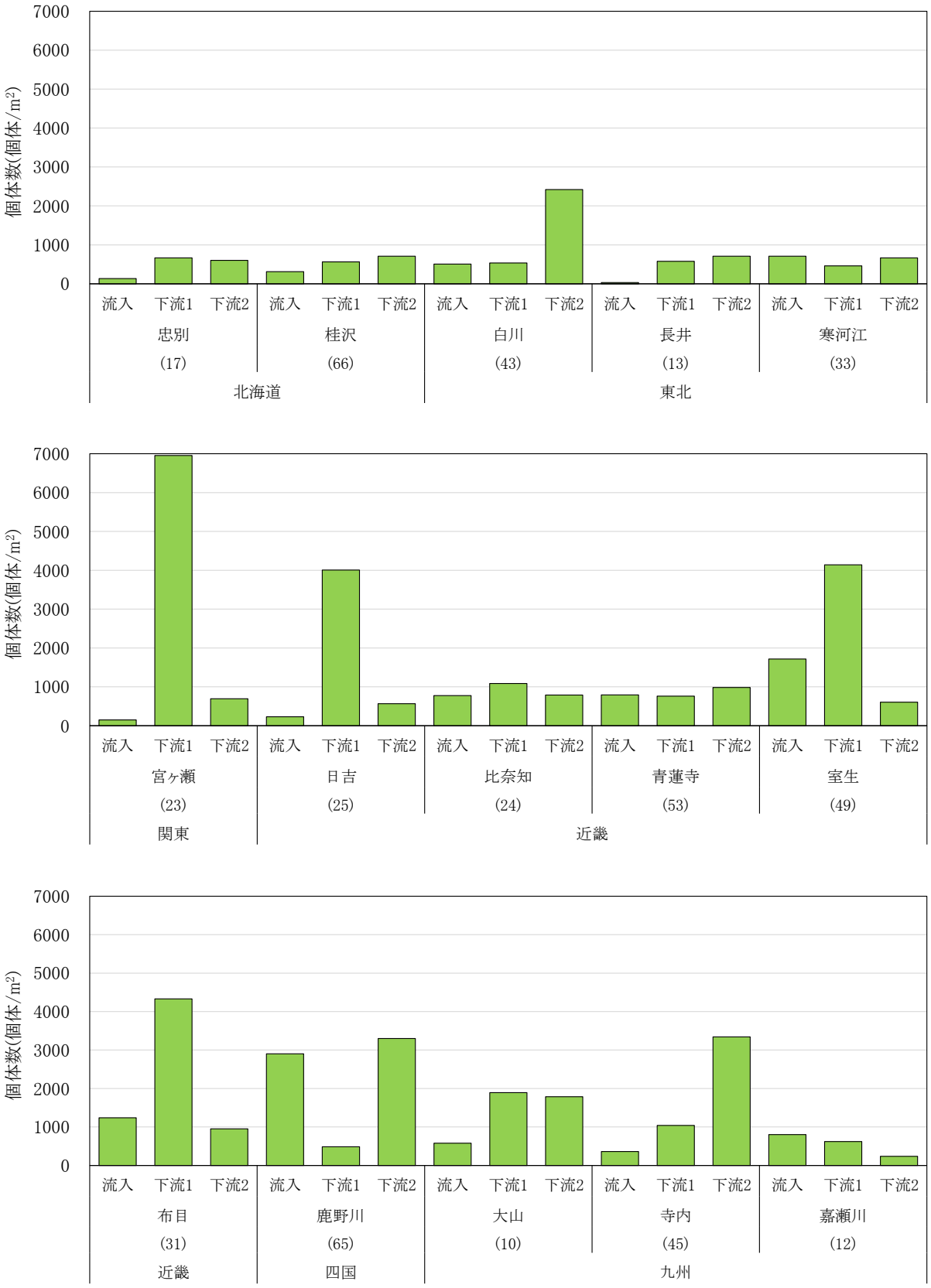
※1 下筌ダムでは下流河川で、巨勢川調整池では流入河川及び下流河川で、金武ダムでは流入河川で調査を行っていない。
※2 金武ダムの下流河川は汽水域で、トビケラ目は採集されなかった。
※3 集計は定量調査の個体数を用いた。
※4 1季1地点あたりの個体数密度（m²）を示す。

流入河川と下流河川における造網性トビケラの個体数<2>



※1 宇奈月ダムと下筌ダムでは下流河川で、巨勢川調整池では流入河川及び下流河川で、金武ダムでは流入河川で調査を行っていない。
※2 種数は定量調査と定性調査を合わせた種数、個体数は定量調査のみの個体数を示す。

流入河川と下流河川における造網性トビケラの種数及び個体数の比較



※1 集計は定量調査の個体数を用いた。
※2 下流河川の調査地点 2 地点のうち、下流 1 がダムサイト側、下流 2 がより下流側の地点である。

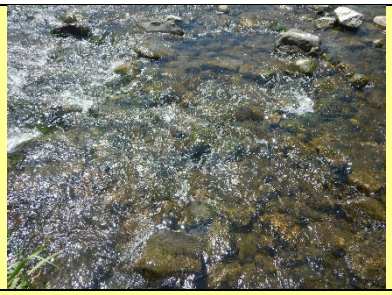
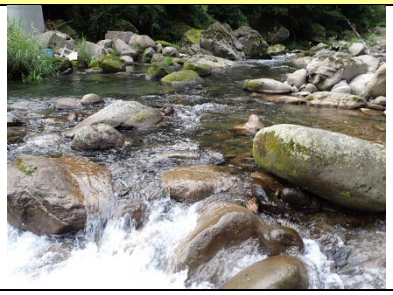
流入河川と下流河川における造網性トビケラの個体数（下流河川 2 地点以上）

白川ダム			
	流入	下流１　堤体から約 2.7km	下流２　堤体から約 18.4km
宮ヶ瀬ダム			
	流入	下流１　堤体から約 1.5km	下流２　堤体から約 13km
日吉ダム			
	流入	下流１　堤体から約 0.3km	下流２　堤体から約 2.3m
比奈知ダム			
	流入	下流１　堤体から約 0.2km	下流２　堤体から約 1.2km
室生ダム			
	流入	下流１　堤体から約 0.7km	下流２　堤体から約 1.0km

※1 本検討では、造網性トビケラの個体数密度が 1000 個体/m^2 以上を記録した河川を高密度とした。

※2 造網性トビケラの個体数密度が 1000 個体/m^2 以上を越えた地点を黄色セルで示した。

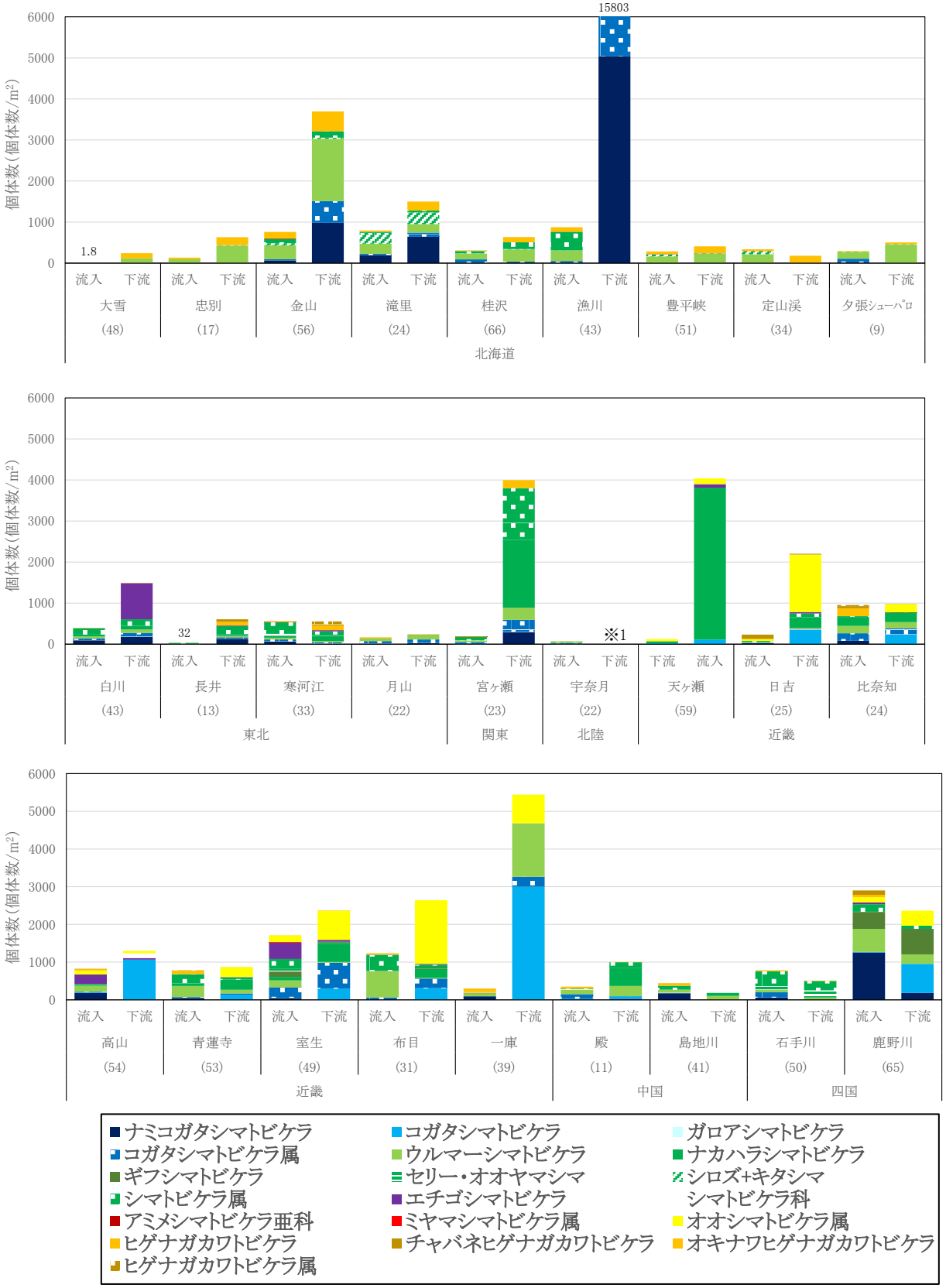
ダム下流の 2 地点以上で調査を実施、かつ造網性トビケラの個体数密度が高い
流入河川及び下流河川の状況＜1＞

布目ダム			
	流入	下流１　堤体から約 0.5km	下流２　堤体から約 1.0km
鹿野川ダム			
	流入	下流１　堤体から約 0.2km	下流２　堤体から約 1.7km
大山ダム			
	流入	下流１　堤体から約 1.0km	下流２　堤体から約 1.9km
寺内ダム			
	流入	下流１　堤体から約 0.7km	下流２　堤体から約 5.7km

※1 本検討では、造網性トビケラの個体数密度が 1000 個体/m^2 以上を記録した河川を高密度とした。

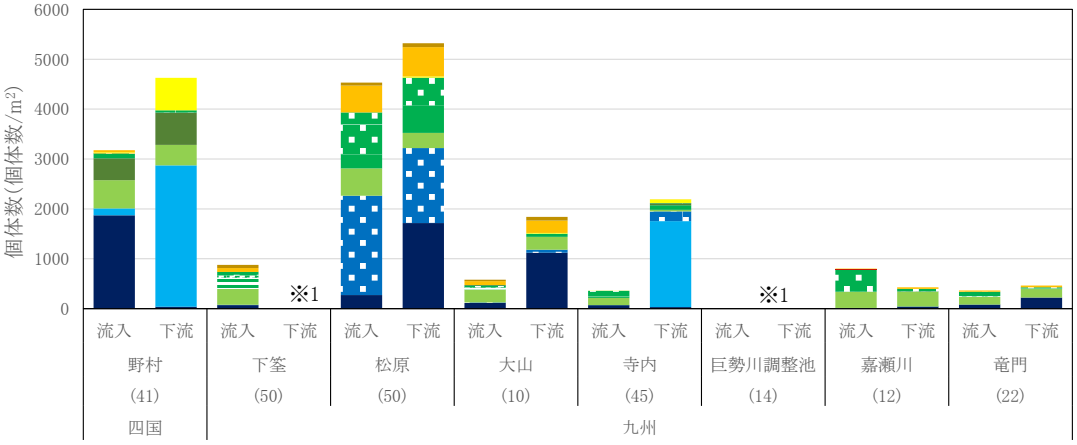
※2 造網性トビケラの個体数密度が 1000 個体/m^2 以上を越えた地点を黄色セルで示した。

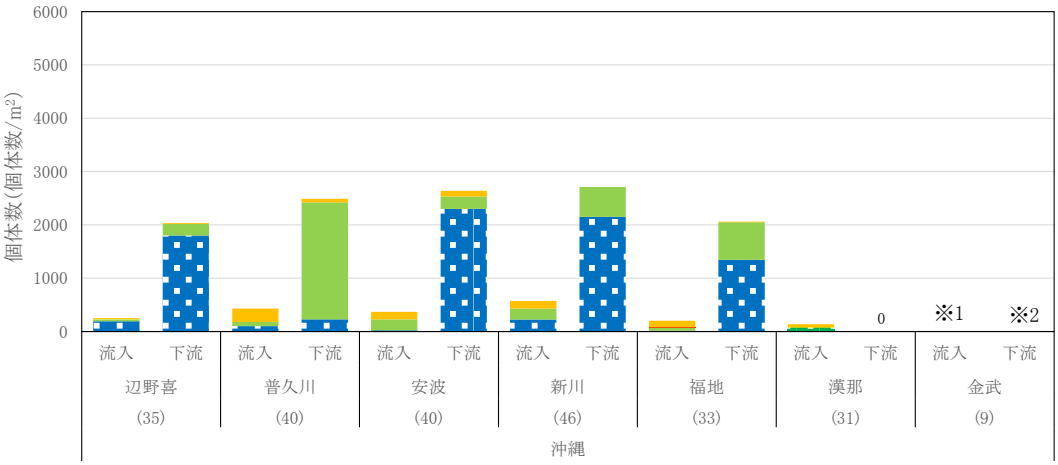
ダム下流の 2 地点以上で調査を実施、かつ造網性トビケラの個体数密度が高い流入河川及び下流河川の状況＜2＞

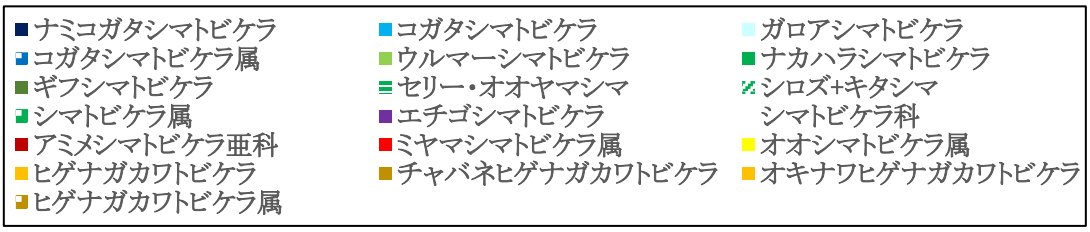


※1 宇奈月ダムは下流河川で調査を行っていない。
※2 集計は定量調査の個体数を用いた。
※3 1季1地点あたりの個体数密度（m²）を示す。

ダム上下流における造網性トビケラ各種の個体数密度<1>

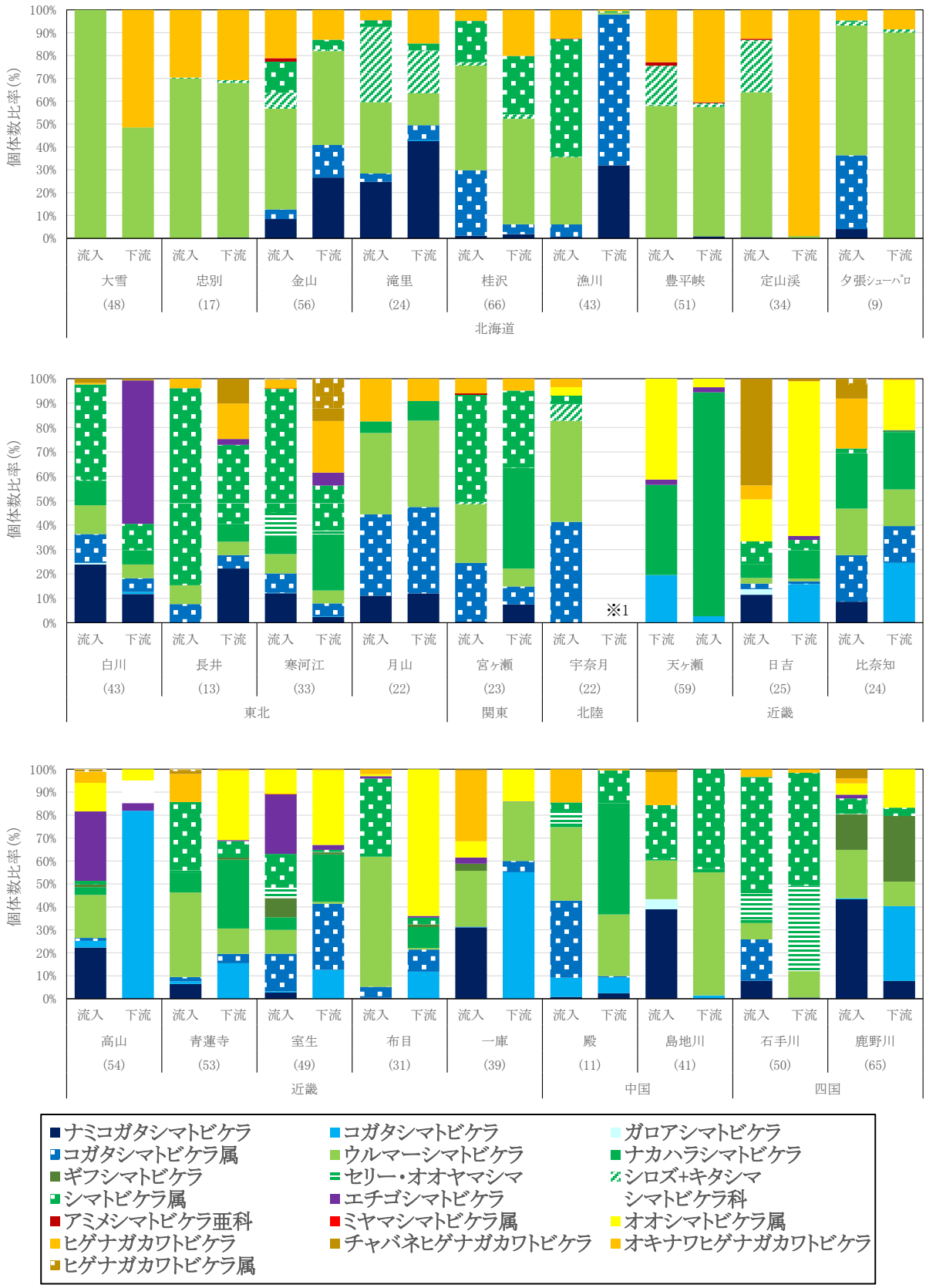






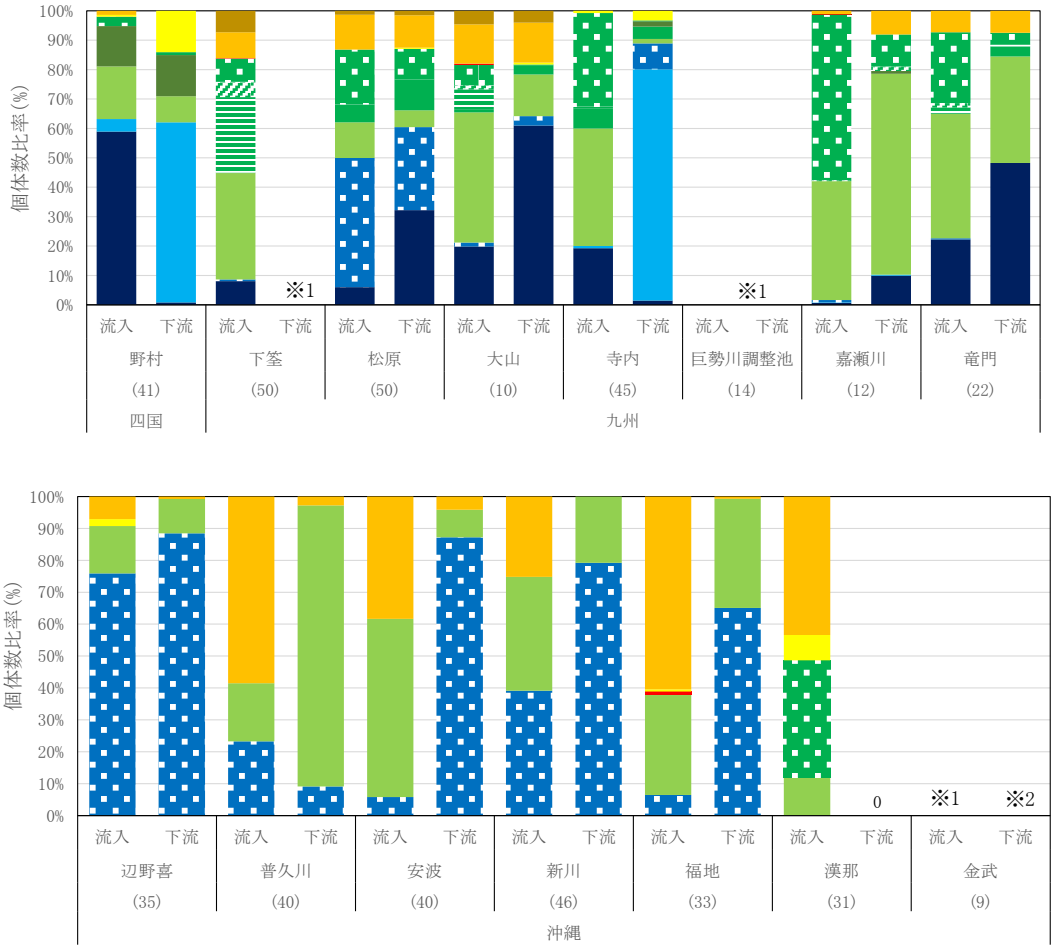
※1 下筌ダムでは下流河川で、巨勢川調整池では流入河川及び下流河川で、金武ダムでは流入河川で調査を行っていない。
※2 金武ダムの下流河川は汽水域で、トビケラ目は採集されなかった。
※3 集計は定量調査の個体数を用いた。
※4 1季1地点あたりの個体数密度（m²）を示す。

ダム上下流における造網性トビケラ各種の個体数密度＜2＞



※1 宇奈月ダムは下流河川で調査を行っていない。
※2 集計は定量調査で得られた個体数密度を用いた。

ダム上下流における造網性トビケラ各種の個体数比率＜1＞



※1 下筌ダムでは下流河川で、巨勢川調整池では流入河川及び下流河川で、金武ダムでは流入河川で調査を行っていない。
※2 金武ダムの下流河川は汽水域で、トビケラ目は採集されなかった。
※3 集計は定量調査の個体数を用いた。
※4 1季1地点あたりの個体数密度（m^2）を示す。

ダム上下流における造網性トビケラ各種の個体数比率＜2＞

(3) 新しい環境の生物相

ダムでは、建設に伴い地形の改変が行われます。一方、ダム堤体や周辺道路等の建設によって改変・消失した環境の代償として、生物の生息・生育環境の創出等が行われています。河川水辺の国勢調査における4巡目の調査からは、ダムによって作られた新しい環境である地形改変箇所（ダム建設に伴う一般的な地形改変箇所としては、貯水池、ダム堤体のほか、原石採取跡地、建設発生土受入地、大規模な掘削法面等があります）や環境創出箇所（生物の生息・生育環境を創出する目的で整備されたビオトープ等）に調査地区を設定し、環境への影響、又はその効果を検証するため、生物の生息・生育状況について確認することにしています。ここでは、その調査結果を整理しました。

今回とりまとめ対象の地形改変箇所及び環境創出箇所

	ダム名	整備箇所	ダム管理開始年	S55	～	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	ダム管理開始からの年数
環境創出箇所	忠別ダム	フクロウ池及び水路	H19(2007)※2																■																			16年
	漁川ダム	ダム湖環境創出箇所	S55(1980)※2,3	■																																		43年
	巨勢川調整池	造成水路	H21(2009)																				■															14年
	嘉瀬川ダム	音無地区	H24(2012)													■																						11年
	漢那ダム	第二貯水池	H5(1993)			■																																30年

※1 緑色のマス■は、環境創出箇所が整備された年を示す。
※2 環境創出箇所の管理開始時期について情報が得られなかった。
※3 H15-17に整備箇所の緑化整備を行っており、この前後が環境創出箇所の管理開始の可能性がある。
※4 今回とりまとめ対象のダムに地形改変箇所はない。

1）環境創出箇所における確認状況

・環境創出箇所で重要種を確認

ダム建設に伴い整備された、ビオトープ等の環境創出箇所における底生動物の確認状況を整理しました。環境創出箇所での調査が行われたのは5ダムでした。

今回調査が行われたダムの環境創出箇所は水路やビオトープ、湿地で、計5門8綱23目91科240種の底生動物が確認されました。このうちゲンゴロウなどを含めた25種が、種の保存法の指定種や、環境省レッドリストの掲載種であり、環境創出箇所が貴重な種を含む多様な底生動物の生息環境として有効に機能していると考えられました。国外外来種は、ハブタエモノアラガイなど4種が確認されました。

① 忠別ダム（フクロウ池及び水路）

忠別ダムにおける環境創出箇所は、水鳥（アカエリカイツブリなど）の休息場・採餌環境の創出を目的として造成された人工池で、ノカナン沢川等の沢水を水源としています。

春季調査では34種、夏季調査では48種、冬季調査では41種、年間を通して75種の底生動物が確認されました。過年度の結果と比較すると、5巡目調査では42種、6巡目調査では61種で、今回の7巡目調査は最も多い種数となりました。

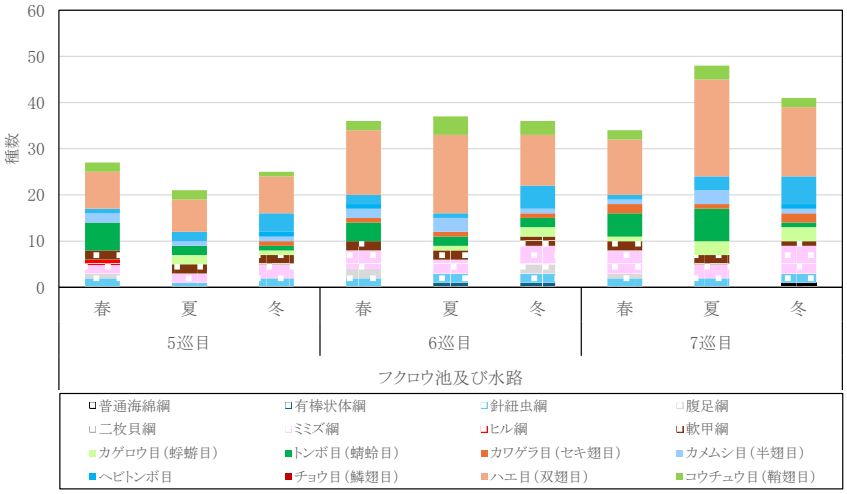
重要種は、モノアラガイ、クビボソコガシラミズムシの2種で、外来種は確認されませんでした。

7巡目調査では、6巡目調査と同様にハエ目ユスリカ科が多い傾向にありました。種組成を確認すると、環境創出箇所で調査が開始された5巡目調査ではカユスリ

写真出典：堰堤維持の内 大雪ダム・忠別ダム自然環境調査業務報告書 （令和6年3月）

カ属など止水性の種類が多い傾向にありましたが、6 巡目調査以降は止水性種のほかに、ヒメシロカゲロウ属など緩流性の種もみられるようになり、多様な環境が創出されている可能性があります。

本環境創出箇所は、モノアラガイやイトミミズ、クビボソコガシラミズムシなど止水性・緩流性の種が多くを占めていましたが、この他にも少ないながらナミウズムシやクロマダラカゲロウ、ヒゲナガカワトビケラなど流水性の種も確認されました。確認種数も調査回ごとに増加傾向にあり、多様な生物の生息環境として有効に機能しているものと考えられます。



忠別ダムの環境創出箇所における確認種数

② 漁川ダム（ダム湖環境創出箇所）

漁川ダムの環境創出箇所は、水位変動により湖岸の状況が大きく変化し、干出時にヤナギやサリカリア等の湿生及び乾生植物が芽吹く箇所で、湖岸には礫やシルトが堆積しています。

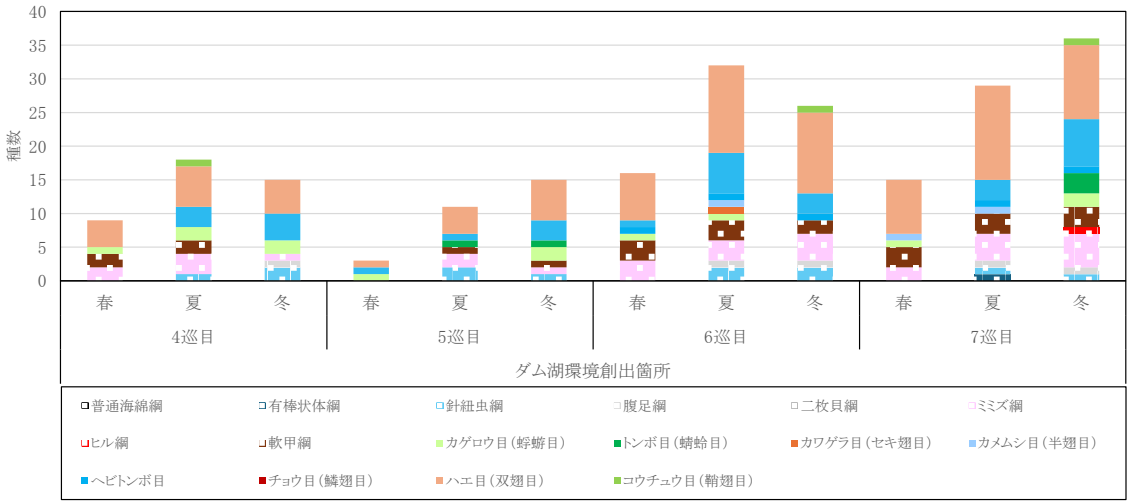
春季調査では 15 種、夏季調査では 29 種、冬季調査では 36 種、年間を通して 53 種の底生動物が確認されました。過年度の結果と比較すると、4 巡目調査では 27 種、5 巡目調査では 20 種、6 巡目調査では 41 種で、今回の 7 巡目調査は最も多い種数となりました。

重要種はモノアラガイとクビボソコガシラミズムシの 2 種で、外来種は確認されませんでした。

7 巡目調査では、6 巡目調査から確認されなくなったモンカゲロウやアオヒゲナガトビケラ属などの流水性・緩流性の種類が再確認されるようになったほか、6 巡目調査で新たに確認された、ミズムシ（甲）、スジトビケラ属などの、止水環境や有機物が堆積する場所に生息する種が引き続き確認されていました。

本環境創出箇所では、重要種のモノアラガイが過年度から継続して多数確認されており、ワンド状の浅場環境や水際部の植生帯が、繁殖・生息場として良好に機能しているものと考えられます。確認種数も調査回ごとに増加傾向にあり、多様な生物の生息環境として有効に機能しているものと考えられます。

写真出典：堰堤維持の内漁川ダム水辺現地調査（魚類・底生動物）業務報告書（令和 6 年 3 月）



漁川ダムの環境創出箇所における確認種数

③ 巨勢川調整池（造成水路）

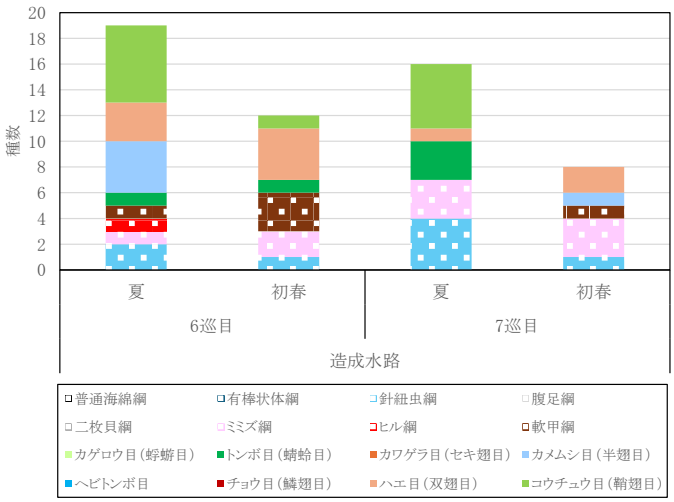
巨勢川調整池の環境創出箇所は、ミナミメダカ等の在来種に配慮して造成された貯水池につながる流水水路です。水深は極めて浅く、底質は粘土質の泥となっています。水路の周囲にはヨシが繁茂しています。

7 巡目調査では、夏季調査で 16 種、初春調査で 8 種、年間を通して 22 種の底生動物が確認されました。過年度の結果と比較すると、6 巡目調査では 27 種であり、今回の 7 巡目調査はやや減少となりました。

重要種はコシダカヒメモノアラガイ、モノアラガイ、ヒラマキミズマイマイの 3 種、外来種はコシダカヒメモノアラガイ（重要種としても選定）が確認されました。

本環境創出箇所では確認種数が少なかったものの、夏季調査において止水性の水生コウチュウ目（ウスイロシマゲンゴロウ、ルイスヒラタガムシ等）が確認されました。止水性昆虫類の生息環境は近年減少傾向にあり、本環境創出箇所はこれらの種にとって貴重な生息場所になっているものと考えられます。

令和 4・5 年度佐賀河川事務所管内採水及び水質分析業務報告書　　（令和 6 年 3 月）



巨勢川調整池の環境創出箇所における確認種数

④ 嘉瀬川ダムの環境創出箇所（音無湿地）

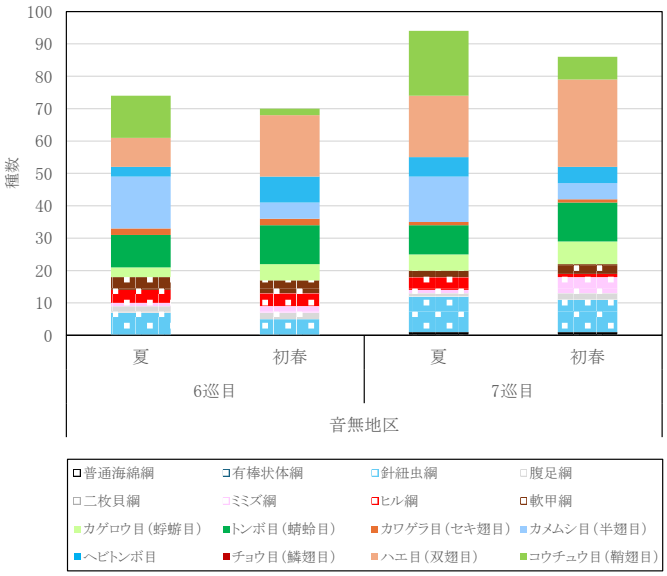
嘉瀬川ダムにおける環境創出箇所は、ダム湖上流左岸に位置する音無地区に整備された湿地です。付近の山地から流れ出る沢水を水源としています。現在は調査範囲全域が湿生地、または開放水面となっています。湿生地では、マコモ、ヒメガマなどの高茎草本類や、ミゾソバなどの低茎草本類、開放水面の一部ではヒシの密な群落が広がっています。

夏季調査では 94 種、初春調査では 86 種、年間を通して 128 種の底生動物が確認されました。過年度の結果と比較すると、6 巡目調査では 105 種であり、今回の 7 巡目調査は最も多い種数となりました。

重要種は、オオタニシ、コシダカヒメモノアラガイ、モノアラガイ、ミズコハクガイ、ヒラマキミズマイマイ、トウキョウヒラマキガイ、クルマヒラマキガイ、ヒラマキガイモドキ、コオイムシ、クロゲンゴロウ、コガタノゲンゴロウ、クビボソコガシラミズムシ、マダラコガシラミズムシ、スジヒラタガムシ、ガムシ、ミユキシジミガムシの 16 種で、外来種はコシダカヒメモノアラガイ（重要種としても選定）、ハブタエモノアラガイ、サカマキガイの 3 種が確認されました。

7 巡目の調査では、6 巡目調査に引き続き緩流性・止水性のトンボ目（ギンヤンマ、トラフトンボ等）、カメムシ目（コオイムシ、マツモムシ等）、ハエ目（ユスリカ属、カユスリカ属等）が確認された他、流水性のカゲロウ目（フタスジモンカゲロウ、ウスイロフトヒゲコカゲロウ等）やトンボ目（ハグロトンボ、アサヒナカワトンボ等）、トビケラ目（コガタシマトビケラ）なども確認されており、本環境創出箇所は多様な生物の生息環境として有効に機能していると考えられます。

令和 4・5 年度佐賀河川事務所管内採水及び水質分析業務報告書　　（令和 6 年 3 月）



嘉瀬川ダムの環境創出箇所における確認種数

⑤ 漢那ダムの環境創出箇所（第二貯水池）

漢那ダムにおける環境創出箇所は、低層湿地になっていた放棄水田を、湿地環境の復元・創出を目的に整備した箇所です。コンクリートの連絡水路を経てダム湖とつながっています。調査地区は、一部を除いて流れが非常に緩やかで、水際はヒメガマ等の抽水植物主体の湿地性植物が繁茂しています。水面下にはクロモ等が繁茂しており、一部は開放水面となっています。底質は泥が主体です。

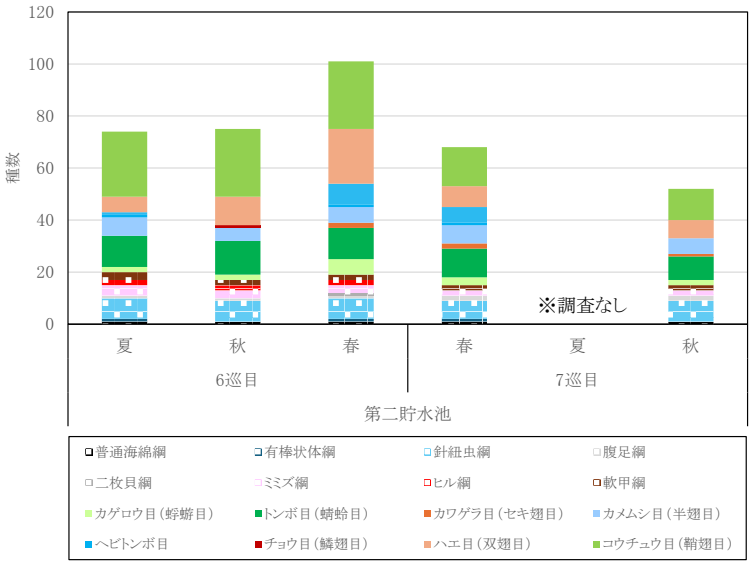
春季調査では 68 種、秋季調査では 52 種が確認され、年間を通して 84 種の底生動物が確認されました。なお、夏季調査は米軍施設への立ち入り許可の調整の結果、未実施となっています。過年度の結果と比較すると、6 巡目調査は 134 種で、今回の 7 巡目調査では減少しました。

重要種は、ヌノメカワニナ、タイワンモノアラガイ、ヒラマキミズマイマイ、リュウキュウヒラマキガイモドキ、オキナワマツモムシ、ヒメフチトリゲンゴロウ、コマルケシゲンゴロウ、オオマルケシゲンゴロウ、ヤギマルケシゲンゴロウ、コウトウコガシラミズムシの 10 種で、外来種はトウガタカワニナ、ハブタエモノアラガイ、サカマキガイの 3 種が確認されました。

写真出典：令和 4･5 年度漢那ダム・金武ダム河川水辺の国勢調査業務報告書 （令和 6 年 3 月）

7 巡目調査では、6 巡目調査で確認されていたシロハラコカゲロウやウルマーシマトビケラなどの流水性種の確認種数が減少していたほか、ホシマルミズムシや多くのガムシ科など、水生植物が繁茂するような場所を好む止水性の種の確認種数も減少していました。第二貯水池内では、近年陸地化が進行しており、この影響を受けていた可能性があります。

第二貯水池では維持管理のため、平成 8 年と平成 22 年に浚渫が実施されていますが、この時の調査では、平成 8 年の浚渫では流水性昆虫が増加し、平成 22 年の浚渫では減少したと報告されています。平成 22 年の浚渫における流水性昆虫の減少は、浚渫後の植生の遷移により貯水池内の流水環境の減少が要因と考察されており、自然の泥の堆積や人為的な影響が生物相に大きな影響を与えている可能性があります。本環境創出箇所では今後も浚渫が予定されていることから、生物相の変遷について注視する必要があると考えられます。



漢那ダムの環境創出箇所における確認種数

環境創出箇所確認種数一覧 ＜1＞

門名	ダム名	忠別ダム									漁川ダム											
	地点名	フクロウ池及び水路									ダム湖環境創出箇所											
	巡目	5巡目			6巡目			7巡目			4巡目			5巡目			6巡目			7巡目		
	綱・目名 ／ 季節	春	夏	冬	春	夏	冬	春	夏	冬	春	夏	冬	春	夏	冬	春	夏	冬	春	夏	冬
扁形動物門	有棒状体綱									1												
紐形動物門	有針綱					1	1														1	
軟体動物門	腹足綱	2	1	2	2	2	2	2	2	2		1	2		2	1		2	2		1	1
	二枚貝綱	1			2		2	1					1					1	1		1	1
環形動物門	ゴカイ綱																					
	ミミズ綱	2	2	3	4	3	4	5	3	6	2	3	1		2	1	3	3	4	2	4	5
	ヒル綱	1																				1
節足動物門	軟甲綱	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2			1	1	3	3	2	3	3	3
	昆虫綱 カゲロウ目（蜉蝣目）		2	1		1	2	1	3	3	1	2	2	1		2	1	1		1		2
	昆虫綱 トンボ目（蜻蛉目）	6	2	1	4	2	2	5	7	1					1	1						3
	昆虫綱 カワゲラ目（セキ翅目）			1	1	1	1	2	1	2								1				
	昆虫綱 カメムシ目（半翅目）	2	1	1	2	3	1	1	3	1								1		1	1	
	昆虫綱 ヘビトンボ目			1	1					1							1	1	1		1	1
	昆虫綱 トビケラ目（毛翅目）	1	2	4	2	1	5	1	3	6		3	4	1	1	3	1	6	3		3	7
	昆虫綱 チョウ目（鱗翅目）																					
	昆虫綱 ハエ目（双翅目）	8	7	8	14	17	11	12	21	15	4	6	5	1	4	6	7	13	12	8	14	11
	昆虫綱 コウチュウ目（鞘翅目）	2	2	1	2	4	3	2	3	2		1							1			1
種類数		27	21	25	36	37	36	34	48	41	9	18	15	3	11	15	16	32	26	15	29	36
年度別種類数		42			61			75			27			20			41			53		

環境創出箇所確認種数一覧 ＜2＞

門名	ダム名	巨勢川調整池				嘉瀬川ダム				漢那ダム					
	地点名	造成水路				音無地区				第二貯水池					
	巡目	6巡目		7巡目		6巡目		7巡目		6巡目			7巡目		
	綱・目名 ／ 季節	夏	初春	夏	初春	夏	初春	夏	初春	夏	秋	春	春	夏	秋
扁形動物門	有棒状体綱							1	1	1	1	1	1	調査なし	1
紐形動物門	有針綱									1		1	1		
軟体動物門	腹足綱	2	1	4	1	7	5	11	10	8	8	8	7		8
	二枚貝綱					2	2	1	2	1	1	1	2		2
環形動物門	ゴカイ綱											1			
	ミミズ綱	1	2	3	3	1	2	1	5	4	3	3	2		2
	ヒル綱	1				4	4	4	1	2	2	2			
節足動物門	軟甲綱	1	3		1	4	4	2	3	3	2	2	2		2
	昆虫綱 カゲロウ目（蜉蝣目）					3	5	5	7	2	2	6	3		2
	昆虫綱 トンボ目（蜻蛉目）	1	1	3		10	12	9	12	12	13	12	11		9
	昆虫綱 カワゲラ目（セキ翅目）					2	2	1	1			2	2		1
	昆虫綱 カメムシ目（半翅目）	4			1	16	5	14	5	7	5	6	7		6
	昆虫綱 ヘビトンボ目									1		1	1		
	昆虫綱 トビケラ目（毛翅目）					3	8	6	5	1		8	6		
	昆虫綱 チョウ目（鱗翅目）										1				
	昆虫綱 ハエ目（双翅目）	3	4	1	2	9	19	19	27	6	11	21	8		7
	昆虫綱 コウチュウ目（鞘翅目）	6	1	5		13	2	20	7	25	26	26	15		12
種類数		19	12	16	8	74	70	94	86	74	75	101	68	－	52
年度別種類数		27		22		105		128		134			84		

分析対象種の確認ダムの経年比較【底生動物】＜1＞

地整	項目	国外外来種																													今回対象ダム
	種名	コモチカワツボ							カワヒバリガイ							ハブタエモノアラガイ							サカマキガイ							
	ダム名/巡目	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	
北海道	岩尾内ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	サンルダム	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	鹿ノ子ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	留萌ダム	－	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	－	×	×	
	大雪ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎
	忠別ダム	－	－	－	－	×	×	×	－	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	×	×	×	－	－	－	－	－	×	×	◎
	金山ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎
	滝里ダム	－	－	×	×	×	×	×	－	－	×	×	×	×	×	－	－	×	×	×	×	×	－	－	×	●	●	●	●	◎
	桂沢ダム	×	－	×	×	×	×	×	－	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	●	×	◎
	漁川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎
	豊平峡ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	◎
	定山渓ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎
	夕張シューパロダム	－	－	－	－	－	－	×	－	－	－	－	－	－	×	－	－	－	－	－	－	×	－	－	－	－	－	－	●	◎
	美利河ダム	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	
	二風谷ダム	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	
	十勝ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	札内川ダム	－	－	×	×	×	×	×	－	－	－	×	×	×	×	－	－	×	×	×	×	×	－	－	×	×	×	×	×	
東北	津軽ダム	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	浅瀬石川ダム	×	×	×	●	●	●	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	●	●	●	●	●	●	－	
	四十四田ダム	×	×	×	●	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	●	●	●	●	●	●	●	
	御所ダム	×	×	×	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	
	田瀬ダム	×	×	×	×	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	
	湯田ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	×	●	●	
	胆沢ダム	×	×	×	×	－	●	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	－	●	●	
	鳴子ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	●	
	釜房ダム	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	－	●	●	●	●	●	●	－	
	堀川ダム	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	三春ダム	－	×	×	×	×	×	－	－	－	×	×	×	×	×	－	×	●	●	●	●	－	－	●	●	●	●	●	●	
	摺上川ダム	－	－	－	×	×	×	－	－	－	－	×	×	×	－	－	－	－	×	×	×	－	－	－	－	●	●	●	－	
	七ヶ宿ダム	×	×	×	●	●	●	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	●	●	●	●	●	●	●	
	真野ダム	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	木戸ダム	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	森吉山ダム	－	－	－	－	－	●	●	－	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	－	●	●	
	玉川ダム	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	●	×	×	×	×	－	
	白川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	×	×	●	●	●	●	◎
	長井ダム	－	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	－	●	●	◎
	雄河江ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	◎
	月山ダム	－	－	×	×	×	●	●	－	－	×	×	×	×	×	－	－	×	×	×	×	×	－	－	●	●	●	●	●	◎
関東	矢木沢ダム	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	
	藤原ダム	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	●	●	－	×	●	×	●	●	●	－	
	薗良俣ダム	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	
	相俣ダム	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	●	●	×	●	●	－	
	藤原ダム	×	×	×	●	●	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	●	－	×	●	●	●	●	●	－	
	品木ダム	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	●	－	
	下久保ダム	×	×	×	×	●	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	●	×	×	－	●	●	●	●	●	●	－	
	草木ダム	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	●	●	●	●	●	－	
	渡良瀬遊水地	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	●	×	×	－	●	×	●	●	●	●	－	
	川俣ダム	×	－	×	×	●	●	－	×	－	×	×	×	×	－	×	－	×	×	×	×	－	×	－	●	●	●	●	－	
	川治ダム	×	×	×	×	●	●	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	●	●	●	●	●	－	
	湯西川ダム	－	－	－	－	－	×	－	－	－	－	－	－	×	－	－	－	－	－	－	×	－	－	－	－	－	－	●	－	
	五十里ダム	×	×	×	×	●	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	●	●	●	●	－	
	二瀬ダム	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	●	●	●	－	
	荒川調節池	－	－	×	×	×	×	－	－	－	×	×	×	×	－	－	－	●	×	×	×	－	－	－	●	×	×	×	－	
	滝沢ダム	－	－	－	－	×	●	－	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	●	●	●	－	
	浦山ダム	－	－	×	●	●	●	－	－	－	×	×	×	×	－	－	－	－	×	×	×	－	－	－	●	●	●	●	－	
	宮ヶ瀬ダム	－	－	×	×	●	●	●	－	－	×	×	×	×	－	－	－	×	×	●	×	×	－	－	●	●	●	●	●	◎
北陸	横川ダム	－	－	－	×	×	●	－	－	－	－	×	×	×	－	－	－	－	×	×	×	－	－	－	－	●	●	●	－	
	大石ダム	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	
	大川ダム	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	●	－	●	●	●	●	
	日中ダム	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	大町ダム	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	●	－	×	●	●	●	●	
	三国川ダム	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	●	●	×	●	●	●	
	宇奈月ダム	－	－	×	×	×	×	×	－	－	×	×	×	×	×	－	－	×	×	×	×	×	－	－	×	●	●	●	●	◎
	手取川ダム	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	●	×	－	●	×	●	●	●	●	－	
中部	長島ダム	－	－	×	×	×	×	－	－	－	×	×	×	×	－	－	－	×	●	×	×	－	－	－	●	●	●	●	－	
	矢和ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	●	●	●	●	△
	小渋ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	△
	新豊根ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	
	矢作ダム	×	×	×	●	×	●	－	×	×	×	●	●	●	－	×	×	●	●	●	●	－	×	●	●	●	●	●	●	
	小里川ダム	－	－	－	×	×	×	×	－	－	－	×	×	×	×	－	－	－	●	●	●	●	－	－	●	●	●	●	●	
	味噌川ダム	－	×	×	×	×	×	－	－	－	×	×	×	×	－	－	－	×	×	×	×	－	－	●	●	●	●	●	－	
	九山ダム	×	×	×	×	×	●	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	●	●	×	●	●	●	－	
	阿木川ダム	×	×	×	●	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	●	●	●	●	●	●	－	
	岩屋ダム	×	－	×	×	×	×	－	×	－	×	×	×	×	－	×	－	×	×	×	×	－	×	－	×	×	×	×	－	
	徳山ダム	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	－	●	●	－	
	横山ダム	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	●	●	●	－	
	薗ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	
近畿	天ヶ瀬ダム	×	－	－	×	×	×	×	●	－	－	●	●	●	●	×	－	－	×	●	×	×	●	－	－	●	●	●	●	◎
	日吉ダム	－	－	×	×	×	×	×	－	－	×	×	×	×	×	－	－	×	●	●	×	×	－	－	●	●	●	●	●	◎
	比奈知ダム	－	－	×	×	×	×	×	－	－	×	×	×	×	×	－	－	●	×	●	×	●	－	－	●	●	●	×	●	◎
	高山ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	×	×	●	●	×	×	×	●	×	●	●	●	●	●	●	◎
	青蓮寺ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	●	●	●	●	×	●	◎
	室生ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	×	●	●	◎
	布目ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	●	◎
	一庫ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	●	●	●	●	◎
	大滝ダム	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	－	●	×	－	－	－	－	－	●	●	－	
	狭谷ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	●	●	×	×	×	×	×	●	●	
	九頭竜ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	
	真名川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	×	×	×	×	×	●	●	
中国	殿ダム	－	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	－	●	●	－	－	－	－	－	●	●	◎
	菅沢ダム	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	
	尾原ダム	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	－	×	●	－	－	－	－	－	●	●	－	
	志津見ダム	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	－	●	●	－	
	七師ダム	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	●	×	－	×	●	●	●	●	●	－	
	灰塚ダム	－	－	－	×	×	×	－	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	×	●	●	－	－	－	－	●	●	●	－	
	苫田ダム	－	－	－	×	×	×	×	－	－	－	－	×	×	×	－	－	－	×	×	×	●	－	－	－	●	●	●	●	
	八田原ダム	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	●	●	●	●	●	－	●	●	●	●	●	●	
	温井ダム	－	－	－	×	×	×	×	－	－	－	－	×	×	×	－	－	－	×	×	×	×	－	－	－	×	●	×	－	
	鳥栖ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	×	●	×	×	×	●	●	●	●	●	
	島地川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	●	●	◎
四国	早明浦ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	●	●	×	●	●	●	●	
	池田ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	●	
	直瀬ダム	－	－	×	×	×	×	×	－	－	×	×	×	×	×	－	－	×	×	×	×	×	－	－	×	●	×	●	●	
	柳瀬ダム	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	●	×	－	×	●	×	●	●	
	新宮ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	
	長安口ダム	－	－	－	－	×	×	×	－	－	－	－	×	×	×	－	－	－	－	×	●	×	－	－	－	－	●	●	●	
	石手川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	●	×	×	●	●	●	●	●	●	◎
	鹿野川ダム	－	－	－	×	×	×	×	－	－	－	×	×	×	×	－	－	－	×	×	×	●	－	－	－	●	●	×	×	◎
	野村ダム	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	●	●	×	×	×	◎
	大洲ダム	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	●	●	●	●	●	－	
	中筋川ダム	－	－	×	×	×	×	×	－	－	×	×	×	×	×	－	－	×	●	●	●	●	－	－	×	●	●	●	●	
	樋瀬川ダム	－	－	－	－	－	－	×	－	－	－	－	－	－	×	－	－	－	－	－	－	●	－	－	－	－	－	－	●	
九州	那馬溪ダム	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	●	●	×	－	×	×	●	●	●	●	－	
	下筌ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	×	●	×	◎
	松原ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	×	●	●	●	●	◎
	大山ダム	－	－	－	－	×	×	×	－	－	－	－	×	×	×	－	－	－	－	－	×	●	－	－	－	－	－	●	●	◎
	寺内ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	×	●	●	●	●	◎
	巨勢川調整池	－	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	●	●	－	－	－	－	－	－	●	●	◎
	厳木ダム	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	●	●	●	－	×	×	×	×	●	●	－	
	嘉瀬川ダム	－	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	－	×	●	－	－	－	－	－	●	●	◎
	竜門ダム	－	－	－	×	×	×	×	－	－	－	－	×	×	×	－	－	－	×	×	×	×	－	－	－	×	×	×	●	◎
	緑川ダム	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	●	×	●	－	
	ななせダム																													
	鶴田ダム	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	●	●	×	●	－	×	×	●	●	●	●	－	
沖縄	辺野喜ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	×	×	×	×	×	×	×	◎
	普久川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	◎
	安波ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	●	◎
	新川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	×	×	×	●	×	×	×	◎
	福地ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	×	×	●	●	●	●	●	◎
	大保ダム	－	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	●	－	－	－	－	－	●	●	
	羽地ダム	－	－	－	－	×	－	×	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	×	－	●	●	－	－	－	●	－	●	●	
	漢那ダム	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	●	●	－	●	●	●	●	●	●	◎
	金武ダム	－	－	－	－	－	×	×	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	●	●	－	－	－	－	－	●	●	◎
確認ダム数		0	0	0	7	12	16	6	1	0	2	3	3	3	2	0	1	11	16	19	31	30	24	39	50	73	77	91	61	
調査ダム数		80	79	96	107	112	124	79	80	79	96	107	112	124	79	80	79	96	107	112	124	79	80	79	96	107	112	124	79	42

凡例）●：確認　×：未確認　－：未調査

注）「巡目」は 1:平成 2～7 年度、2:平成 8～12 年度、3:平成 13～17 年度、4:平成 18～22 年度、5:平成 23～27 年度、6:平成 28 年度～令和 2 年度、7:令和 3 年度～を指す。

分析対象種の確認ダムの経年比較【底生動物】＜2＞

	項目	国外外来種																									今回
	種名	ウチダザリガニ							アメリカザリガニ							プロリダマミズヨコエビ							対象
地整	ダム名/巡目	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	ダム
北海道	岩尾内ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	サンルダム	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	鹿ノ子ダム	×	×	×	●	●	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	留萌ダム	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	×	×	
	大雪ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎
	忠別ダム	—	—	—	—	×	×	×	—	—	—	—	×	×	×	—	—	—	—	×	×	×	◎
	金山ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎
	滝里ダム	—	—	×	×	×	×	×	—	—	×	×	×	×	×	—	—	×	×	×	×	×	◎
	桂沢ダム	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	◎
	漁川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎
	豊平峡ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎
	定山渓ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎
	夕張シューパロダム	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	×	◎
	美利河ダム	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	
	二風谷ダム	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	
	十勝ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	札内川ダム	—	—	×	×	×	×	×	—	—	×	×	×	×	×	—	—	×	×	×	×	×	
東北	津軽ダム	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	浅瀬石川ダム	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	
	四十四田ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	●	●	●	×	×	×	●	●	●	●	
	御所ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	×	●	●	●	
	田瀬ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	
	湯田ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	胆沢ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—	●	●	×	×	×	×	—	●	●	
	鳴子ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	×	×	×	×	×	×	×	
	釜房ダム	—	×	×	×	×	×	—	×	●	—	●	●	●	—	×	×	×	×	●	●	—	
	堀川ダム	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	三春ダム	—	×	×	×	×	×	—	—	●	●	●	●	●	—	—	×	×	●	●	●	—	
	摺上川ダム	—	—	—	×	×	×	—	—	—	—	×	×	×	—	—	—	—	×	×	×	—	
	七ヶ宿ダム	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	●	●	—	×	×	×	×	×	×	—	
	真野ダム	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	木戸ダム							—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	森吉山ダム	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	×	×	
	玉川ダム	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	
	白川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	×	×	×	×	●	●	●	◎
	長井ダム	—	—	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	×	×	◎
	寒河江ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎
	月山ダム	—	—	×	×	×	×	×	—	—	×	×	×	×	×	—	—	×	×	×	×	×	◎
関東	矢木沢ダム	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	
	藤原ダム	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	
	奈良俣ダム	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	
	相俣ダム	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	●	●	×	—	
	薗原ダム	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	●	●	●	—	
	品木ダム	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	
	下久保ダム	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	
	草木ダム	×	×	×	×	×	×	—	●	×	×	×	●	×	—	×	×	×	●	●	●	—	
	渡良瀬遊水地	×	×	×	×	×	×	—	●	●	●	●	●	●	—	×	×	×	●	●	●	—	
	川俣ダム	×	—	×	×	×	×	—	×	—	×	×	×	×	—	×	—	×	×	×	×	—	
	川治ダム	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	●	—	
	湯西川ダム	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	×	—	
	五十里ダム	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	
	二瀬ダム	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	●	—	
	荒川調節池	—	—	×	×	×	×	—	—	—	●	×	×	×	—	—	—	×	●	×	×	—	
	滝沢ダム	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	●	●	—	
	浦山ダム	—	—	×	×	×	×	—	—	—	×	×	×	×	—	—	—	×	×	×	×	—	
	宮ヶ瀬ダム	—	—	×	×	×	×	×	—	—	●	×	×	×	●	—	—	×	×	●	●	●	◎
北陸	横川ダム	—	—	—	×	×	×	—	—	—	—	×	×	×	—	—	—	—	×	×	×	—	
	大石ダム	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	
	大川ダム	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	●	×	●	
	日中ダム	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	大町ダム	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	
	三国川ダム	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	
	宇奈月ダム	—	—	×	×	×	×	×	—	—	×	×	×	×	×	—	—	×	×	×	×	×	◎
	手取川ダム	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	
中部	長島ダム	—	—	×	×	×	×	—	—	—	×	×	×	×	—	—	—	×	×	×	×	—	
	美和ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	△
	小渋ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	△
	新豊根ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	
	矢作ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	
	小里川ダム	—	—	—	×	×	×	×	—	—	—	●	●	●	●	—	—	—	×	×	×	×	
	味噌川ダム	—	×	×	×	×	●	—	—	×	×	×	×	×	—	—	×	×	×	×	×	—	
	丸山ダム	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	●	●	●	—	
	阿木川ダム	×	×	×	×	×	×	—	×	×	●	×	●	●	—	×	×	×	×	×	×	—	
	岩屋ダム	×	—	×	×	×	×	—	×	—	×	×	×	×	—	×	—	×	×	×	×	—	
	徳山ダム	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	×	×	—	
	横山ダム	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	
	薗ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
近畿	天ヶ瀬ダム	×	—	—	×	×	×	×	×	—	—	●	●	●	●	×	—	—	●	●	●	●	◎
	日吉ダム	—	—	×	×	×	×	×	—	—	●	●	●	×	●	—	—	×	×	×	●	●	◎
	比奈知ダム	—	—	×	×	×	×	×	—	—	●	×	×	×	×	—	—	×	×	×	×	×	◎
	高山ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	×	×	×	●	●	●	●	◎
	青蓮寺ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎
	室生ダム	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	×	×	×	×	×	×	●	●	◎
	布目ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	×	●	×	×	×	●	●	●	●	◎
	一庫ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	×	●	×	×	×	×	×	●	●	●	◎
	大滝ダム	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	—	—	
	猪谷ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	九頭竜ダム	×	×	×	×	×	●	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	真名川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
中国	殿ダム	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	●	●	◎
	菅沢ダム	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	
	尾原ダム	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	×	×	—	
	志津見ダム	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	×	×	—	
	土師ダム	×	×	×	×	×	×	—	×	×	●	●	●	●	—	×	×	×	×	×	×	—	
	灰塚ダム	—	—	—	×	×	×	—	—	—	—	×	●	●	—	—	—	—	×	×	×	—	
	苫田ダム	—	—	—	×	×	×	×	—	—	—	×	×	×	×	—	—	—	×	×	×	×	
	八田原ダム	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	●	●	
	温井ダム	—	—	—	×	×	×	—	—	—	—	×	×	×	—	—	—	—	×	×	×	—	
	弥栄ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	●	
	島地川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎
四国	早明浦ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	池田ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	富郷ダム	—	—	×	×	×	×	×	—	—	×	×	×	×	×	—	—	×	×	×	×	×	
	柳瀬ダム	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	
	新宮ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	長安口ダム	—	—	—	—	×	×	×	—	—	—	—	×	×	×	—	—	—	—	×	×	×	
	石手川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎
	鹿野川ダム	—	—	—	×	×	×	×	—	—	—	×	×	×	×	—	—	—	×	●	●	●	◎
	野村ダム	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	●	●	●	●	◎
	大渡ダム	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	●	×	—	
	中筋川ダム	—	—	×	×	×	×	×	—	—	×	×	×	●	●	—	—	×	×	×	×	×	
	横瀬川ダム	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	×	—	—	—	—	—	—	×	
九州	耶馬渓ダム	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	
	下筌ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎
	松原ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎
	大山ダム	—	—	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	×	×	◎
	寺内ダム	×	×	×	×	×	×	×	●	●	×	●	×	●	●	×	×	×	×	×	×	×	◎
	巨勢川調整池	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	●	●	—	—	—	—	—	×	●	◎
	厳木ダム	×	×	×	×	×	×	—	×	×	●	●	●	×	—	×	×	×	●	×	×	—	
	嘉瀬川ダム	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	×	×	◎
	竜門ダム	—	—	—	×	×	×	×	—	—	—	●	×	×	×	—	—	—	×	×	×	×	◎
	緑川ダム	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	
	ななせダム																						
	鶴田ダム	×	×	×	×	×	×	—	×	×	●	×	×	×	—	×	×	×	×	×	●	—	
沖縄	辺野喜ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎
	普久川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎
	安波ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×	◎
	新川ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎
	福地ダム	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×	◎
	大保ダム	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	×	×	
	羽地ダム	—	—	—	—	×	×	×	—	—	—	×	—	×	×	—	—	—	×	—	×	×	
	漢那ダム	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	◎
	金武ダム	—	—	—	—	×	×	×	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—	—	×	×	◎
確認ダム数		0	0	0	1	1	2	2	4	7	16	18	20	21	16	0	0	0	13	21	27	22	
調査ダム数		80	79	96	107	112	124	79	80	79	96	107	112	124	79	80	79	96	107	112	124	79	42

凡例）●：確認　×：未確認　ー：未調査

注）「巡目」は 1:平成 2～7 年度、2:平成 8～12 年度、3:平成 13～17 年度、4:平成 18～22 年度、5:平成 23～27 年度、6:平成 28 年度～令和 2 年度、7:令和 3 年度～を指す。